十二月一日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

滿鐵の改正職制 異動と共にけさ發表

廣範圍に亙り新進を拔擢し 清新潑剌の氣分漲る

久しき懸案たる滿鐵新職制並にこれに伴ふ人事異動は一日午前十時大連本社において（東京支社にては午前十一時に）發表された、新職制は六部六箇所で、監理部が廢止されて技術局が計畫部となり、奉天事務所を解消し、審査役制度が設けられた程度で、從來のごとき大改廢はなかつた、これは滿鐵が創業以來、四分の一世紀を過ぎ職制も過去の幾變遷を經て、事變後の新情勢に適應する以外にあまり變化を要せざることを物語るものである、而して人事異動は職制に伴ふ必要限度內にとゞめたとはいへ、豫想外に廣範圍に亙り、全體に新進拔擢の跡が見え清新の氣分が漲るに至つた、一方社員多年の希望たる社員部長、重役合議制も實現し、こゝに滿鐵は上下一心協力して、新職制の下に社業の發展に邁進することゝなつた

南滿洲鐵道株式會社職制

第一章 通則

第一條 總裁は會社を代表し其の業務を總理す

第二條 副總裁は總裁を補助し總裁事故あるとき其の職務を代理し總裁缺員のとき其の職務を行ふ

第三條 理事は總裁を補助し會社の業務を分掌し且總裁及副總裁事故あるとき政府の命に依て總裁の職務を代理す

第四條 各部及各直屬箇所（以下部所と稱す）に長を置き各其の事務を統括せしむ

第五條 部所長は理事又は社員を以て之に充つ

第二章 組織

第六條 本社に次の六部を置く

總務部 計畫部 經理部 鐵道部 地方部 商事部

第七條 總務部は文書、人事、資料、關係會社の管理、社內業務の審査及考査並他部所の主管に屬せざる事項を掌理す

第八條 計畫部は新規事業の計畫に關する事項を掌理す

第九條 經理部は豫算、決算其の他一般經理に關する事項を掌理す

第十條 鐵道部は會社鐵道及港灣並其の附帶事業に關する事項を掌理す

第十一條 地方部は土地及家屋の經營並教育、衞生、勸業、社會事業其の他地方施設に關する事項を掌理す

第十二條 商事部は石炭、銑鐵其の他生産物の販賣並物品の購買保管及配給に關する事項を掌理す

第十三條 次の箇所は總裁に直屬す

東京支社 哈爾濱事務所 上海事務所 撫順炭礦 鞍山製鐵所 經濟調査會

分課の變更

滿鐵職制改正は一日午前十時正式發表を見たが、そのうち變更を見た分課は左の如くである

總務部 庶務課、文書課、人事課、資料課、監理課、審査役、監査役、秘書役

計畫部 業務課、審査役、中央試驗所、地質調査所、滿洲資源館

鐵道部 庶務、經理、營業、輸送、工作、工務、港灣、電氣、各鐵道事務所、埠頭、旅館、鐵道工場、臨時川崎工事事務所

總裁直屬箇所 東京支社、ハルビン事務所、上海事務所、撫順炭礦、鞍山製鐵所、經濟調査會、吉林事務所、鄭家屯事務所、洮南事務所、チチハル事務所、北平事務所、紐育事務所

▲地方部、商事部、經理部、撫順炭礦、鞍山製鐵所は從前のまゝ但し奉天地方事務所は地方部に販賣事務所は商事部にそれ〴〵還元

八田滿鐵副總裁新職制發表（左端が副總裁）

理事分擔箇所

山崎理事 總務部、上海事務所
山西理事 計畫部、地方部、撫順炭礦
竹中理事 經理部
村上理事 鐵道部、ハルビン事務所
十河理事 商事部
伍堂理事 鞍山製鐵所

各部所長

奉天事務所次長參事 石本憲治
總務部長を命ず
技術局次長技師 根橋禎二
計畫部長を命ず
經理部次長參事 市川健吉
經理部長を命ず
鐵道部次長參事 羽田公司
鐵道部長を命ず
總務部文書課長參事 中西敏憲
地方部長を命ず
地方部次長參事 武部治右衛門
商事部長を命ず
奉天事務所長參事 宇佐美寛爾
ハルビン事務所長を命ず
ハルビン事務所庶務課長 參事 前田孝義
上海事務所長を命ず
撫順炭礦次長技師 久保孚
撫順炭礦長を命ず
鞍山製鐵所次長參事 富永能雄
鞍山製鐵所長を命ず

なほ經濟調査會は十河理事が依然委員長として自ら事務を統轄、東京支社また大淵理事が支社長となることになつた

各部課所長

今次職制改正により變更を見た各部課所長は次の如くである

總務部
庶務課參事 林顯藏
庶務課長を命ず
外事課長參事 中野忠夫
文書課長を命ず
調査課參事 宮本[illegible]治
資料課長を命ず

監理部管理課長參事 廣崎浩一
監理課長を命ず
監理部次長參事 田所耕耘
商事部次長參事 谷川善次郎
技術局庶務課長參事 由利元吉
監理部考査課長參事 西田猪之輔
鐵道部經理課長參事 佐藤達三
監理部參事 山鳥登
地方部地方課長參事 栗屋秀夫
總務部調査課長參事 伊藤武雄
審査役を命ず（各通）
監理部監査役參事 林田精一
同上 三輪環
同上 佐久間章
監査役を命ず（各通）

計畫部
鞍山製鐵所庶務課長 參事 右近又雄
業務課長を命ず

經理部
東京支社經理課長 參事 橋本戊子郎
主計課長を命ず

鐵道部
鐵道部附技師 清水賢雄
鐵道部次長を命ず
經理課參事 伊藤成章
經理課長を命ず
大連鐵道事務所長 技師 猪子一到
輸送課長を命ず
鐵道工場長技師 野中秀次
工作課長を命ず
技術局審査役技師 郡新一郎
工務課長を命ず
聯運課參事 江崎重吉
大連鐵道事務所長を命ず
奉天鐵道課長參事 古川達四郎
奉天鐵道事務所長を命ず
車務課技師 杉浦熊男
鐵道工場長を命ず

地方部
經理部主計課參事 富田祖
庶務課長を命ず
安東地方事務所長 參事 多田晃
地方課長を命ず
商工課參事 星野龍男
商工課長を命ず
地方課參事 石岡武
遼陽地方事務所長を命ず
奉天公所長參事 栗野俊一
奉天地方事務所長を命ず
奉天地方課長參事 荒木章
新京地方事務所長を命ず
遼陽地方事務所長 參事 關屋悌藏
安東地方事務所長を命ず

東京支社
庶務課長參事 平山敬三
次長兼經理課長事務取扱を命ず
庶務課參事 角田不二男
庶務課長を命ず

哈爾濱事務所
庶務課參事 押川一郎
庶務課長を命ず

撫順炭礦
經理部主計課長參事 大垣研
撫順炭礦次長を命ず

鞍山製鐵所
庶務課參事 永井次郎
庶務課長を命ず

經濟調査會
鐵道部聯運課長參事 伊藤太郎
經濟調査會委員を命ず

左の諸氏は全部鐵道部勤務となつた

上海事務所長參事 任澤道雄
地方部商工課長參事 小須田常三郎
地方部庶務課長參事 下津春五郎
監理部參事 足立長三
鐵道部次長技師 佐藤應次郎
鐵道部車務課長技師 太田久作
鐵道部工務課長技師 山領貞二

なほ石川經調副委員長不在中は田所耕耘氏が代理し、石本憲治氏不在中は土肥人事課長が部長代理となる

監理部參事 堀義雄
同上 八木聞一
總務部監理課勤務を命ず

新狀勢に適應して 變革は最小範圍

滿鐵職制改正の理由

今次の職制改正に關し八田滿鐵副總裁は記者團に對し談話の形式により左の如く改正理由を發表した

昨年の事變以來滿洲の狀勢は變化し、これに伴ひ會社の業務も變化して來たため、將來に適應する改正をなす一方、過去の職制中

經驗 に徴して今回の改正を行つた、而して自然多少の人事異動を行つたが、元來職制は久しい經驗に基くもので徒らに改廢さるべきものではなく、今回の改正變更もその趣旨に基き變革を最少限度に止め、新狀勢への適應を考へてその必要範圍內とし、從つて人事異動も職制改正に伴ふ必要以上には出でなかつた、唯やゝ著るしく改正したと思はれるものは、從來の理事部長制を原則としたのを今回社員部長制を採用した點で、これは一長一短はあると考へるが、理事が部局事務に忙殺され會社の根本問題に對し渾身の力を盡すことが不充分であるとの考へもあり、今回は

部長 は社員に當らしめ理事は勿論各部を通じての重要なる業務を指導相談するよりも寧ろ重要問題に專盡し積極的に社業の發展、會社が持つ重大使命に協力、その力を發揮せしめる趣旨からさうしたのである、從つて社員部長は業務遂行の責任者となり部長も社務を敏速に運び得ると思ふ、その他多少の變革があるが、そのうち主要なものは監理部の廢止で、監理部では會社全般業務考査と、關係會社の監理をやつてゐたが、經驗上部を置くことをやめ總務部に所屬することゝした、また新に審査役を設けて會社全般の業務考査改善に更に力を加へることゝなつた

計畫 部の新設は技術局を改めたもので、會社は新規事業を順を追つて計畫企業化する必要があり、從來その取扱を技術局でやつてゐたが、今回その計畫立案、企業化に對し一段やり良くする趣旨からして部とした、奉天事務所の解消は御承知の通りで販賣事務所、鐵道事務所、地方事務所が各部に分れたまでだ、經濟調査會は滿洲の經濟全般の調査、計畫、研究、立案のため設けられたもので、計畫部の仕事とは全然別個のもので依然存立の必要がある、計畫部は經調會とは異り會社において企業化せんとする事業で會社の責任においてやるものを會社の立場において計畫せんとするものである、唯

兩者 の間に密接な關係があることは勿論である、最後に特に御承知置き願ひたいことは理事分擔制である、これを定めたのは重役と各部との連絡を保つうへからで、各部所長は各部所の業務には全責任を持つが、重要事項、報告事項等を相談決定すべき重役を必要とするために理事は部長の上に立つものでなく、卽ち各部には部長の上に更に理事を置くといふのではなく相談相手として理事の分擔を決めたので、このことは重役の間にも充分了解が遂げられてゐる

滿鐵公所改稱

滿鐵公所は事務所と改稱されるか所長は現在のまゝで異動なく、また技術局審査役も現在のまゝであるが鐵道部野中、郡兩課長は同局審査役を兼務することになると

廢合部所勤務員の編入先

部所の廢合に伴ふ勤務員の編入先については外事課および監理部は總務部へ、調査課は資料課へ、考査課は審査役附となる、技術局はそのまゝ計畫部に入る

滿鐵新職制批判

定石通りで頗る妥當

▼…新職制に關する社內の批評は大體において常識的である、又それだけに妥當であるとしてゐる滿鐵の幹部が更迭する度に職制改正が行はれるのは近年の慣例であるが、これには利益もあつたが、徒らに人心を動搖不安ならしめて社業を澁滯せしむる虞があつたところである

▼…監理部は理論としては存在理由をもつが、實際問題としては一つの部としての價値のないことは明白で、廢止は既定の事實であつた、廢止された監理部は二分し社外事業管理の管理課はそのまゝ總務部に移つたが、考査課は審査役室となつて總務部に引繼がれた審査役は今次の職制の一特色で、事務審査役は總務部に屬して社業の考査と監察に當り、技術審査役は計畫部にあつて新規事業の審査に當る建前になつて居る

▼…紅旗廟の裏に離れ島のやうに獨立して見忘れられがちだつた技術局が計畫部となつたことは、滿鐵現幹部の滿蒙維新に對する意氣込みを偲ばしむるものである、たゞ計畫部は經濟調査會と混同される虞があるので、職制發表に當つて八田副總裁は態々この間の區別を說明した、卽ち經濟調査會は從來通り滿洲一般の經濟調査をなすもので必ずしも滿鐵事業と限らず、これに反して計畫部は滿鐵が全部又は一部の責任を負ふて開始せんとする事業の計畫、立案、企業化をなすものである

▼…仙石總裁時代に設けた奉天事務所は解消されて、鐵道、地方、販賣と三事務所々管に還元した、擴大したのは總務部で、地方、商事、經理の各部は現狀維持である、鐵道部、東京支社、撫順炭礦には夫々次長が置かれたが、これは事務の繁忙又は理事駐在の關係であり、鞍山製鐵所は昭和製鋼所の一部として滿鐵より分離することが既定の事實なのでその方針が職制の上にも現れてゐる、要するに淡々として奇なく、しかも定石を打つて危げないのが今度の職制といふことが出來やう

人事異動の特色

淘汰無く、新進拔擢

▼…淘汰のないのが今次の異動の特色だが、全體として許す限りの新進拔擢をなしてゐるところに新味がある、部長級は悉く次長が原則として昇進してゐるが、たゞ田所監理、谷川商事の兩次長が審査役室に入つた、谷川氏の後を武部地方部次長が襲ひ、地方部長には中西文書課長が昇進した

武部氏は神戶高商出身の物腰靜かな滿鐵人には珍らしい商賣人肌、曾つては販賣部の飯を食つてゐるので、適任なことは疑ひなし、中西氏は大正八年の東大出だから部長中の最年少、持前のきかぬ魂でグン〳〵のして來た近來の出世男

總務部長には石本奉天事務所次長が廻つた、大正四年の東大出、順當なところである、根橋計畫、市川經理、羽田鐵道は居据はりのまゝ部長になつた組

▼…今次の異動で中西部長と共に斷然光つてゐるのは大垣主計課長の撫順炭礦次長である

四十五年の神戶高商出、撫順炭礦生拔きだから元の古巢へ戻つたわけだ、新國家入りを傳へられた前田哈爾濱事務所庶務課長が上海事務所長に榮轉し、待機してゐた押川一郎氏が昇任したいづれも外國通で、適任である

主任級から課長に榮進した組の中には、話題になる人が澤山ある、林祕書係主任が總務部庶務課長になつた

この人は音樂學校出身で村岡管絃隊に居つた滿鐵の變り種出世組の一人である、大正十一年東大出の宮本情報係主任が資料課長になつたのも、この前後のクラスメートが大部分主任であることに比し早い組だ

▼…富田主計課豫算主任が地方部庶務課長に榮轉した、この地位は經理に明るい人を要するので畑違ひから拔擢されたものである、外語出身で東京支社の主たる角田不二男氏が東京支社の庶務課長となり、東亞同文書院出身の星野産業係主任が商工課長となつた

▼…地方部は小須田、下津の兩課長が鐵道部に復歸した結果、意外に大きな異動を見たが、社員會のリーダーとして活躍してゐた栗屋地方課長が審査役に轉出したのは意外だつた、その跡には多田安東地方事務所長が入つた、九年東大出、順當なところだらう

滿洲國不承認決議等 總會には提出しない

英佛伊三國の態度緩和

【ジユネーヴ卅日發】總會參加の主要國は日支問題を十九ケ國委員會に附託するに先だち總會で**滿洲國不承認決議等は一切出さないことに本日午後內約が成立**したと確聞する、右はアメリカ軍縮代表ノーマン・デヴィス氏がパリに向つて去つて以來、右は英佛等諸大國側で小國側の滿洲國不承認決議に參加するが如きは、**總會の協調的努力を害する**ものとなすに基くものでアメリカ代表デヴィス氏が去つて以來**英佛伊三大國の態度は特に軟化**しつゝある模樣である

社業擴張に伴ふ必然の改制

◇林滿鐵總裁語る

一日發表された新職制及び異動に關し林總裁は左の如く語つた

今度の職制改正は社業を擴張することになつたのでそれに順應して改正したもので、大きな改正の一つである計畫部等に對しては大なる期待をかけてゐる、鐵道方面その他にも力を入れて今後社業の發展を圖るつもりである、何分人材を要する秋なので、從來は職制改正といへば淘汰を伴つたものだが、今度は全然これを行はずむしろ新進を拔いて十分力を振つて貰ふことにした、滿鐵としては重大な時期だから社員一致して十分勉強してほしいと思ふ

宮相後任は 閣僚外より選ぶ

【東京一日發】一木宮相の辭任問題に關し牧野內府は廿八日西園寺公を訪問しその意向を確めたるところ、園公も宮相の辭意堅きため之を認めざるを得ざるべしとの意向を洩したので、牧野內府は卅日宮相と會見更に首相にもこの旨を通じたが、後任決定迄には數日を要すべく小山法相も推されてゐるが、政府は閣員を動かすを欲しないので他より選ぶ模樣である

小磯參謀長 四日新京に歸着

【東京一日發】小磯關東軍參謀長は一日午後一時東京驛發の「富士」で歸任の途についた、四日新京着の豫定である

總會議長けふ 松岡代表と會見

【ジユネーヴ卅日發】イーマンス議長は本國ベルギーの總選擧の跡始末で豫定を繰延べ今夜十一時ジユネーヴ着の筈である、從つて松岡代表とは一日午前十時會見することゝなつた、なほ一日の十九ケ國委員會は非公開となる模樣で、聯盟事務局と議長との間は既に電話で昨夜大體議事順序等打合せが濟んでゐるので、一日の會議は別電の如き議事順序で形式的に確定するだけで濟む模樣である、議長は直夕刻の汽車でブラッセルに歸り更に五日夜ジユネーヴに再來する豫定である

はるびん丸 二日午前八時三十分大連港外着豫定

人事

▲金井清治氏（大連民政署地方課長）一日旅順往復
▲大內成美氏（大連市會議長）赴奉中の處一日歸連
▲高柳保太郎氏（豫備陸軍中將）一日午前七時着歸連
▲品川主計氏（滿洲國監察院長代理）同日午前八時着連
▲直憲氏（同上監察官）同上
▲太田久作氏（滿鐵々道部車務課長）同上
▲久留島秀三郎氏（鞍山製鐵所採鑛課長）同上
▲徐紹卿氏（奉天省實業廳長）同上
▲何春魁氏（吉林省公安局交際科長）同上
▲伊藤勘三氏（滿洲木材組合聯合會理事長）同上

滿洲國通信社 けふ創業

滿洲國通信社は滿洲國領域內における日本電報通信社及び新聞聯合社の通信發行及び販賣の業務を繼承し最も進歩充實された通信設備により全滿洲國內に對して新鮮正確なる內外通信を供給すべく豫て計畫中であつたがその準備成り新京祝町の本社を始め大連、奉天、吉林、ハルビン、龍江の各支社、支局は一日より一齊に業務を開始した、大連支社は敷島町四十九番地五品ビル內に設置、支社長には本社元旅順支社長寒河江堅吾氏が就任した

侍從武官行程

關東軍狀況視察のため差遣された侍從武官町尻量基大佐は十二月二日新京着、南北滿洲各地を廻つた後十二月二十九日大連着の豫定で

◇ 發表された滿鐵新職制、これを一口に批評すれば曰く「定石」を打つたもの。

◇ 從つてこれに奇想天外の天才的?は認められぬ。

◇ その代り、實質をよく理解した人選は認められる。

◇ 目につくのは社員多數の希望を容れた社員部長制の復活。

◇ 新狀勢に應じたる事務の能率化、而して單純化、新進の拔擢、みな惡しからず。

◇ 殊更に「俺が〳〵」のメイ案を避けて、人心の動搖を避けたあたりは流石に澁い。

◇ この際少々、作者たちに敬意を表して置く。

「滿蒙の戰慄」休載

愈よ叛軍膺懲

興安嶺東方の敵を一齊に總攻撃

我軍遂に武力行動

東支西部沿線に於ける呼倫貝爾事件の發生以來日滿兩國では反滿軍蘇炳文及び張殿九に對し解決に專念しつゝあつたが頑迷なる彼等は張學良の差金と日滿兩國軍は全滿的に匪賊討伐のその主力を興安嶺以西に向けることを不可能でありとし遂に和平交渉に應ぜざるのみか之を襲に伊藤豐少尉、犬養軍曹搭乘の我が偵察機を七家樹附近で猛烈に攻撃し又西部沿線各地に殺或は日滿官憲を非戰鬪員にあらずとして監禁するなど無禮極まる行爲は枚擧に遑なき程で力を以て徹底的に之が膺懲を爲すべく先づ興安嶺東方地區の賊軍に對し三十日早朝より一齊……

わが軍札蘭屯を占據

甘南城を經て自動車隊前進

三十日午前四時興安嶺東北地區に向へる我が部隊は高波部隊にしてこれより先き關東軍裝甲自動車隊は全力を擧げて甘南城に前進し二十九日甘南に到着直に札蘭屯に向つた【新京電話】

服部部隊、高波部隊の先發自動車隊は三十日午後三時札蘭屯を占據し……意を衝かれ全く狼狽した、この爲敵の前線碾子山方面の敵軍は退路を遮斷された【新京電話】（地圖は總攻撃を開始した興安嶺……）

防寒服の支給なく兵卒は百姓の毛皮を強奪してやつと生きてゐる有樣で全員全く意氣そゝう」日本軍と一戰などは到底思ひもよらないさ

敵第一線背後を斷つ

氷原の山岳地帶に進撃開始

我が自動車隊と茂木部隊は富拉爾基より行動開始し七棵樹を經てその背後を斷ち作戰することゝなり富拉爾基の平賀部隊は三十日未明に進出し敵の第一線碾子山……を占領して直に朱家園に攻撃を開始した、……卸してゐる李家子陣地を占領して直に朱家園に攻撃を開始した、の歩兵騎兵の一部及び一千の蒙古兵聯合軍が氷原の山岳地帶を利……に進撃中である【新京電話】

蘇軍將兵戰意なし

給料不渡で食料粗惡

【チチハル一日發】……議によれば「蘇炳文軍隊の給與は極度に惡く全員とも八月に一回俸給を受けたのみで其後今日まで一厘の支給もなく先般將士連名を以て俸給を要求したところ將校に十元、兵卒に三元を支給した、食料に至つては毎日一人宛粗惡なるパン二斤となつてゐるが實際は一斤位でそれに加へてこの寒さに……

白系露人赴奉

漂泊の白系漁夫ウイノグラード・イワンイワノウイツチ（四六）以下五名は一夜を鮮海丸に明したが同船は直に出帆するので又も哀な彼等は困却のドン底に陥つてしまつたが、水上署高等係員や白人救濟に當つてゐる市内駿河町ルツゲレフマシマ氏等の手によつて旅費を得て一日夜十時の列車で奉天に向ふ事となつた

驛頭に勇士を送る

獨立守備隊の入營兵北上

三十日宇品丸にて着連せる獨立守備隊入營兵一千餘名は關東倉庫に一泊したが、一日午前七時第一班を先發とし午前十時半第二班は何れも陸軍關係者は勿論官民代表を始め一般市民多數の見送り裡に勇ましくも華々しく入營の喜びを抱きつゝ大連驛を出發したが第三班も午後十時大連驛發衛戍地に向ふ筈である【寫眞は大連驛頭の盛んな見送り】

銃器の販賣勝手次第

法の疑義を暴露

購入者のみを罰する

ギャング横行時代にあつて銃砲火藥類の取締は內務省を初め關東廳管下に於ても嚴重を極め一挺のピストルといへどおろそかにせぬ愼重な態度を以て臨まれてゐる矢先、關東廳管下の銃砲火藥販賣業が許可證なき者例へばギャング團に何百、何千の銃器を販賣するも之を罰すべき法律が存在せずその行爲は罪を構成しないといふ重大視すべき新判例が大連地方法院小田判官によつて下され法律の一大疑義を暴露した

販賣營業者の密賣

所罰する條文なし

山田銃砲店無罪判決

販賣營業者は其の營業に關し讓受又は讓渡を爲す場合はこの限りにあらず

卽ちさきに白晝銀行斬りの店員を襲ひ大金を奪つた伊藤一味のギャング團にピストルを密賣したことから驚くべき多數の銃器類が支那人の手に密賣されてゐることが發……

入しなかつた點で同規則第廿一條に觸れ罰金三十圓の判決が下されたものである、卽ち此新判例によれば銃砲火藥店は許可書を所持しない者にもドシ〳〵ピストル、長……

……井檢察官は銃器密賣の行爲火藥取締規則第三十五條の違反銃器受拂を帳簿に記入しなかつた點を同規則第二十一條の違反として起訴公判に附したが、去る……九日公判に於て大連地方法院……裁判長は「檢察官の起訴事實……規則第三十五條の條文……銃砲火藥類は許可證を所持する者に讓受又は讓渡を爲す……を得ず、但し銃砲火藥……

力がないかどうかといふ問……曹界に投げられた新宿題と……論の中心となつてゐるが、……件を起訴した大連地方法院……高井檢察官は、法院の解釋……ではます〳〵社會惡を增長……のであるとなし下田檢察官……協議の結果石動事件に關し……訴をなすに決定した、右に就き高井檢察官は語る

法院の解釋は立法の趣旨を……したものである、規則第三……條の「但し銃砲火藥類販賣……は其の營業に關し」とあるが……營業に關し」とは正當な營業……商を意味するもので許可證……持せず身許不明な者に銃器……つても宜しいと命令して……のではない、法律の條文解……

法院の解釋は字句に拘泥

山田銃砲店の密賣は高井檢察官から控訴

二百廿四體の悲壯な凱旋

いよ〳〵明日に迫り各關係者が集り協議

我等の滿洲號新京へ歸還

けさ周水子を離陸

五十三キロ噸電氣モーター

獨逸から着荷

海底電線調査

ベンゾイリンの場合と同樣無罪

裁判長の判決理由

被告の犯罪事實を二十四個條擧げた末尾に「右は山田銃砲店の業務となしてゐたものである」と書いてある檢察官が營業に關しの字句を正當な業務行爲が含まれてゐるといふなれば何故に起訴狀の末尾に石動の不正行爲を業務と見做したかこの點頗る不盾である、自分は現在のところ所謂當業者の密賣行爲を罰すべき法律が關東州內にはないと信じ石動事件に無罪の判決を言渡した、勿論規則第三十五條はこれを罰する力がないと信ずる

五條の條文を以つて立派に密賣行爲を取締ることが出來ると固く信じてゐるので石動事件は斷然控訴する考へである、

失業者救濟の對策を協議

州內の社會事業團體が集り關東廳會議室で開催

……務局長より挨拶を爲し佐竹鎌倉保育園理事より始め各代表の事業報告と希望事項聽取、中食後午後一時再開、經營と連絡事項に關し監督官廳としての注意あり午後四時散會した、なほ本協議會は今回を第一回として每年開催の筈だと

民政署長の官舍に坐り込む

卅日午前十一時半ころ市內松山町九番地永井民政署長官舍に一名の怪漢が訪れて「俺はルンペンで困つてゐるから飯を喰はせて吳れ若し飯が無ければパンでも買つて來て吳れ」と家人か拒絶するのもかまはず坐り込んでしまつたのを急報によつて驅つけた小崗子署員が本署に連行したがこの男は大阪市生れ住所不定夏目清廣（三九）といひ餘罪ある見込で留置取調べ中

滿博ポスター

大連市催滿洲博覽會では宣傳用ポスターの懸賞募集中であつたがいよ〳〵三十日を以て締切り同日附の郵便局受付けスタンプあるものは全部受け付ける事となつた一日午前中までの應募點數は百七十點であるが遠く內地の京都大阪および中國筋、四國、九州方面からの應募もあり、全部で二百點位に達すべく近く審査會を開き愼重審査する

樂屋荒し御用

卅日午後二時ごろ市內平和街七三番地先を新聞紙包を持つて徘徊してゐる擧動不審の二人連れの日本人を小崗子署員が取調べるとこの男は元西廣場高等演藝館樂士であつた池田武夫（三九）同河合一雄（三九）と言ひ帝國館の音樂室より三味線を竊取した外保健浴場脫衣場にて財布及びクローム腕時計を盜むなど餘罪十數件もある竊盜犯人と判明引續き取調べ中

天氣予報　二日

北西の風（晴）

各地氣溫　一日午前十一時

大連	九	奉天零下	一
旅順	九	新京零下	一〇
營口	六		

けふの小洋相場（正午）　金百圓は一二三圓五五錢

國難日本刀（171）

高桑義生作　京極佳夕畫

嵐の花（七）

哄笑をしたのは、怪僧大東義觀だつた。

「何だ、あのざまは——あれでも兵隊さんか」

鐵砲彌太左衞門である。

「こりやあ見かけ倒しだなあ」

黑船濟次である。

「異人なんて、あんなものです。何より自分の命が可愛い」

經驗のあるだてんの勘吉。

強い〳〵といはれたイギリス兵、すばらしい武器をもつてゐる外國の兵士、が一戰もせずに逸はやく逃げたのは、誰にとつても意外だつた。それも數の上からいふと、こちらはわづかに七人、向ふはそれに數倍の三十名あまり。

「幕府の弱腰が、強いものにしてしまつたが、恐るゝに足りぬ。やまと魂に刃向ふ者はない」

と佐吉周平はいつた。

この一團は、横濱に潜行する考へで、江戸からやつて來たのだが、折から英國兵の上陸を見かけると、騎虎の勢ひといふか、不敵にも襲擊したものである。

「や、こんな物がある」

と、鐵砲彌太がひろひ上げたのは、琥珀色の液體を滿たした瓶である。

「酒だな」

「そりやあ何とかいふ強い酒だ」

「おや、こゝにも。あわてゝみんな置いて行きやがつた」

喰ひかけの辨當、ウイスキー、葡萄酒などの瓶が草むらに散亂してゐた。

「奴等あまるで物見遊山か何かのつもりだな」

「一杯やるかな」

「よせ、よせ、そんなえたいの知れねえもの」

「なあに……お飲みになられえなら、あつしがお先に頂きますよ」

と上戸の濟次は、ラッパ飲みをはじめた。

「すばらしい。こりやあ素敵に利くぜ」

彼等は歩き出した。

「朝廷におかせられては、あくまで攘夷御決行と承はる。叡慮のほど畏しとも畏し、まことに國を擧げて一致團結、外敵にあたれば、恐るゝことはない。神國ぢや。大和魂ぢや。神州日本の威をしめすは今、えびすどもは塵あくたの如くけし飛んでしまふのぢや」

義觀は口角泡を飛ばした。

「和尚のいふ通り、尻込みしてはゐられない。おとなしくして居れば、尻の毛までもむしられてしまふ。この不景氣に、百萬兩といふ大金を外國にもつて行かれてたまるものか。たかが三五人の命、無禮者を成敗しただけの事だ。何處までつけ上るか知れたものではない。何でもいゝ、やッつけてしまふ事だ。敗るものなら、結局敗ける。なあに日本男兒が毛唐に負けるか」

「さうだ。この難局を救ふものは斷の一字あるのみだ。思ひきつて戰ふのだ。勝敗は問ふところではない」

「幕府は、結局敵の要求をきくつもりらしい。一戰の覺悟はない」

「そこで、われ〳〵の仕事がある。どうでも開戰となるやう——彼奴等を怒らせるのだ。手あたりしだい、あばれ廻るのだ。さつと何とかなる。國運を賭し、下萬民の命をかけて——われ〳〵はその口火を切るのだ。いそがう、幕兵が何だ。いくぢのない濫兵が何だ。回天の事業は、目の前にある」

意氣軒昂な問答である。

「ほう、向ふから、女がやつて來た」

「なるほど、のんきさうに歩いて來る。大膽な奴だな」

（佳夕畫）

白夜の饗宴

片岡千惠藏主演　日活館上映

マキノ時代の山上伊太郎とマキノ正博のコムビに片岡千惠藏を加へた新なトリオを賣つた千惠藏映畫であるが、今までの千惠藏映畫でもなく、また山上、正博の描き出した所謂マキノ趣味で押し切つた作品でもなく、この新しいトリオが新しい世界を求めやうとした意圖があつたことが看取される作品である

全篇十三卷が殆んどラヴ・ストオリで終始し千惠藏と山田五十鈴のクローズ・アップが東海道五十三次に展開され、思ひ出のカットバックを連續しダブラして戀愛プロットを刻明に描いてゐる

その結果、斷然光つてゐるのが山田五十鈴のお市でその演技は推賞さるべきである、觀點をかへて見れば山田五十鈴を銀幕に深く印象づけるために正博のメガホンが全力をあげた結果となつたとも言へよう【寫眞は千惠藏と五十鈴】

パテー聯盟の懸賞入選作品

滿洲パテー聯盟で創立記念第一回作品募集の結果、入賞者は次の如く決定し、賞品は濱速町陸村洋行のウインドウに陳列されてゐる

一等　道路修繕作業　大連　下山
二等一席　ラヂオ體操　奉天　小林
二等二席　滿洲グラフ　大連　近藤
三等一席　榮えあれや滿洲國　金州　高見
三等二席　小舟　大連　紺谷
三等三席　苦力の生活　大連　中川
別席一席　夜の酒場に　大連　下山
別席二席　我家の記錄　大連　下山

本社特選　新棋戰（其一）

平香交　先手番　七段▲宮松敏三郎
平手番　先六段△飯塚勘一郎

【圖は六二銀迄の局面】　飯塚氏　持駒ナシ　／　宮松氏

▲七六歩　△三四歩
▲二六歩　△八四歩
▲二五歩　△八五歩
▲七八金　△三二金
▲四八銀　△六二銀
▲六九玉　△五四歩
▲五六歩　△四一玉

【土居八段講評】飯塚君は二筋の歩を切つては飛車の位置を決めなくてはならぬから譜の如く四八銀と上つて敵の動靜を窺ふたのは實戰に適應した策である。

【萩原六段解說】宮松氏の八四歩は所謂る相懸り戰にする意味で此處で四四歩又は五四歩等の策もあるが一般に守勢に傾き從つて敵にその得意な強襲を發揮され易いので變化に富む激烈な相懸戰に出たのである。飯塚氏の四八銀は此處で二四歩、同歩、同飛と指すのが普通の型であるがその時二三歩と打たれ二六飛、二八飛又は三四飛の横歩取り等何れかに飛車の位置が定り實戰が判明するので四八銀と横樣を深く取つた、宮松氏の六二銀も八六歩と突くと飛車の位置が決定するので含みに殘し先手の四八銀に對抗して六二銀と指したのである

滿洲日報
（明治卅八年十二月十五日第三種郵便物認可）

興味は總會討議後の十九國委員會の成行
結局來年に持越さん

【ジユネーヴ卅日發】六日開會の聯盟特別總會は六、七兩日又は遲くも八日迄に日支外各國代表の演說を終り直に問題を十九國繼續委員會に附託する豫定である、右一般討議が終つた後委員會附託前に滿洲國不承認決議等は持出さず殊に總會參加各國間に既に諒解が成立したので一日の十九國委員會は單に形式的なものとなり興味の中心は總會に於ける一般討議後の十九國委員會の成行きに注視されるに至つた、併しクリスマスを控へ同委員會も十二月十七日以後迄審議を續行することは困難で第三者側は結局來年に持ち越すの已むなきに至るものと見てゐる、尚總會の會場は軍縮議事堂を使用することゝなつた、右總會に出席の帝國代表は松岡首席代表、長岡駐佛大使、佐藤駐白大使の三氏に決定し松岡代表が主として討議に參加する筈である

【ジユネーヴ三十日發】臨時總會は六日から約三日間公開會議を開催それより日支問題を十九國委員會に廻附するものと觀らるゝが三日間に亘る總會は實質的には雄辯大會と異ならざるものとなるべく別に實質的展開を期待し得られぬ、結局は五、六ケ國代表による起草委員會なるものが設けられ和協の途を見出さうといふ案に落着く模樣である、しかしこれが今年中に出來るか未だ見當がつかないが和協委員會案については聯盟筋では更に左の如き見解を持つてゐる

一、和協委員會は第三者の立場から當事國間の紛爭を裁斷する機構を有するものでなく日支兩當事國の參加を得て規約十五條第三項に基くもの
二、委員會の會議地は例へばロンドンの如き場所を選べば日本の爲めにも惡くはなからう

十九ケ國委員會開會
イ氏を委員長として

【ジユネーヴ一日發】十九ケ國委員會第一回會議は一日午前十一時十分イーマンス委員長司會の下に公開會議で開會された最初非公開會議でなす筈であつたが突然公開會議に變更されたものである

委員會の代表顔觸

【ジユネーヴ三十日發】一日午前十一時開かれる十九國委員會には左の各國代表出席の豫定である
▲イギリス、外務次官ロバート・エデン▲フランス、マッシグリー公使▲イタリー、アロイジ男▲ドイツ、フオンローゼンベルク▲スペイン、マダガリアガ▲ポーランド、外相ベツク▲メキシコ、スアレッツ▲ガテマラ、マトス▲チエツコ、外相ベネシユ▲アイルランド、レスター▲ノルウエー、外相ブラットランド▲パナマ、駐佛ガライ公使▲スヰス、モッタ大統領▲ポルトガル、ヴアスコンセロス▲ベルギー、議長イーマンス及びボーレー▲スエーデン、前首相サンドラー▲コロンビア、レストレポ▲トルコ、セマルヒユスニベー公使▲ハンガリー、ルイスワルキー

右の顔觸れによつて知らるゝ如く大國側は何れも次官級以下の人物を以て代表としてゐる事が注目に價するが、六日の總會後に開かる十九ケ國委員會にはイギリスはサイモン外相、フランスはエリオ首相、ドイツは外相フオンノイラート男、アイルランドはデ・ヴアレラ首相等の巨頭が代表として出席する模樣である

十九國委員會
我代表部重要視

【ジユネーヴ三十日發】我が代表部は總會本會議における松岡代表の演說草案を用意してゐるが問題が十九國委員會に附託された後日支代表は臨時同委員會に出席を求められ其處で實質的最後的解決案が決せられる機會があるので我が代表部では同委員會を最重要視し我が既定方針を如何に具體化し表現すべきかにつき今後每朝九時半から會合を開き愼重對策を練ることゝなつた

イ議長壽府着

【ジユネーヴ三十日發】イーマンスベルギー外相は三十日午前十一時五十分ジユネーヴに來着した

議長總長會見

【ジユネーヴ一日發】イーマンス議長は松岡代表と會見後直に事務局に赴きドラモンド事務總長を訪ひ委員會直前まで四十分餘に亘り會談を遂げた會見內容は臨時總會を如何に導くべきか日支問題を如何なる方向に向くべきかでドラモンド總長は之に就き自己の腹案をイーマンス議長に示し意見交換が行はれた消息通の談に依るとドラモンド總長は日支問題處理の腹案一、二、三と幾種の假定案を準備してゐるが其の何れにも確信ないらしい未だ日本にも內示されて居らず嚴重なる秘密裡に取扱はれる模樣である

總會議事順序
大體日本の希望に一致

【ジユネーヴ三十日發】聯盟事務局がイーマンス議長に參考案として手交するため用意した總會議事順序要點左の如し

十二月六日午前十一時開會、劈頭日支紛爭事件の經過に關し議長演說後、日支双方の代表をして各その主張を陳述せしめ、小國筋へも十分發言を許し、各國の演說に對し夫々意見を披瀝させ最後に議長から問題全部を委員附託となすべき旨を宣し、それより十九ケ國委員會の眞劍の審議に入り日支代表を交々出席させ、時には紛爭當事國を參加させず、解決案に關する總ての意見を取纏め之を總會に報告し總會は之に基き決議を作成するといふ段取だが、右筋書は大體日本の希望と一致し總會劈頭日本を憤激せしむる如き小國筋の策動は顧みぬかたちである

要すれば進んで獨立不可侵を强調
滿洲國の對聯盟態度

最近における聯盟の情勢は滿洲國の利益に重大なる影響を與へんとするの傾向あるに鑑み滿洲國政府は從來の對聯盟無關心主義を排し聯盟の結論に對する萬般の外交政治をなすことになつた、即ち滿洲國政府は曩に聯盟並に小國側の諒解のために特に滿洲國政府顧問ブロンソン・リー氏及び丁士源氏を派遣したが聯盟の動向の如何に依つては敢然聯盟に對し公式代表の資格に於て堂々滿洲國の建國並にこれが獨立國家としての不可侵性について論陣を敷く豫定である、右に關し兩代表は日本ジユネーヴ全權代表部並に本國政府に對しジユネーヴの雰圍氣を豫想しこれに對する準備として指令を仰ぎ來つた、滿洲國政府としては結局左の範圍內に於て對聯盟態度を決定すべく聯盟が萬一左の範圍を越えたる結論に誘導せんとするに於ては斷乎として新國家の獨立性の認識喚起のため適當なる措置を採ることゝなつた、新國家の獨立に對する滿洲國の對聯盟態度は左の如くである

一、「滿洲は支那の一部なり、而して支那政府の主權は今なほ滿洲に及びつゝあり」との誤れる觀念は放棄すべし
一、滿洲國の獨立は全滿民族の自決に基くもので何國といへどもこれを妨ぐるを得ぬ必然性のものなること
一、滿洲國は數次に亘つて聲明したる如く滿洲國が支那より分離作用を起し完全に支那の主權を排除し獨立したる現事態に對し列國が九國條約に違反して生じたる事態と認め徒らに條約違反呼ばはりをなすは民族の最高意思並に國家の獨立性を侵害するも甚だしきもので滿洲政府はかゝる聯盟の結論に對しては絶對に承服し難きものである

等である、なほブロンソン・リー、丁士源兩氏に對して滿洲國政府は近く何分の回訓を發するはずである【新京電話】

支那代表が劈頭發言

【ジユネーヴ三十日發】支那代表部は總會に提出すべき意見書の準備を進めてゐるが、總會では支那側が意見書を出す點から先づ支那代表が先に發言する事になる模樣であるが、一日午前十一時より開會の十九ケ國委員會は臨時總會の段取を決定した上一日限りで一先づ閉會し總會まで開かない樣子である

松岡代表の演說骨子
我方針こそ唯一の平和策

【ジユネーヴ三十日發】我松岡代表の六日の總會における演說大綱は今朝九時から零時過ぎまでの代表部會議で決定し文案起草に入る事となつた、理事會での演說とは全く趣き變り我方針こそ東洋平和確保の唯一の途で聯盟の眞精神に全く一致し、日本に關する誤解が解ければ完全な支持を得べきものなる旨を强調し辛抱强く飽迄說明に努める態度を闡明するものである

松岡代表
イ氏と會見

【ジユネーヴ一日發】松岡代表は十九ケ國委員會を前に一日午前九時半委員會委員長イーマンス氏を訪問前後二十五分に亘り會見を遂げた松岡代表はイーマンス氏のジユネーヴ到着に敬意を表し日支紛爭事件の處理に關する手續問題の打合せを遂げた

滿鐵・豫想外の大搖れ
慌しいうちにも漂ふ和やかさ
その日の滿鐵風景

滿鐵の新職制および異動の發表される日――十二月一日の滿鐵本社の灰色や赤煉瓦の建物の隅々まではそは／＼落着かぬ空氣がたゞよつてゐた、九時十分、この日の立役者、八田副總裁が出社、副總裁室に入つた、と、重役室から呼出電話がかゝつたらしく、伊藤聯運課長、西田考査課長、伊藤調査課長、由利技術局庶務課長、谷川次長その他課長級以上で異動に入つたと思はれた人が次ぎ／＼副總裁室の前に集まつた、最近鐵道關係の約十人が室に入り、ついで田所、谷川、西田の三氏が一人一人入り、夫々終つて終りの數人が入つて、夫々歸つて行く

終つて十時から、副總裁は、山崎理事と土肥人事課長をともなつて應接室に現はれ、待ち構へた記者團に職制の改正點とその理由を說明し、つゞいて土肥人事課長から人事異動が發表された、豫想を裏切つて異動は相當廣範圍に亘つて居り、その報道は忽ち社內に擴がつてこの室でも仕事はそつち除けで異動評に花が咲く

金的を射あてた中西新地方部長は早くも書類を整理して午後は武部前次長の許に挨拶に行く、その武部部長の室には、もう林撫順炭販賣會社常務が詰めかけて來て、石炭販賣の話を始めるといふ氣の早さ

今度の異動で誰も意外とし、それだけ社內の同情を集めたのは谷川前商事部長の審査役室入りである、過去一年餘、事變、排日、內地の移入制限、支那の輸入稅課稅などの撫順炭始まつて以來の受難期に惡戰苦鬪し、やうやくこれから芽が吹きかゝつた時に去らねばならぬのは殘念だらうと、部員も挨拶に行つて一寸言葉が出なかつたといふ、しかし本人は早手廻しに社內を片づけて午後は甘井子から市中の販賣各現場に挨拶廻りに出かけた

淘汰といふ血腥いことがなかつただけに全體に春風駘蕩たるものであつたが、たゞ審査役室だけは從來とも待機プールといはれてゐただけに多少左遷といへる、このうち谷川、田所、西田の三氏は一人々々呼ばれたのでこの三氏は專任の特殊使命を有した審査役であり殘り五氏は近き異動の際に浮び出るのではないかとの觀測が行はれてゐる、ハルビン事務所長や東京支社經理課長など今次の異動で後任者が本定りしなかつた所があるから、いづれは小餘震がなくてはならぬと觀測されるからである

今度の異動は「本所歸へり」だといふ批評が專らである、即ち動いたものは自己の最も長く居つたところや、その人の最も長所とする箇所に配屬する方針が見えてゐるからで、この意味からも適切な人事だとの評が多い、新進拔擢の評判も頗るよく、こんな和やかな職制改正は曾つてなかつたとは古い滿鐵人の總評である

『大搖れだツた』が新課長好評
鐵道部と技術局

「豫想外の大搖れだつた」これが鐵道を通じての部屋のさゝやきである、新課長は何れも評判がよい「羽田內閣萬歳だれ」の聲がする午後二時から各主任の任命がある

それがすむと羽田部長、清水次長は仲良く連れ立つて

◇各課を挨拶廻りだ、車務課、聯運は流石に騷がしい、然し大體に榮轉だから何といつても賑かな騷がしさだ、その中で誰かゞ「木村さんも課長にしたかつたれ」と言ふ、そうだ／＼と合槌を打つ「愁を言へばきりがない」と誰かがたしなめる、江崎新鐵道事務所長

猪子さんのやうな名所長の後に行く者は心配だよ

と謙遜する、廢止になつた聯運課はそのまゝ係として殘るので解散式をやるかやらぬかで大評定、結局壽永主任の採決で三日午後六時から解散式をやることに決めた、僅かの

◇閑を得てホッとした羽田部長は

抱負と言つても別にない、重い責任を負はされた自分だ唯全力を盡すだけだ

と强い決心を語る、白井庶務課長

まだこれからが忙しい

とこぼしてゐる、足を轉じて技術局に行くと局長、斯波顧問、審査役が集まつて業務課の組織で會議中由利庶務課長の「お世話になりました」の聲に、審査役になつたのは榮轉だのにと自分に言ひ聞かせながらも何となく淋しさを感じる

鐵道部の係主任

滿鐵々道部新設課の係および新任係主任は左の如く決定した

▲輸送課（配車、運轉、設備）
鐵道部附參事　遠藤貞治
配車係主任兼設備係主任を命ず
車務課技師　芳賀千代太
運轉係主任を命ず
▲工作課（計畫、機關車、客貨車機械）
車務課技師　久保田正次
計畫係主任を命ず
同上　木村知彦
機關車係主任を命ず
同　技術員　市原善積
客貨車係主任を命ず
同　技師　石尾茂
機械係主任を命ず
▲營業課（貨物、旅客、聯運、宣傳）
聯運課事務員　森永不二夫
聯運係主任を命ず

なほ龍谷現配車係主任は鐵道部附となり目下外國出張中の關參事は取敢ず營業課附として歸任後確定課所に配屬される筈であり、經理課營業收支係主任は未定であるが鐵道工場庶務係長は左の如く決定した

鐵道工場庶務係主任　篠原豐三郎
工場庶務長を命ず

無理のない異動
滿鐵鐵道部異動評

◇鐵道部の職制改正は最初の豫想を裏切るものが相當に多かつたがこれは宇佐美氏が鐵道部の人事に參畫した結果によるものと見られて居り、即ち新たに鐵道部附として任命された參事には宇佐美氏の信任厚い數氏を見ることが出來る、猪子氏の輸送課長、野中氏の工作課長は誰しも異論のないところと見るべく、野中氏は今後鐵道工場はもとより內地各車輛製造會社をリードする工作課長として最適任であり、猪子氏は長大直通列車を始め最近滿鐵々道部の運轉計畫を殆ど一手に引き受けた人で輸送課長はこれまた最適任、殊に氏は技術家に似合はず事務的才能もあり未來の鐵道部長を約束されてゐるだけに今回漸く課長となつたことは氏自身としては餘り嬉しくもないことだらう

◇郡氏の工務課長は全然豫想外れであつたがこれまた異論のある筈がなく現業員としての經驗も深くかつ現業員に人氣の好い氏を工務課長としたところに羽田部長の苦心がある、山口營業課長留任は豫定の如く、伊藤聯運課長が經調委員となつたことは氏が鐵道部第一の頭腦の人で、また學究的でもあり、相當豐富な內容を持つため經調委員となつたものと見られてゐるが近く更に要職に就くとも一部では言はれてゐる

◇佐藤氏の審査役への榮轉の跡を襲ひ伊藤民雄氏が据つたことはこれまた順調な昇進であり、さきに市川氏退社當時佐藤、伊藤兩氏何れかに決定するものと言はれてゐたことを考へれば異論のないところ、腰の人、直情徑行の氏の今後は見物だ、早大といふ私學出として萬丈の氣焰を吐いてゐる

◇江崎氏の大連鐵道事務所長は溫厚しかも明朗、頭腦明斷な氏の前途に更に光明を投げたもので、あり、氏が現場の長として働べられた今後數年後こそ氏の最大の眞價を出す時であらう、杉浦氏の工場長榮轉はこれまた氏としては餘り嬉しくもないであらう程順當すぎる榮轉である、すでに遼陽工場長、工場作業長の經驗もあり野中氏との好連絡こそ大いに期待されるものである

最後に次長清水賢雄氏は一寸意外に思はせてゐるが佐藤次長轉出後の鐵道部技術家でその人を求むれば田邊清水兩技師の他にはなく田邊技師は他に要職を豫想されてゐる今日、また清水氏がかつて羽田部長が大連鐵道事務所長時代同所の次長を勤めた經緯があり、その溫厚な人格から見てもこれまた最適任とすべきである

◇要するに今回の鐵道部異動には全然無理のない事が如何にも羽田部長の性格そのまゝであり、かくして羽田氏を中心にしての確固たる鐵道部が生れて來た

『內地資本家の進出を說得した』
歸任の途　小磯參謀長談

【東京特電一日發】小磯參謀長は有富副官帶同一日午後一時東京驛發急行により西下したが驛頭には荒木陸相、南大將、林教育總監、武藤全權夫人、藤原銀次郎氏その他百數十名が盛んな見送りをした參謀長は香港丸により海路四日着連直に北行の豫定である、これより先參謀長は見送りの記者に語る

滿洲問題解決の重要なる着眼點は屢々いふが如く第一に治安維持第二に交通、通信機關の整備第三に產業の開發であつて目下武藤全權はこの方針の下に日滿官民の協力を求め大いに活躍をしてゐる次第で、吾輩は中央政府に對しこれが一般的報告をなし今後の打合せをなした次第である

◇…治安維持は先づ奉天省よりといふモットーの下に着々その實を擧げ今や北滿黑龍江省に及んでゐる

◇…第二の交通、通信の整備においても治安維持の事業と相伴つて諸般の計畫なり或は實行されつゝある、例へば電信電話、通信網の完備に若しくは道路工事に各種の方面に實現し或は實現せんとしつゝある

◇…歸つて產業開發に關する現狀についていへば採算上中には有利ならざるものもあるかも知れぬが、國家政策上緊要なるものに對しては着々實現の基礎をかためつゝある、その他有利なる產業開發について相當莫大なる資本を要するので內地側資本家に滿洲進出を大いに說得したが多少危惧の念を抱くものゝあるのは頗る遺憾であつた、滿蒙問題の解決如何は帝國の興廢に關するのであるから資本家たると然らざるとプロレタリアたるとを問はず敢然としてこの機會に產業開發のため勇敢なる步武を進められんことを希望してやまない、このことを可なり徹底させて來たわけだ

社員部長制大贊成
宮島監理官談

【東京特電一日發】滿鐵の職制改正は大體に於て好評であるが拓務省の宮島滿鐵監理官は語る

今回の職制改正は先づ無難であつて原則として社員を部長に任命することになつた點は大贊成である、只拓務省で問題となつた點は傍系會社を監督する意味で設けられた監理部といふものを廢止し總務部に配屬せしめたことであるがつまり人のために職制の改廢をやつたり作つてから幾ばくも經たぬのにこれを止めるなどは十分議論の餘地があるといふやうなわけであつたが山西理事の說明によるとこれは決して傍系會社を輕視するのでない從來とても國際運輸などは鐵道部に關係が深い、昌光ガラスになると商事部に關係がある場合には普重役會議にかけるといふわけで根本的の方針を決めて決定してゐたのである、依つて從來の經驗から監理部を廢止した方が良いのだとの理由が分つたので認可したわけである、又東京支社を初めハルビン、上海事務所、撫順炭礦、鞍山製鐵所の昇格、經濟調査會の總裁直屬等は先づ妥當なるものと認める、これによつて社員も前途に希望が生じ又理事の活動も非常に自由になつたものと考へる

アメリカ海軍の定時聯合大演習
軍令部長計畫を發表

【ワシントン三十日發】アメリカ海軍の定時聯合大演習に就ては本日プラット軍令部長より左の如く發表した、右大演習は二月以來太平洋に滯留してゐた大西洋艦隊と太平洋艦隊合同で行はれ布哇のオアフ島が假想敵のため占領せられた假想の下に同島奪還の演習を行ふものである

一、クラーク提督は一月中に大西洋艦隊と巡洋艦七隻、驅逐艦十三隻、航空母艦を指揮し布哇に赴くが同地にて演習後太平洋岸に歸還し太平洋艦隊と合併二月の六日よりの模擬戰に參加す
二、模擬戰は二月六日より十七日迄擧行
三、模擬戰後全艦隊はサンディエゴ、サンペドロ軍港方面に集中
四、演習は三月末に完了
五、大西洋艦隊は多分四月中に東海岸に歸還す

日本の軍縮案
提出時期不明

【ジユネーヴ三十日發】日、英、米、佛、伊の五ケ國軍縮代表の非公式會議は來週開かれ軍縮會議の打開策を講ずるとの說傳へられつゝあるが今のところ實現不能の狀態にある從つて十二月上旬軍縮會議に提出される豫定の日本の新海軍提案も目下のところ何時出すかその時期は判らない

新京大使館職員
一日官報で任命發表

【東京一日發】新京大使館職員は本日官報を以て左の如く任命された

大使館一等書記官　栗原正
同　松島鹿夫
同　米澤菊二
滿洲國在勤を命ず（各通）
大使館二等書記官　林出賢次郎
同　三等書記官　花輪義敬
吉林在勤を命ず
同　鶴見憲
同　桝谷秀夫
同　三浦和一
滿洲國在勤を命ず（各通）
總領事　栗原正
新京在勤を命ず
領事　林出賢次郎
奉天在勤を命ず
外務警視　末松吉次

米穀證券借換

【東京一日發】大藏省發表、十二月一日支拂期日の米穀證券（第八回）一千二百萬圓及び（第九回）五千萬圓合計六千二百萬圓は借換へる事に決し預金部引受にて日步八厘と決した

八田副總裁
六日發上京

八田副總裁は社務多忙のため上京が遲延してゐたが職制發表も濟み一段落となつたので六日の香港丸で上京する筈、なほ在京期間は極めて短く年內には歸任の豫定

各省新規增加
基準豫算以外

【東京一日發】明年度一般會計歳出概算總額二十二億三千九百三十二萬五千圓中基準豫算を除く新規增加額は左の通り（單位圓）

經常部	一七七、六二四、九六九
臨時部	五六七、〇三二、四三七
計	七四四、六五七、四〇六

各省所管別左の如し

外務省	九、四五五、六五九
內務省	一二〇、九九七、三四〇
大藏省	一三九、六四六、三一三
陸軍省	二六五、七六五、九六四
海軍省	一四六、四二九、五九六
司法省	一、〇四〇、二一四
文部省	五、二四六、五二五
農林省	三五、七七七、三五九
商工省	四、七〇一、五九五
通信省	七、八二〇、一三四
拓務省	七、七七六、七〇七
計	七四四、六五七、四〇六

滿洲國通信社

滿洲國通信社は一日午前九時より軍部側岡村參謀副長、臼田、藤本兩參謀、大使館より松島書記官、滿洲國側より阪谷總務廳長、皆川秘書處長其他の來社あり先づ里見主幹の挨拶で岡村副長、阪谷廳長の祝辭、阪谷廳長の發聲にて滿洲國通信社の萬歳を三唱、するめ、勝栗で冷酒を酌交し十二月一日附第一便を配布した【新京電話】

社說

我國提出の海軍々縮案

近く我海軍より、海軍々縮案を軍縮會議に提出する筈で、其の內容も概略傳へられてゐる。今度の海軍々縮に關しては、英米先づ協議し、佛伊も亦協議する所あり、而して英米佛伊の間に或る協定を爲し、之れを以て日本に押しつけんとする氣配があると傳へられる。五大海軍國中日本一國が東洋に位地する爲め、いつの會議にても孤立の地位に立ち、內相談には除け者にさるゝを免れない。以前のワシントン會議と云ひ、ロンドン會議と云ひ皆然りで、日本は頗る苦しき立場に置かれた。我國の議論を聞はず所は只彼等の案につきて議論するのみであつた、今度我國が、獨自の立場から立案した議案を提出するに至つたのは、歐米追從の從來の型を破つたものとして意義深きものといはねばならぬ。

◇

一般軍縮問題には、フーヴァ米大統領の三分の一天引案がある。斯くの如き粗雜な議論が各國の受入るゝ所とならざるは勿論である。特に日本海軍の如き從來に於て既に不當の制限を附せられてゐるものにありては、斯くの如き案が採用さるゝならば、國防力は零となる。我國の反對すべきは勿論の事だ。

◇

別にドイツの軍備均等要求がある。之れは、ドイツが平和條約により軍備を著しく制限されてゐるのを不當として、此制限を撤廢して他國同樣の軍備方針を許容されねばならぬと爲すのである。日本も此點には考へねばならぬ。日本はワシントン會議で、主力艦が英米の各五に對して僅に三の比率を認められたに過ぎず、ロンドン會議に於ても、同樣な壓迫を受けてゐる。之れが果して軍備均等の精神に合致するや否やは考量を要する軍備均等は必ずしもドイツだけの問題でもないやうだ。又、フランスは常に安全保障を主張してゐるが、安全保障はフランスが之れを好む如く、ドイツも之れを好むに相違なく、此處にドイツの軍備均等要求も出て來るわけだ。我日本も固より安全保障が必要で、少くとも國防に事缺かぬだけの軍備を必要と爲す之れも亦フランスばかりの問題ではない。

◇

此處で、今度日本から提出すべしと傳へられる海軍々縮案を見るに、之れは必ずしもワシントン會議やロンドン會議には拘泥してゐない。蓋し今日の我海軍は、右二度の會議によりて不當の壓迫を受けたもので、一九三五年の會議にては當然變更を要求せねばならぬ。故にその時に更に變動なくても濟むやうに今から變更を加へておかうとするのである。それは、英米と均等であらねばならぬ、又安全が保障されねばならぬからである均等と云つても同量同質を要すといふのではない。我國情に相應して、安全の程度が英米と同樣なれば、それが卽ち均等なのである。

◇

今度の我提案は此れを主旨として立案されてゐる。我邦は敢て何國に對しても攻擊の態度を採る必要はない。全然防禦だけでよいのだ。又各國の爲めに考へても、防禦だけでよい筈である。去る七月の一般軍縮會議の決議「攻擊的武器は最少限度に削減し、少くも防禦的武器の効力を增さしむ」とあるのに則るのである。但しそれにしても我國情に適應せねばならぬ。

◇

そこで日本は潜水艦は防禦の爲めに必要なりとなし、殊に日本の如き地位にありては、防禦の爲めに絕對に之れを必要と爲す。但し攻擊用に使用し得ざる爲めに二千噸以下に制限する。英國は潜水艦全廢を主張するも英國々防の爲めにその必要なくんば之れを廢するも可なり、之れを以て日本を强ひんとするは日本の地勢を無視するものである。我案は航空母艦、航空巡洋艦の廢止を主張する。之れは攻擊用として頗る優勢なからである。之れを用ゐれば遠方までも攻擊出來るが、之れ無き時は遠方から攻擊することは不可能である此種艦船の如きは全廢を可と爲す。

◇

又主力艦の最大噸數を二萬五千噸に、備砲口徑を十六吋より十四吋に、且保有戰鬪艦總數をも縮小する。此れは云ふまでもなく、攻擊力を減少するが爲めである。但し備砲口徑を英國が十二吋を提議するならば、それに贊同する用意がある。小さい方が攻擊力を弱むる主旨に叶ふからだ。尙巡洋艦の軍艦噸數を八千噸、備砲口徑を六吋に制限す可く、驅逐艦及び敎導驅逐艦の噸數も引下げるといふ。

◇

要するに我提案は、徹頭徹尾攻擊力を弱くして、防禦には差支なからしめんとする主旨に據るものにて、極めて公平なものであるから、之れが提案を見るに及びては、必ず各國の深甚に考究する所となるに相違ない。而して主力艦の保有總數に於て英米を十五隻から十隻に、日本を九隻より八隻に定めんとするのは、現在の五五三とは異なるが、此の程度に引下げておけば何れよりも攻擊は出來ないから問題にはならぬ。只日本としては、防禦の爲めにそれだけは是非必要なりと爲す見地から出たものである。

日本訪問に依つて强い印象を受けた

大演習陪觀その他で訪日中の張總長歸來して語る

【京城特電三十日發】特別大演習陪觀を終り後日本訪問中であつた滿洲國軍政部總長上將張景惠氏は中將于琛澂氏、少將張益三氏一行十四名と共に三十日午後七時京城驛着、驛頭には梅野第二十師團長外軍部關係者及池田警務局長、總督代理安井秘書課長、松本京畿道知事、田中外事課長外官民多數の出迎へを受け直ちに軍司令部差し廻しの自動車にて備前屋旅館に投宿したが車中水原まで出迎への記者に對し顧問新井宗治氏の通譯により左の如く語る

今回特別大演習の陪觀と共に日本の各方面を見學した、何れの地方に行つて見ても自分の想像以上の施設で完備してゐたことには一驚した、實によい觀察をした、只よかつたと云ふ一口の外はない、大演習を十日から十四日まで陪觀したがその感想と云つては諸兵の一糸みだれずその統制の行き屆いたこと、軍紀の嚴肅なことについては勿論滿洲國では見られぬ、恐らく世界に誇るべきであることゝ感じた今後貴國の指導援助により滿洲國の統一を圖り又軍事改革をなしたいと思つてゐる、要するに政治の完備により自治の發達は顯著なものと見受けられた、殊に京都の古蹟、[illegible]を見たが何れも國民は皇室中心主義で舉國一致してゐることには强く感じられた、斯樣な次第でこの度の日本訪問は多大の利益を得、尤も强い印象と肝銘を受けた、大演習後東京にて首相、陸相その他要路の方々に面會したが將來の滿洲國に對し指導を願つておいた次第である、今回貴國滯在は各方面に亘つて外交辭令ではなく眞に熱誠なる歡迎を受けたことは忘れられない、自分は十年前から一度日本を訪問したく思つてゐたが今度その希望を達した譯である

一行は三十日午後八時より明月館における川島軍司令官の晚餐會に臨み一泊一日午前九時五十分朝鮮神宮

參拜　同十時十分李王家伺候、同十時三十分總督府に宇垣總督訪問、同十一時朝鮮軍司令部より第二十師團司令部、龍山衞戍病院に傷病兵を慰問し午後十二時二十五分總督官邸に於ける午餐會に出席し午後七時二十分京城驛發にて北行した

滿洲國政府 諸經費支拂

中銀小切手で

從來滿洲國における諸經費の支拂は國務院主計處において國庫收入現金を一括して保管してゐるため各部より一々主計處に所要現金を請求し各部において現金支拂をなしてゐたが不便が伴ふのでこれが改正方については豫てより研究中であつたが愈々十二月一日を以てこれが改正決定卽日施行せられることゝなつた、卽ち主計處において保管されてゐた收入現金を全部中央銀行に預金し必要に應じてこれを小切手を以て振出すことになつたゝめ各部における諸支拂の自然直接中央銀行の小切手を以て支拂ひ從來の現金取扱ひによつて生ずる煩瑣から免れ得たわけで一般商人からも非常に喜ばれてゐるが將來これが準備の完成次第全國に及ぼす方針で取敢ずこれが實施は新京中央政府のみに限られ銀行では中央銀行總行においてのみ實施されることになつた【新京電話】

大連のプロムナード（2）　河野想

マーク流行の原理

保安主任會議（第二日）

希望事項聽取後閉會

關東廳警務局保安主任會議第二日は警官練習所會議室にて午前九時より開始、協議事項から始まつて希望事項廿數件の聽取あり午後一時林局長の訓話にて閉會、午餐を共にして退散した、因に本會議に關し保安課當局は語る

協議希望兩事項總計八十數件、風紀取締、銃器火藥類取締、自動車及運轉手及密輸取締に關するもの大部分にして全般的の問題は好いとして地方的なものは其土地により保安當局に反對の希望もある、例へばカフエーの出入口及採光照明、女給のエプロン又はサービス等は大連市の如き文明都市と奧地小都市とは自ら取締規定の寬嚴同じからず又一大連にしても集團的に一區劃に在るものと市中民間の間に散在するものとは多少の差異を生ずる、保安當局としては此等各署の希望を聽取し改めて審査の上適當と認むるものは規定を改めるか新設して始めて實施されるので本會議の議案が直に具體化するものと思ふは誤りである

科學と宗敎（下）

文學博士　富士川游

露支關係の將來 意見發表出來ぬ

駐奉勞農總領事代理談

電力債のみの强制買上不可能

大藏省當局の協議

ブラジル移民に有利な一新材料

珈琲新規植付禁止

煙酒稅の檢査

大藏當局見解

外貨公債買上

買上げ說で人氣混亂

關東廳豫算 拓務省承認

全然事實無根

日下內務局長 異動說を否定

滿洲童子團歸滿

市況

株式

特產

市場電報

錢鈔

商品

奧地市況

朗らかな酉年よ

★…多事多端、物情騒然としてゐた昭和七年も漸く暮れかゝり、街行く人々の足どりも俄に早くなつて來ました、昭和七年の申年はどうも事變兇變相ついで起りましたが、來年の酉年は何うでせう鬼が笑へば勝手に笑はせておいて、暦を覗いてみませう

★…さて昭和八年はサラリーマンの當り年です、先づ日曜日は五十三回あります、一年の日曜日は大抵五十二回ですが、七年目毎に一度五十三回が廻つて來ます、これに祭日（元日が三日までは休めるとして）が十四日あるから合計六十七回であります、殘念なのは元日と日曜日とが重なつてゐることですが、日曜と祭日が續くのが五度もあります

★…第一回は二月の十一日の紀元節と十二日の日曜、四月になると二日の日曜と三日の神武天皇祭とつゞいて、二十九日の天長節と三十日の日曜、九月に入つて二十三日の秋季皇靈祭と二十四日が日曜、年の瀬に迫つては十二月廿四日の日曜と廿五日が大正天皇祭、何と朗かな、サラリーマンには惠まれた年ではありませんか

眉墨と口紅

ひき方一つ

お役目式にせずに　各自の特長を上品に出す事

脣の荒れなほし法

眉墨はひき方によつてその人を上品にもして呉れ又下品にも見せます、眉墨は質が悪いと煤煙が入つてゐて眉を擦切つてしまふ恐れがありますので求める時は上質の物を選ぶ必要がありますが、繪畫用の柔かい鉛筆を使用されるのが最も安全でせう、これですと自然で上品に出來上ります、殊に眉の濃い方が、眉の形を作るために引かれるのに好適です、眉墨は寫眞（3）のやうに眉毛の眞中から自然にひいて行きます、それから眉頭から自然にかいて行きます、眉墨は瓶の栓に使つてあるコルクをマッチで焼きますと黒くなりますから、これを眉筆でつけて行きましても自然の眉毛がひけます（東京美容院主任）

（口紅のつけ方）…を與へるために脣の内側に薄く油性クリームを塗ります、次に寫眞（1）のやうに下脣に半圓形にオレンヂ色の薄い口紅をつけます、それから寫眞（2）のやうに小指の先でこれを内側にぼかすやうに伸ばします、次に前の紅よりも少し濃い目の紅を前の方法でつけます、下脣がすみましたら小指に殘つてゐる紅を上脣に花瓣形に（内側にぼかすやうにして）塗ります そして最後にガーゼで拭きとりますと目立たず自然の色となります紅は各人の好みにもよりますが日本人にはオレンヂ色のタンジーをいふのがしつくりとよくうつります

かさ／＼に脣を荒らし、脣に血さへ滲ました御婦人を多く冬は見かけます、脣の荒れる原因は色々ありますが、中でも睡眠不足によるのが最も主なものでせう、そのほか室内乾燥やストーヴ近くに接近しすぎたりするために荒される事も珍しくありません

▼…▲

脣の荒れを治すには皮をむしりとらないこと、入浴後忘れぬ樣に油性クリームかメンソラか、グリスリンをつけます、特にひどく荒れた方は上等のピンツケをつけて寢みますと、翌朝はどんなに荒れた脣も綺麗に治ります、入浴しない場合は脣をタオルで蒸して前述のクリームを塗ります、脣の荒れてゐる場合は口紅は遠慮しないと却て見苦るしくなりますから、脣の荒れが調ひましてから脣の化粧にかゝります

▼…▲

如何に魅力をもつ眼も脣も眉墨のひき方や、口紅の色が餘りに超自然的であれば却て下品に見え、その人を實際以下に落してしまひますから、たゞお役目式に化粧せず、もつと各自の特長を上品に出したいものです

一 先づ口紅をつける前に脣に光澤

家庭顧問

十二指腸潰瘍の養生法をお教へください

【問】二年來十二指腸潰瘍にかゝり可成り衰弱してゐる者ですが理研ヴイタミンA、ポリタミン、又は肉汁ヒボサルシンロイの如き榮養劑を飲用して潰瘍部に障るやうな事はないでせうか目下時折痛みはありますが出血は全くありません、外一般の養生法御教示願へれば感謝に堪へません（旅順一愛讀者）

特に食養法に充分注意することが肝要です　土井三郎

【答】おたづねの藥や榮養劑は永續して用ひられても潰瘍には障りません、痛みのある時は絶對安靜を守り特に食養法に充分注意することが肝要です。ひどい時には流動食、次にはうす粥、並粥、細く切た消化のよい野菜類、蒸した魚肉、卵、きぬ漉しの豆腐、裏漉しの野菜類等を用ひ、全く痛みが去つて二ケ月位經つたら徐々に常食に移つて差支ありませんが總て咀嚼を充分にしなければなりません、それでも尚痛みが止まなければX光線の檢査を受けて手術の時機を失せざるやう御注意下さい出血は無いやうに見えても潜在血液の有る場合がありますから時々專門醫の檢便を受ける必要があります

『健康』といふ事…下…

關東廳旅順醫院長　渡邊信吉

先日も私は或る胸の悪い患者さんから紫外線（太陽燈）をかけていゝかと訊ねられた時に「強ひてとめもしませんが、それよりか着物をきたまゝで戸外に出て、散歩でもしながら青空の下でサンサンと降りそゝぐ自然の太陽の光を思ふまゝに浴びた方がいゝです。それも貴方の場合では二十分から三十分間位がいゝですね」と答へて何式とかいふ紫外線を用ふる事に不賛成を申しましたところ「何分にも機械まで持つて來て親切にいつて下さるのだから、斷りも出來かねます。それに副作用が絶對にないさうですから」といはれましたので私はいつもの調子で「貴方の身體はまづ貴方自身が一番大切にしなければ駄目ですよ他人は貴方程には貴方の身體の事を氣にかけませんからね。たゞの義理や附き合ひくらゐのために自分の健康を臺なしにして仕舞ふのはいゝよい馬鹿氣でゐますから、よくお考へなさい」と無遠慮にも憎まれ口をきいたものでした。所が氣の毒にも患者は翌日から血痰が出て止まないと訴へて來たのでした。

…◆…

普通の健康な人にならさうした反應を起しさうもない程度の日光浴であつても、病體にとつては其刺戟が強すぎたり、病氣のある場所に豫想外な反應が起つたりして喀血とか血尿とかいつた不愉快な出來事を結果しやすい者なのです弱い所、悪い所には得てして種々の刺戟が意外に強く働きたがるものです、副作用といふのは、施した刺戟に對して現れて來る、害になつても益にならないやうな、私達の決して求めてゐない反應をいふのです。何事につけても副作用を起させないやうにとは私達の常に勉強し、隨分苦心してゐる點なのですが、なか／＼都合よく行きかねるものです。

…◆…

總ての治療は刺戟であり、適當な良い反應がその効果なのですから、自分の願ひ求めてゐるやうな反應だけを起させるやうに、適當な刺戟を適當に選び用ひて常に誤りなきに到り得れば、それはやがて天下無雙の名醫といふべきでせう。

…◆…

私達の求めるものは力持ちでも無ければ韋駄天でもありません、私達の身體の諸々の器官が、有害な刺戟を避け、正常なものに對して適當に反應する、全體的によく調和のとれた、彈力のある健康體が卽ち私達の目標なのです。

…◆…

以上私は身體の健康とは如何なるものかを吟味してみました。然るに世間では常に不健全な思想や慣操について喧しく論議されてゐるのをきゝます。私は日頃思つてゐるのですが、醫學者は肉體の健康と病氣とを測定識別する方法を種々研究してゐますが、若しも頭腦や心に就いてもそのやうな方法があつたならば人は何んなに幸福になれることだらうかと思ふのです。人物採用、學生教育、自己修養等にどれ程役立つか解りますまい。私はその道の方がこの問題に就いて解説を與へて下さらむことを切望して筆を擱きます。

ミッタンポコシ（58）　ヨシキヨ畫

滿洲婦人歌壇

甲斐水棹

○池畔の秋

秋すでに半ば過ぎたる陽のいろに池の面寒き夕さざれ波

○

土堤の樹の枯葉落ちつく池水に映る灯赤し夕寒ざむさ

○

柳生の下草さやに照る月の光寂みて秋もふかみし

○或る人の死

燈明幽かに今はしづもる御佛も生あるうちは競ひたりけり

○

稚兒の二人殘れるうつしよを思ひ幽かに死にゆきにけむ

お醫者さんを呼ぶ時の心得

▼…成るべく主治醫をきめておくこと　慣れたお醫者さんは病人の體質、既往の病氣そして家庭の事情等もよく熟知してゐます上に信頼と共に親密さがあり病人は申すまでもなく家族の者にも何となく顔を見たゞけでも慰安を感ぜられる度が深い。

▼…きまつた醫者のない場合は少くとも今度呼ぶ醫者を主治醫にする積りで、人格者で一識見あり、學識經驗ともに深く技術勝れし仁を選ぶこと、信頼と尊敬とは絶對條件であります。

▼…專門醫たること　いくら主治醫であつても、内科の醫者に耳鼻科疾患を診察してもらつてもなか／＼治りません、主治醫はすぐに專門醫を紹介するでせうが、患家の方でいち早くその特徴を發見して專門醫を招くやうな心得があれば決して手後れの憂ひがない。

▼…往診を求むる時は病人の住所姓名、年齡、職業、病狀並に病人の自覺症の主なるものを、簡單明瞭に通じておく。

▼…始めて來てもらふ醫師の場合には、よく分りやすく家の目印した教へておくこと、これは念を入れて丁寧に話しておくに越した事はない、醫者をまごつかせることは一刻を爭ふ病人にとつても共に迷惑の事であります。

▼…醫師に話すこと、發病よりの經過、原因と認むること、今までの手あて、病人の苦痛、平素の體質既往の疾病、飲食物の具合、便通等眞實の申立をすること。

▼…診察に先だつて手洗湯を出すこと　どこの家でも診察後には手洗湯や石鹸を出すが、その前に出すのは餘り見受けぬ、醫師の手必ずしも清潔ならず、それで病人の各部に觸れられるのであるから、先づ手を清めて頂くことは忘れてはならぬ大切の事であると思ひます、診察後にはクレゾール數滴落した手洗ひ水を出せばこれに越したことはない。

▼…もし醫師に茶菓子を出さうとする時は、病室では大變に失禮であります、包菓子はもたせぬ方がよいと思ひます。

▼…容態は病人の側で聞いてはなりません、別室、又は病室外で聞き、手あても得心のゆくまで問ふとよい。

▼…さりとてぐづぐづ醫師を引とめておくのはよくない、用事がすんだら世間話なぞしむけずにさつさと歸らせなくてはなりません。

滿日各地版

滿日活版印刷所　活版　石版　諸印刷

百九十一勇士の英靈を送る日

三十日夜奉天東本願寺にて　涙とともに慰靈祭

【奉天】克山、泰安、呼海方面で名譽の戰死をした第〇〇師團の遺骨百九十一體慰靈祭は三十日午後七時半から奉天東本願寺伽藍廣間において執行された、この日各官民代表者を始め佛教婦人會、興審寺婦人團、將校婦人會、其他各婦人團體の參列者で本堂立錐の餘地なく、特に滿鐵看護婦多數參會し奉天佛教聯合會僧侶の

讀經に、各官民代表の燒香あり式を終了したが、小野寺大尉は遺骨となつて悲しく凱旋する勇士の前で語る處は百九十一體の戰友が泰安鎭包圍の際にいかに奮戰し泰安驛を守備してゐた十名の兵が五、六百餘の敵匪に包圍され十月十九日の夜から廿一日の拂曉まで一晩一日孤軍惡戰し最後まで交戰を續け、遂に四名の戰死者を出したが、四名は二十一日の午前六時敵匪の散壕鐵約三百名餘の前線に突進し巧に彼等が機先を制し退路を開いた隙に乘じて泰安城の兵營に脱出し驛の狀況を報告し殘つた三名はまた北方に向け部落に

密集してゐた五、六百餘の敵中を切拔けて兵舍に合し、漸く十月三十日に至り〇〇師團からの救援隊で生還した顚末、齋藤少佐、林少佐の戰死、川崎中隊長以下五十九名の全滅と漸く其のうちから岩上軍曹一名が生還した實狀二日二晩北滿の廣原を本隊に報告するため徒歩で本隊に報告した苦心談を手にとるが如く說明約一時間半に亘り講演あり、參會の婦人連は其の苦戰を聞かされ感激の涙を浮べぬものはなかつた

遺骨は大連へ

【奉天】チチハル東邊道方面で名譽の戰死を遂げた我勇士の遺骨は三十日午後五時奉天着の遺骨二十一體と共に百九十一體宇治町の東本願寺に安置され二十九日夜はしめやかなお通夜が行はれ三十日は午後七時から同寺に於て盛大な慰靈祭が營まれ涙復新なるものがあつたが右遺骨全部共一日午前七時十五分發列車で多數市民の見送りを受け離奉大連經由送還された

南滿工業者の懇話會復活

二十九日奉天に於て　事變後の第一回開催

【奉天】奉天を中心に沿線各會社工場等の連絡並に親睦を圖るため組織された南滿工業者懇話會は時局の關係で一時中止されてゐたが今回滿洲國の成立と共に滿洲における各種工業企業熱の旺盛となり各會社、工場共漸次振興に向ひつゝある今日同會の續會は愈々必要に迫られ毛織會社遠藤、瓦斯會社深川、電氣會社絹山、東亞煙草矢部、滿洲窯業京谷、奉天窯業佐伯の七氏は廿九日午後五時公記飯店に參集時局後の第一回懇話會を開催し今後は會員相互の連絡を圖り勞働問題、賃銀問題につき研究を重ねるため毎月八日の一回懇話會を開催する一方滿洲國側の會員を勸誘し目的に向つて邁進することゝなつた尙懇話會の事務所は從來都中文雄氏宅に置いてあつたが今後は各會社又は工場の代表者から二名の幹事を舉げ事務所もこの幹事で持ち廻ることゝなつた今回の幹事は毛織會社の遠藤、奉天窯業の佐伯の兩氏に決定した

初年兵入隊式

【鞍山】鞍山獨立守備隊に入營した初年兵に對しては四日午前十時から營庭に於て入隊式を擧行する

賴しきその雄姿　吾等の飛機

愛國滿洲號謝恩飛行

【鞍山】愛國機滿洲號の六二、六三號兩機は既報の通り三十日午前九時三十分奉天より飛來し鞍山上空に雄姿を現した、之に先き立ち上田大隊長を始め守備隊幹部、泉警察署長、小野寺地方事務所長その他各方面有志並に一般市民、小學生、中學生、普通學校生、公學校生等數千人の歡迎者はモーターサイレン下に出迎へた、定刻となるや北方の上空に小さい機影を小學生が最初に發見し日の丸の小旗を振りかざし萬歲聲裡に二機は雁行見る見る中に頭上に其勇姿を現し各種の高等飛行をなし謝恩の意を表したが素晴らしい見事なものであつた、一同は只聲をからし萬歲々々を唱へ賴もしき其勇姿と飛行振りに全く滿足なし遠く東鞍山に消え去るまで見送つた

上海は頗る不快

奉天着任の高田氏談

【奉天】上海から奉天總領事館に轉勤となつた高田書記生は三十日午後三時着はと號で着任した驛頭に出迎へた記者に語る

此方の氣候は馬鹿に暖かですれ上海と大して變りません、上海には十五年勤務してゐました、上海事變以來排日熱は一層ひどくなつたので不愉快な思ひばかりしてゐます、それに近頃は圓貨が下落したので日本人の生活は非常にみじめなものです、昔の上海にかへる日は何時のことやら全く見當がつきません、上海の日本領事館でも司法係を擔任してゐましたが北方と違ふのは不動産の登記がないだけで事務上のことは大して違つたところはありません、何分上海は國際都市だけに面倒な事件がしばしば起つて日本の法律通りでは解決出來ないことがあります、奉天の樣子はまださつぱり判りませんが上海に比べて日滿兩國人の親密な態度には心から喜んでゐます

柳河縣長の獻身的努力

【奉天】仁義の士で、滿洲國の篤美者である柳河縣長陳玉銘氏は數日間柳河縣が匪賊のため包圍され恰も海中の孤島の如き狀態に陷つたにも拘らず節を曲げず只管治安維持に努め民心の收拾に努力し縣内から只一名の不良分子も出さないやうにと獻身的努力をなして來たものであり、又日本軍滿洲國軍の匪賊討伐隊に對しては夫々便宜を與へると共に忠問の法を講じる等最善をつくし非常な好感で迎へられてゐるが一方協和會に對しても好意を持ち最近自ら陣頭に立つて縣公署内役員を政治工作隊として地方農村を行脚し民族協和と王道主義の宣化に努め更に進んで匪賊の歸順に自ら乘り出し既に歸順せしめた數だけでも數千名の多きに達してゐると

數滿高の打撃も一方ならぬものがあるが目下治安も略回復されたので今後は米價の昂騰と相當の出廻りを見るであらう

掃匪戰押收品　奉天驛に陳列

【奉天】奉天省警備司令部では奉天驛と交涉の結果、司令部が掃匪工作の際押收した大刀會の青龍刀紅槍會の槍、其他多數の舊武器、腕章、旗等があるので、これを奉天驛構内に陳列し一般に觀覽せしめることに話が纏まつたが馬匪賊移動圖をも表示する考へであると

奇特な醫師

自らの血液をこつて患者に輸血

【鞍山】鞍山滿鐵醫院婦人科醫長小野忠則氏は某所勤務要女ウメ子さんが入院加療中突然重態に陷り命旦夕に迫ると急報に接したが手の付け樣なく呆然たる有樣であつたが責任感の強い小野醫長はフト我と吾腕に吸血器を突き刺し三百瓦の血液を取り輸血なした處十人の中九人迄助からぬものが漸次回復し全く一命を取り止め快癒することが出來た、一般婦人科の患者を始め醫院内に於て職務美談として傳へられて居る

奉天學齡兒童

【奉天】奉天管内における明年度の學齡兒童は大正十五年四月一日以降昭和二年三月三十一日までの間に出生したもので奉天署に於てその人員調査中のところ五百五十九名と判明した尙明春までその人員に異動あるかも知れぬがこの數より增加する方で昨年より六十名の增加である

怪しい行李

果して開けて見たら　價格一萬圓の阿片

【奉天】二十九日午後六時二十五分着奉山線第百十二列車に柳行李四個を託して送り驛ホームに下したがその行李に怪しい點があるので所有者の來るのを待つて取調べをなさんとした處所持者側もそれと知つたものか遂に來らず之がため警官立會の上之を開いて見ると麻袋に包んであつた阿片煙土三十五包目方三十五貫二百匁價格一萬圓が飛出した、右は錦州方面から奉天に密輸を圖つたものらしく現品を沒收すると共に犯人の搜査に着手した

傷病兵を慰問

【奉天】滿洲各地における討匪で名譽の負傷をなし奉天衞戍病院に入院中の一等兵石施齊氏外十一名の戰傷者に對し帝國軍人後援會滿洲支部長が慰問することゝなり奉天署の澤田警部は支部長代理として二十九日衞戍病院を訪問し親しく傷病兵を見舞ひ夫々金一封を送つた處傷病兵一同も涙を以て感謝してゐたと

關稅改正で果樹園業者浮ぶ

州外への輸出活況

【金州】銀塊暴落、生産の激增、販路未開それに加ふるに關稅の高率に禍ひされて事實上絕無の快味と品質とを有しながら餘儀なき廉價に甘んじなければならなかつた金州杏州内の果樹園經營業者に待つこと久しく

春のやうな快報は訪れた……州内產果實就中苹果の販路は從來南洋方面に小粒ものが極めて僅かに輸出されてゐたが州内の全產額から見る時は九牛の一毛にも過ぎない狀態にあつた而も陸續きの滿洲には高率な關稅に閉されて輸出出來ず内地朝鮮方面は地元の產果で十分に充たされる爲てんで問題にならず勢ひ價格を廉くして州内に於て取引しなければならない破目に陷り從つて經營者も極度に疲弊して無產經營者は維持困難

たが滿洲行の輸出稅金は從來の三分の一の低額となつたため果樹園業者は俄に活況を見るに至り今日迄に相當の輸出數量となつてゐるが今後愈々大量の輸出が試みられるべく、これが爲め悲觀の極致にあつた州内果樹園業者も漸く活動舞臺に入ることが出來るのである

滿洲紡績定時總會

【遼陽】遼陽の滿洲紡績會社では二十九日午後三時から同社樓上に於て第十九回定期株主總會開催七年度上半期の營業、決算報告の上利益金處分案を審議決定したが株主配當金は四分五厘であるが本期の純益金は十萬二千八百十九圓八十四錢で前期繰越金二萬八千三百六十四圓四十七錢を加へ法定積立

新賓縣の產米

追々出廻らん

【撫順】當地東方約廿里新賓（興京）縣下の產米は事變前迄は例年一萬石乃至二萬石に上つてゐたが事變後は匪賊橫行のため全く出廻り杜絕し今秋も僅かに五百石の出廻りを見たに過ぎずかくては當地

部員撞球大會

【鳳凰城】鷄冠山撞球大會は二十三日より二十七日迄滿鐵社員俱樂部に於いて行はれ、部員一同妙技を發揮し、盲者、鬼殺、五連勝、本賞と順を追ふて非常な人氣と盛會裡に終了、猶本賞受賞者左の如し

一等西村君、二等鈴木君、三等中村君、四等谷口君、五等水園君、六等佐藤君

師走、商ひ戰線

一日から愈華々しく賣出を開始した奉天

【奉天】本年も愈々師走に入つた慌しい年の瀨を物語る商店街では歲末賣出しの策戰に秘策を凝らし本年も例により奉天輸入組合、商工會議所、商店協會主催の下に一日から華々しい大賣出しを開始した、本年は昨年の加盟店百四十軒に對し百五十軒を突破し又昨年の總賣上高十五萬圓に對し卅萬圓の豫想で殊に本年は建國記念として特別景品一等が二千圓といふ張りこみで素晴しい景氣を示し物品も綿布、絹布を網羅し値段も先見越しの仕入を符つてゐた關係上内地では上げても奉天では上げず出來るだけお客さんに便宜を與へ安くてよい品を提供しやうといふ意氣込みで各加盟とも大馬力である尙本年は特別景品一等二千圓一本二等三百圓一本、三等百圓一本普通景品一等百圓六本、二等三十圓十二本、三等十圓三十本以下七等まで全部洩れなく當選し景品券は五圓毎に補助券一枚が進呈されることゝなつてゐる

敦化縣城の滿洲國人職業別

一番多いのは雜貨屋

【吉林】治安恢復と人心の安定を保ちつゝある敦化縣城に於ける滿洲國人の現在職業別を調査して見ると大體次の如きものである

▲一般雜貨商六十八軒▲食料雜貨商四十七軒▲藥種商十軒▲製菓販賣商八軒▲饅頭及煎餅商十六軒▲飲食店二十三軒▲理髮業十一軒▲印刷業戶數二軒▲印鑑屋二軒▲書籍屋戶數二軒▲陶磁器屋三軒▲帽子商戶數二軒▲製靴店戶數三軒▲時計修繕商戶數三軒▲支那酒販賣店戶數一▲旅館戶數九名▲牛豚販賣店戶數十四軒▲料理屋戶數三軒▲馬車屋十五軒▲風呂屋二軒▲運送業戶數三軒▲醬燒戶數五軒▲肉類業戶數二軒▲野菜商戶數十二軒▲醬油屋戶數四軒▲染物屋二軒▲綾縫六軒▲仕立屋四軒▲古着商九軒▲煙草卸商一軒▲獸皮商十二軒▲石炭販賣商一軒▲飾商二軒▲支那得利商二軒▲鍛冶屋十二軒▲鉄力九軒▲製粉業四軒▲豆油製造業六軒▲燒酎製造二軒▲大工業四軒▲石鹸及び蠟燭製造一軒▲煉瓦製造販賣五軒▲荷車製造業二軒▲銀細工商戶數二軒

合計戶數三百六十九軒、人口男子六百九十二人、女三百三十人計二千二十三名であるが中でも一番多いのは一般雜貨商である

于氏の葬儀へ

遼陽邦人參列

【奉天】遼陽城内に住居を有する滿洲國監察院長于沖漢氏の葬儀が二日大連にて執行されるので遼陽邦人側から山崎領事、關屋地方事務所長、岡平署長代理、飯田醫院長、渡邊遼鐵社長、中村商務支配人、西軍稅主任、安達區長、成瀨滿鐵參事等が三十日及び一日それぞれ赴連した

鷄冠山入營者

本年度鷄冠山の入營者は三名でいづれも剛健なる氣性と善良なる操行の持主にて非常時局の今日これ等三名の優秀なる士の入營に對し市民一同は絕大なる敬意を表すると共に大なる期待を抱いてゐる、所屬部隊及氏名左記の如し

百九十一勇士慰靈祭　奉天で

旅順放送

▲武德會旅順支部弓道部で來る四日（日曜日）午後下田檢察官長、青木醫歡迎宴を開催する事と場所は追つて決定するで出席希望者は旅順館內安齋教師宛申込んい由

▲新市街西本願寺佛教會日から三日間光岡慈照講演「佛教根本思想たがゆく道」を左の如く第一講（業思想と因緣論）（業思想と運命論）以も一日晝夜、第三講現代倫理）第四講（業十歲）以上いづれも二日は零時半から第五講育の片影と觀經理人）後零時半からは新市街會發會式を兼ね大連西番津村雅敬師の講演が

▲朝日町二ノ一四小澤三は二十一日長男浩君出

▲赤羽町五野田清一郎氏日三男三彥君同上

▲乃木町、某製造業大阪假名＝内縁の妻東島と四）＝假名＝は滯旅中療師八木純平と諜し合と洒落た

各地片々

◇撫順　撫順は從來水田一畝人は六十錢滿人と區別されてゐを本年はその區一率に五十錢として徵收あるが、右は事每に片手過を受けてゐた鮮農に對解放で鮮滿人融和上喜ばゝされてゐる

◇奉天　奉天城内にある物館の内容を一般に廣くため奉天省教育廳では本館の沿革、各種課陳列品の陳列品種別並各陳列室の陳列品を詳細に調査說明を發行する事になつたが來月中旬になららうと

◇奉天　滿奉中であつ樞同業組合聯合會の同業販賣擴張員一行五名は十引率市内各所を視察し廿内同業者等と懇談會を開今後の方針につき打合せあつたが、一日朝北行北視察の途に就いた

會と催し

…軍民懇談遼陽準備會…二回軍民懇談會に提出す及銀貨問題の意見書の作十日午後三時から地方事務室に於て關係者會合の上歲があつた

…遼陽警察署…遼陽署では三十日午後一時備上農作物の播種其の他地方農業經營者を樓上に招する處があつた

…撫順鮮人民會評議員會…撫順朝鮮人民會は評議員會今回經費三千圓を以て新築する外在住鮮人の業として繩叺製造工業をとした

…鞍山實業協會役員會…鞍山實業協會では二日午後山實業協會事務室に於て定例役員會左記事項を審議し閉會後

一、第十六回商議聯合會に一、滿洲在住民定期懇談會議に關する件、移民問題、銀貨問題、

…遼陽小學校父兄會…遼陽小學校では三十日、午前小學校では一、二年の父兄一日年二日は五年以上の父兄二時を催したが三十日午後二時鞍山中學から各學級擔任教の上同校に於て在學生徒の懇談會が催された

北滿薄氷の濕地に重圍を突破し
五十八騎中たゞ一騎生還した岩上軍曹の血涙物語

【チヽハル】泰安鎭守備隊救援の重任を負ひ去る十月二十九日腰新屯の花と散りし川崎騎兵大尉の引率せる皇軍騎馬の精鋭五十八騎中只獨りの生存者岩上軍曹は目下チチハルに在つて依然軍務に精勵しつゝあるが、記者の往訪に對して片桐中尉、白石曹長の戰死狀況、並びに敵の重圍を破つて川崎部隊五十八騎の急を泰安鎭兵營に傳へた當時の苦心を語つた

二十八日宍戸枝隊が泰安兵營に入城したが我が川崎部隊は腰新屯に露營した、敵は十重二十重に我が部隊を包圍してゐる

その急 を泰安鎭兵營に傳ふる事を片桐中尉が中隊長に申言した、中隊長は同意して「志願者は?」と云はれた時は全員歡願したが選ばれたのは片桐中尉白石曹長と私であつた、中隊長は「頼むぞ行け」と云はれたのみであつた、而してそれは中隊長の最後の言葉であつた、我々は馬を捨て薄い夏シャツ一枚となり

軍衣袴 をつけた、便衣に着換へたらとの意見も出たが、日本軍人は軍服を着して死すのは名譽なりとの三人の考から軍衣袴をつけたのであつた、二十九日の午前八時腰新屯を勇躍南下

烏爾闊河の北岸に沿ふて東へ東へと密行した、暫く密行はしたもの丶雲霞の如き敵中だ、途中半ばに來た頃五十騎の敵に不幸にも發見された、此所で

猛烈に 防戰した片桐中尉は不幸敵彈の命中を受けた「三人一緒に死なう」と中尉に抱きついたが、中尉は我々二人をはねつけ傷の痛さを怺へつゝ「任務は重い前進せよ」あゝ悲壯我々は未だ生きて居られる中尉殿の戰傷を介抱せず後髮を引かれる思ひで東に東行した

薄氷の はつた大濕地を前進泰安に千五百米の東新屯まで來た時約百名許の敵から射撃を受けた、二人は別々となり一生懸命濕地に逃げた、敵の射撃は實に猛烈で私の處へ許り彈丸が來る、併し其時には白石曹長は名譽の戰死を遂げた、時正に午後三時頃であつた、寒氣と濕地を走るため足は既にきかなくなり幾度となく倒れた、併し倒れては又起上つて歩く、而して

又倒れ る、そんな事を繰返しつゝも二十九日夜はさうく一晩中歩きつゞけながら一夜を濕地の中で過した、老王家部落を迂廻し泰安の南郊に倒れてゐたのを副官米花大尉殿が發見、泰安兵舍に連れて行かれ、聯隊長殿に急を傳へたのは三十日の午前十時四十分であつた

第二回日滿婦人懇談會

【安東】曩に日本側婦人會主催の下に開催された第一回日滿婦人懇親會は非常な盛況で且つ滿洲側婦人に對して深き好印象を與へたるが今度は滿洲側婦人團が主催して來る十一日午後二時より滿鐵クラブに於て第二回日滿婦人懇談會を開催する由會費は多數の出席を勸める爲め金三十錢とし服裝は成るべく質素に婦人團員外の婦人出席も歡迎すると

の順序により次の如き演題の下に有益な幾多の例をあげて平易に說明し熱心なる聽衆に多大の感動を與へた、午後八時半閉會

一、兵制と兵器の進步 服部少佐
一、兵制發布六十周年に臨みて 板津中佐

輕油動車 一臺增發

【鐵嶺】從來南行第三三八輕油動車は午前十時半鐵嶺驛着午後一時發であつたが最近奉天鐵嶺間の旅客激增に鑑みて發着時刻を變更し午前十時半着同三十五分發とし其代り午後零時着午後一時奉天行の輕油動車一臺を增發するに決し十二月一日から實施された

木谷、石原兩選手招聘
朝鮮體協から

【安東】朝鮮體育協會では冬季スポーツの王座を占めるスケーチングの全朝鮮スケート講習會を一月廿日より一週間に亘り京城漢江の鐵盤上で開催する事に決定、安東の生んだ世界的選手木谷、石原兩君を講師とし招聘すべく二十九日朝鮮體協スケート部理事の來安となり滿鐵側と交涉するところあつたが實現されるものと見られてゐる

商務會懇親宴

【鳳凰城】鳳城縣商務會では二十八日午後一時から城內輔雲樓に當地在住日滿文武官民四十餘名を招待して懇親の宴を張つた

遼陽縣下治安確立
各匪賊を全部掃蕩 政治工作の成績揚る

【鞍山】遼陽縣長の指揮する縣警察隊、長濱、山岸兩隊長の指揮になる步隊二百名、騎馬隊百名合計三百名の縣警察隊は去る十七日縣下に蟠居する匪賊掃蕩並に治安維持政治工作に出動したので鞍山守備隊小林山砲隊は之を援護しつゝ同時に出動したことは

屢報 の通りであるが一隊は先月大安平にてわが騎兵隊大行李を襲擊した匪首馮顯義、蔣若德、譚鳳山等一味三百名を殆ど全滅せしめ第四區第五區の隆昌明及吉洞峪に王座を占むる鎮天一味を掃蕩し政治工作を行ひ全く遼陽縣下の治安が平靜に復し二十九日は鞍山南方二里の鷄王屯に宿營し三十日午前七時同地を出發して二週間目に午前九時三十分無事鞍山に凱旋した、遼陽縣長の率ゆる縣警察隊も來鞍し守備隊練兵場に於て上田大隊長の閱兵分列式が行はれ縣警察隊も大いに面目を施した、今回の討伐に於て匪首蔣若德並に其子と四海の三頭目が射殺され頭目馮顯義、譚鳳山、李文玉の三名は

民家 に隱れて居る所を捜し出され遂に捕虜とされ鞍山に護送された、上田大隊長は今回の討伐に就て將兵一同に對し表彰の辭を與へ山野寺事務所長は市民を代表して慰勞の挨拶を述べた、楊遼陽縣長は小林山砲隊の援護に就いてから心からの謝辭を述べ八卦溝立山を經て遼陽に向つた

滿洲國新編成の騎兵警備隊
地方治安維持のため

【新京】滿洲國政府に於ては地方治安維持の爲め現在の兵力にては尙不足を感じつゝあつたが暫編騎兵警備隊に於て二千五百名の募兵をなし之を以て第三枝隊を編成し地方の治安維持に當らしめる事になつた右の暫編騎兵警備隊は軍政部直轄にして第一枝隊は東邊、第二枝隊は錦州で新編成の第三枝隊は懷德縣梨樹縣に配置の豫定であると、なほ募集は十二月五日より懷德縣梨樹縣遼源縣通遼縣方面に於て約二週間に一千名前後二回に亘つて一千五百名で本年中に終了の見込で方法は大體左の如く行はる

一、二十歲より四十歲未滿の男子にして身體強健且つ身許確實なる者にして保證人を有する事、但し歸順馬賊は絕對に之を採用せず
二、給與左の如し
上等兵 二十三圓
一等兵 二十一圓
二等兵 二十圓

なほ之が募集終了後直に適當の訓練を行ひ豫定地に配置する方針であるが司令官は多分索漢臣氏が就任すると見られてゐる

安東守備隊入營兵來安

【安東】松本聯隊區より安東守備隊への入營兵四十六名は二日午後四時三十五分着列車で來安することゝなつた

兵制六十年記念講演會

【安東】兵制六十周年記念講演會は廿八日午後六時半から安東公會堂に於て催されたが、定刻前より聽衆は續々と詰めかけ立錐の餘地なき盛況を極め服部少佐(安中配屬將校)板津中佐(第四大隊長)

サラリーマン大いに喜べ!
來年は休日天國

【安東】明けては暮れる歲月の早さ、愈々悲喜交々のボーナス月に入り一九三三年の新春も眼前に迫つて來たが何んと來年の暦のサラリーマンに惠まれてゐることか!元日の日曜を除けば一年十二祭日が全部日曜日とダブつてゐないのだからサラリーマンよ、大いに喜べである、春先から花見その他の行樂に先づ〳〵不足はない、休日天國ともいふべき二日つゞきの休みとなる祭日のみを拾つてみると

▲紀元節(二月十一日)土曜日、神武天皇祭(四月三日)月曜日、天長節(四月廿九日)土曜日、秋季皇靈祭(九月廿三日)土曜日、大正天皇祭(十二月廿五日)土曜日

と云ふ具合である

蟷螂の斧を研ぐ匪魁鄧鐵梅
尖山窰に大規模の兵器廠設置

【安東】安奉沿線に於ける匪首鄧鐵梅は遊擊部下の高雅峰を東北民衆自衛軍改編委員長に任命し鳳城縣第七區に派遣同地一帶に蟠居する大小匪賊團に對し「國を愛せよ」との標語を振りかざし自己の勢力下に改編したが其數千餘名に上りそれ〴〵衣服、銃器を送つて內容充實に努めつゝある一方、尖山窰には大規模の兵器廠を設け十三年式長銃並に彈丸を多數製造し又た鄉團使用の故障銃の改造にも着手中であるが手榴彈等も製造中で侮りがたく、その他被服類は黃土坎に被服廠を設置して大々的に作製中であると

十二勇士の遺骨通過

【四平街】北滿に於ける叛軍討伐の際名譽の戰死を遂げた騎兵第〇〇隊の勇士十二名の遺骨は二十九日午後五時二十分、輸送指揮官秋[illegible]

幽囚四十餘日 死線を脫して(中)
チチハル 下枝少佐談

市中の 空氣やら風評やらが色々に變る、と又其日は縣長から招待狀が來た、昨日は旅長今日は縣長、宴會が多過ぎるなとは思つたが、定刻の午後三時に行く事にして其日の午前中に省政府に對し「金を渡さぬと出々しき問題が起る」といふ意味の事を打電したが其電報が途中で切られてしまつた、此處に至つて我輩は「遂に來るべき時は來た」と何事も

覺悟を 決めた、縣長から我々に對して平和の日滿提携會が開かれた他の半面には、旅は部下の聯隊長等を集めて最後の態度を極める爲めの最高軍事會議を開いて居たのであつた、無論此事は其時は解らなかつた、後になつて解つた事ではあつたが、兎に角其日の宴會はそんな事であつたから、表面には何事も起らずに無事に濟んだけれども、空氣の裏面には色々な事が伏在して居るから、我輩の

第六感 には大概の事が諒解された、それで我輩は「事に依つたら今晚あたり兵變が起きるかも知れぬ」と思つて午前の二時頃迄起きて居たが、其夜は何事もなく無事に明けた、が翌十二日の朝八時頃になつて便衣を着た支那人が十四五人突然我輩の部屋の中に飛込んで來た、そして飛び込むと同時にイキナリ拳銃を

亂射し た、相手が打放したので我輩も「どうせ死ぬなら一人でも二人でも打殺してやれ」と思つて拳銃をさぐつてゐる內に左右から飛込んで來た二人の支那人が、兩方から我輩の腕を握つて放さない「ナニクソ」と渾身の力を兩腕に入れて振り放さうと思ふ內に、何か紙切れに書いたものを目の前に突付けた、讀んで見ると「時局急變の爲め已むを得ず一時貴下を

捕縛し て司令部に連行する、けれども貴下を害する爲めではない、凡ては濮旅長の命令である」と云ふ意味の事が書かれてあり、且つ彼奴等が最初飛込んで來るなり拳銃を打放したのも我輩を殺す目的ではなく、只最初の威嚇をする爲めであつた事が解つたので「此際何も慌てる事はない、死ぬのは何時でも死ねるのだ」と默つて別に抵抗もしなかつた、其間に彼奴等は我輩の軍服から金や目星い品物を奪つて

掠奪し た、併し幸か不幸か機密書類は十一日の午前中に全部燒却してしまつたので、大切なものは何一つと彼奴等の手には渡らなかつた、それから司令部迄行く途中、衛隊で我輩を兩手も兩足も全部動く事の出來ぬ樣に縛つて置いて毆る、蹴る、罵る等々の虐待を受けた、而して其上なほ亂暴を働かんとしたが、連長が之を制止したので止めた、司令部に護送され

訓練班 に監禁される身となつて仕舞つた、丁度其日から司令部には靑天白日旗が樹てられた、樣がとう〳〵錦文に降參した

保安主任更迭

【[illegible]】[illegible]

夫婦斬らる
撫順の刄傷

【撫順】撫順炭礦第二發電所事務方當時官內接壤地大官屯部落居住徐秀實(三)並に同人妻看氏(二〇)の兩名は二十九日午後八時頃同家に侵入した賊のため全身數ヶ所に刄傷を負ひ前者はその場に卽死し看氏も頭部其他に重傷を受け瀕死の狀態である急報に依り撫順署及滿洲國側警察署より係官急行檢死を遂げたが、看氏は元兇は痴情關係の兇行らしいと

國輸が吉海線に營業所を新設
特產出廻りに刺戟され

【吉林】國際運輸吉林支店では從來營業所を蛟河、敦化の二ケ所に設けて活動を續けてゐたが、最近各地の治安も恢復し吉海線方面の特產物が動き初めたので同附近にも營業所設置の必要を感じ種々考究中の處、愈々準備も出來たので十二月一日より盤石に營業所を設置事務を開始する事となつた、此れに依り從來振はなかつた同方面特產物の動きは相當の活氣を見せるものと前途期待されてゐる

警察官舍竣工

【鳳凰城】雞冠山は警官の增加以來極度に官舍の不足を告げて居たが、八月中旬より守備隊長官舍の

鐵嶺片々

▲八面城公安隊孫景顏は昨年九月二十四日匪賊襲來突戰の際負傷して最近全快したるも不具癈疾となり勞動も出來ず家庭は貧困の極にあるので商務會發起の下に慰藉金を募集したので在住邦人一同もこれに同情して應分の義捐をなした

▲縣下大靑堆子居住の鄭某は去る十九日我が步兵〇〇〇聯隊の衛馬車夫として從軍し遼河渡船場にて過つて河中に陷落溺死したが軍部では其遺族を憐れみ金二百圓の慰藉金を與へた

▲亂石山郊外沙坨子の鮮農は刈入れも終つたので脫穀に着手したが今年の收穫が豫想外に多く豫定の五日までに全部の脫穀出來ず而も未だ搬出せざる籾もあり脫穀完了までには尙十數日を要する見込で何れも豫想外の增收に喜んで居る

▲奉天晴安遊擊第一大隊は建國の宣傳と示威行軍の爲め去る二十日奉天を出發满鐵線に沿ひて北進し二十六日亂石山附近の湯牛堡子沙坨子孫家樹を經て新縣子に引き返して一泊二十七日朝貨物列車で新縣子驛から歸奉した

▲補中島衛平氏は廿八日附を以て新京警察署附を命ぜられ不日赴任の筈なるが後任は新京署より豐增彥吉氏が來任すると

滿鐵からの寄附一萬圓を繞つて
早くも悶着起る

【鐵嶺】鐵嶺機關區の縮小に因り鐵嶺の打擊甚大からざるに同情し滿鐵から鐵嶺振興會に金一萬圓の寄附がありこれが處分案に就て振興會で協議の結果全鐵嶺の有利な使途を見出すまで年利六分で銀行に定期預金とするに意見の一致を見たるは既報の如くなるが最近に至り市中の一部に右全額は在鐵市民中滿鐵社員、官公吏を除く約二百戶の定住者に公平分配を希望すとの聲が擡頭し早くも一萬圓を繞つて贊否兩論に分れてゐるが目下のところ定期預金を可とする說多きも時節柄その成行は注目されるであらう

本中尉以下十數名の戰友に護られ當地山岸地方事務所長を首め山添市民協會長、飯島警察署長、佐藤在鄉軍人分會長、保科憲兵隊代表、田中驛長、四洮局代表梨樹縣公所代表、四平街聯合佛敎、明照各婦人會代表等々各團體代表並に市內一般有志者を網羅する數百名の出迎へ裡に當驛着、憲兵隊員の手に抱かれて驛長室に奉安され、佛敎團有志の讀經並に參列者の燒香を受け、同夜出席有志の人々に依り嚴かなる通夜が催され三十日午後零時四十五分發列車にて新京より南下した十四體と共に多數見送り裡に奉天に向つた

僞造紙幣に御用心

【吉林】滿洲國中央銀行では古來有する幾種かの紙幣を統一して穩々の弊害を一掃するため滿洲國紙幣として新國幣を發行し此の程吉林方面にも多數入つて來たが、新紙幣に對する一般市民が未だ判別知識薄き處より是を幸ひに最近僞造紙幣の出現が多く、大膽にも白晝堂々と行使して居る模樣であり目下關係當局ではこれが犯人嚴查中であるが、此の僞造紙幣は一元五元、十元の三種で「天津」の二字を旨く變造し中央銀行の字を入れたもので、今日までに至る使用額は多額に上りその僞造は相當大仕掛けのものらしい

北側空地へ起工し十一月愈々竣工を見モダンな二棟の官舍は當地に一段の色彩を加へた

湯崗子溫泉會社の改革

【鞍山】湯崗子溫泉會社は重役會議の決議により經營方針を今後は民衆娛樂場化せしめ開放主義を執ることに決定し豫算約八千圓を投じ今年中に淸林館を改造し室代、入浴代はもとより食事の値段をグツト引き下げ他の館同樣小室を濤山造り萬事に改造を加へると云ふから鞍山、大石橋方面はもとより全滿の入湯客に喜ばれるとであらう

不治の病がグングン治る

これ以上よい治療なし

イー治療機

野一色電氣治療普及機

日英米獨墨國專賣特許

病體を徹底的に改造根治する世界的療法

寫眞　右及び左上は局部療法の例、右下左下は一般療法の自己施行（實際は布團の中で行ふ）、記事は各地愛用家から寄せられた感狀の一部

イー治療機は大正七年發明以來二十數次の改良と百數十萬の臨牀的實驗を經て現在斯界の最高權威として有名な野一色電氣治療機の改良普及型で昭和五年の發賣に係り、從來の諸治療法の凡ゆる缺點と不備とを除去し改良した現代醫療界の一大革命機であります。即ちその製作には内外三十五件に及ぶ專賣特許と實用新案が適用せられ、電流發生裝置に於て又人體通電裝置に於て全く一新機軸を出してゐます。

本機は病體に作用して忽ち諸種の機能に努力を與へ人體本具の療能力を極度に發揮して疾病治療に著しい効果をあげ得る驚異的名機でありまして、呼吸器循環器神經系消化器運動器耳鼻咽喉泌尿生殖器皮膚病婦人科疾患等多數の疾病に對し常に最大の價値がありますので東西の貴顯名士醫學者の方々は悉く本治療を賞讃されてゐます。

本機の世に出るやその使用法の簡易なると價格の廉、効果の適確迅速なる故を以て弘く江湖の御歡迎に逢ひ、今や三十萬に垂んとする愛用者は日本内地はもとより、遠く歐洲北米南洋等全世界到るところに於て健康の幸福を喜びつゝあります。

「萬病特效機」と云はれてゐるほど、イー治療機の適應症は多數ありますが、こゝには掲げません（乞說明書御參照）

カリエスと小兒麻痺

拜啓　貴會益々御清榮賀奉候陳者毎度御發行ノ貴重ナル參考書ヲ御惠送ト被下難有御禮申上候　當方病人ハ肋骨カリエスニ有之一昨年市大ニ於テ手術ヲ受ケ候處昨年一月カリエスノ再發ト肋膜炎ヲ併發シ十一月迄再三再四ノ手術ヲ受ケタルモ經過捗々シカラズ遂ニ醫療ニ見切ヲ付ケ斷然イーヲ使用致候處使用當日ヨリ極端ナル不眠症ト數週間ニ亘ル頑固ナル便祕ハ夢ノ如ク全治シカリエス及ビ肋膜炎ノ方モ臨牀實驗例ニアル通リノ經過ヲ經テ本年一月末ニハ全ク健康體ト異ル處ナク働キ候ヘガ此ノ異狀ナク、先ニ手術シタル病院長ハ現在手術ノ經過良好ナルヲ驚キ居候尚小生紹介ノ當社鈴木氏ノ小兒麻痺モ經過良好ノ由ニテ安心致居候右御禮申上候（東京丸ノ内　中林）

結核性關節炎

前文御免下さいませ、私は左足結核性關節炎の爲に歩行困難で昭和六年の春にイー治療機を購入してから一心に朝夕一般二回局部三回の治療を致しましてお蔭様で一年餘り歩けなかつた足がダン／＼良くなりまして七ケ月後の本年正月に久しぶりに歩行出來るやうになりました。始めて歩行出來た時は言葉や筆では到底云ひあらはせぬ欣びを感じました。御近所の人々も三年もかゝらねば歩行は出來ない樣に云つて居られましたのに一年もかゝらずに歩けましたことはイー治療機を知らせて下さいました神樣のおかげと思つてひたすら感謝しております。（大阪市四區　岡田秀子）

惱みぬいた淋病

前略　小生事十年前淋病に罹り一時略快して男兒二名を得候ふも健全に成長して居りますが、昨年春に到り突然再發し、醫師賣藥と種々盡しましたが朝になるといつも少量の膿が出まして、交○すれば妻に感染し非常に困つて居りました處友人よりイー治療機の話を聞き同時に機械も貸していただきまして早速治療を開始し、特に背部と下腹部○毛の上端とに熱湯の治療毎日二回乃至三回宛熱心に續けました。その結果四十五日目の今日では全く排膿を見ず、感染の憂も霧消いたしまして本當に助かることができました。（大阪市港區　○　弘）

頑固な神經痛が

拜啓　時下炎暑の砌り貴社御一同樣には益々御清榮の御事と御喜び申上ます。毎度有益なる「電氣治療」誌御惠送下さいまして有難く感謝致して居ります。扨て私事今春一月下旬御機を送つて戴いてより仰の通り朝夕二回宛約二週間前後は毎夕一回宛熱心に治療を勵み甲斐があらわれ頑固な神經痛もイー機の絶大な威力に驚退せられ約一ケ月餘りにして全快致し三月の上旬には田畑に出て活動出來る樣になりました。永い間の不健康の生活を精算して尊い健康を獲得出來た今の私の欣びは偏へにイー機にあると感謝せざる日はありません。時たま急激の活動をしたゝめ手足に痛な感じた事がありましたがそれとても二回か三回の治療にて快癒してしまひました。

醫者の遠い當地にてはイー機はそれは／＼どんなに重寶のものであるか知れません、隣家の人の肩こり或は足の疲勞などを治療して上げましたが皆二三回の治療で全快して仕舞ひました。あまりにも効果の早いのは全くあつけない樣な感じが致します。いづれくわしい治療を一括して御報告申上樣と存じて居ります。先づは右御禮まで敬具（北海道栗山市街　近藤武雄）

肋膜炎と肺侵潤

拜啓　益々御隆昌奉賀候　扨て小生儀去年十二月十日前後に當地野一色電氣醫學協會員たる長澤牛作先生より一臺イー治療機を御取次願ひ爾後再々御指導を願ひ約一ケ年間の病たる肋膜炎及肺侵潤を全快致しこゝに再び社會に出づるを得たることは偏へに野一色電氣の御蔭と感謝罷在候（西宮市宮下）

自分で自分の病氣の治療ができる

イー治療機の一般療法と云ふのは腹部と背部の數ケ所とに電極を當てゝ爽快な熱と電流を體内に通す方法で、この他には大體惡い場所に直接電極を當てる局部療法を行ふだけでありますから、手を動かせる方なら自分で寢ながら充分の治療ができます。尚機械には委しい「使ひ方」が附いてゐます。

劃期的便法を公開

治療機が御自分の病氣に實際に効くかどうかをお試しになるために「一週間實驗試用法」なる便法を採用してゐます。詳細は說明書を御覽下さい。

奏効神の如し

拜啓　早速イー治療機御送り被下難有御禮申上候直ちに試用仕候處神の如き効果にたゞ／＼驚き入り候[illegible]症の小生の胃潰瘍も試用二三日にて効果充分現れ、強度の神經衰弱、胃腸炎にも筆紙に盡されぬ効果有之候、貴會の誠意ある電氣治療機及び質疑應答には厚く御禮申上候（新潟縣　藤澤安太）

心臟病の經過好良

拜啓　貴商會益々御發展之段奉大賀候。陳ば種々御教示を受け心臟病六十七歲になる老人治療中の處益々經過宜しく相成此頃は早や全快同樣に相成これもイー治療機の御蔭と厚く御禮申上候。（新潟縣　青山吉太郎）

胃腸病と乳不足

謹啓　陳者貴商會益々御發展の趣大賀至極に存候、其後小生事イー治療機を以て種々なる難病患者を多數救ひ申居候。小生自身の胃腸病は全治致し又乳不足の婦人も三四人完全に乳の出るやうに致し申候（山形縣　大木秀雄）

不眠症と胃腸病

拜啓　貴會愈々御清榮の段奉賀候陳者貴會御發賣のイー治療機、使用後既に一ケ月を經過致候處其後日を經るに從ひ、不眠症も追々輕快に相向ひ當初一週間後に於ては睡眠の度も増加仕り、一方胃腸の具合も大分良好と相成候久々にて身體の樣子も漸次好調を呈し今日に至りては殆んど平常と變りなき程度と相成喜悅し罷在候、尚引續き毎夜就眠前二、四十分宛使用施療致居候間永續使用に連れ更に一層の好結果を得可く確信致居候（名古屋　塚本順造）

醫師とは仲惡く

拜啓　貴商會益々御隆昌奉賀候陳者我家庭にては家内一同に毎日治療致居候爲め一人も病人無之、今迄は愚妻肺炎、神經痛其他種々の病氣にて甚だ困り醫師に日參致居候ひしも、治療開始後一ケ年半の今日、醫師とは仲惡く疎遠に相成候得共身體は至つて壮健、元氣充分に有之、附近の人も驚き入られ候從つて近所の人は何病によらず醫師に行かず、我家に來り治療を請ふもの多數有之候、又私の勸めにてイー治療機を求められし方二名有之候（福井縣　橋本）

不感症と子宮病

拜啓　貴會益々御清榮の段大賀至極に奉存候扨て小生儀昨年春以來毎日イー治療機を種々應用致し其偉効に喜び居候殊に愚妻の不感症並びに色々の子宮病等に對する著効には誠に驚嘆罷在候先は不取敢右御禮迄申述候草々（金澤　林）

中風の足が動く

拜啓　過日御送附に預りましたイー治療機使用して見ましたら著々其の効現はれ非常に嬉しく感謝致して居ります。半身不隨の部最早左足に知覺を生じ少し動かし得るやうになりました。卒倒してより三年有餘の中風症に初めて見るこの良經過、なんとも御禮の言葉とてありません、この上共愛用する心掛です（山形縣　高橋三次）

電氣、熱、濕布を綜合した醫療界の革命機

電氣は危險なもの、電氣治療はピリ／＼チク／＼針を刺すやうに痛いもの等と云つたのはもう十年も前のことです。妊婦や老人に電氣をかけてはいけない、有熱疾患や高血壓患者に電氣治療は禁忌だ等々の學說は既に過去の遺物となりました。

「兎に角電氣を使ふのだからどの電療機でも効果は大同小異だらう」等とお考へになる方があるとしたら、それは大變な誤りです。

同じ電氣にも電車を動かすものもあれば夜を照す電燈もあり千里を隔てゝ音を傳へるラヂオもあります。と同樣に醫療方面に用ひられる電氣の種類は色々あつて夫々違つた作用を持ち異る効果をあげてゐるのですが、人々に「電氣あんま」等と輕蔑されながら主として坊間に流布されてゐるのは、ガルヴアニー、フアラデー兩氏によつて今を去る數百年前に考案された平流・感電兩治療機であります。

イー治療機はこれら從來の機械と全くその特性を異にし、纖維の波型を持つ優秀な一大誘導電流が、内部に熱湯（稀に冷水）を滿して底面に濕布の作用を兼ねさせた特殊電極に流れ、これが極めて簡單且つ合理的な野一色電氣治療術式によつて最も有効に人體に導かれるやう工夫されてゐますので、從來この種のものに絶對見られなかつた非常な快感と驚異的卓効とが得られるのであります。

尚イー治療機の電源は一、五ボルトの乾電池ですから晝間電燈線のない地方でも隨時使用することができ、又どんなに使用法を誤つても絶對に危險がありません。

イー治療機大說明書（文獻）無代進呈

四六版三百五十頁の大冊子、世界電氣醫學の沿革から野一色電氣治療並びにイー治療機の詳細、及び五年十年悲惨な病牀生活に泣き迷つた揚句本機によつて遂に甦した涙ぐましい體驗記や、年中一人や二人の病人が絶えず「病魔の巣窟」の如き觀を呈してゐた一家が後は一服の藥も用ひず醫師とは全く縁切れになつたと云ふ喜びの電話等が滿載されてゐます。現代の電氣醫學はどの程度まで進歩してゐるか、十五年の歴史を持つ野一色電氣治療は、内外二十五の特許機によつて製られるイー治療機は、一體如何なるものであるか、すべてはこの一書に詳說されてゐます。御希望者は發賣元宛御申込下さい。

定價三十円　送料（内地七十錢　領土一円）

發賣元　東京市麹町區三番町　野一色電氣研究所構内　イー商會　電話九段(33)三二〇九番　振替東京六九六七四番

叛軍の挑戰的態度に 最後手段に出づ
火蓋を切つたわが軍

【チチハル三十日發】松木部隊の先鋒枝隊は三十日拂曉から俄然行動を開始し傲慢無禮の蘇炳文に膺懲の一擊を加へて居るが一方滿洲里、ハイラルに監禁されて居る山崎領事外殘留民、滿洲國要人等の運命は非常に憂慮されて居る、而して我が軍がこの最後手段に出でたのは蘇炳文が依然誠意を示さずその先鋒部隊張殿九軍が飽く迄挑戰的態度に出たので勢ひの赴く所遂に火蓋を切つたのである

支那に武器の 賣込爭奪戰
列國が盛んに活躍

先日武器賣り込みのため入滿した米國商人の談によれば上海事件以後列國の支那軍隊に對する武器賣り込みによる勢力の扶植運動は目覺しいものがある、現に米國は飛行機と飛行將校を供給し支那の空軍を占領せんとし佛國側は最近主として步兵用の新兵器賣り込みに成功せんとし、ドイツはまた各國ドイツ教官を利用して各種の兵器殊に大砲の賣り込みをなしつゝあり、この各國の武器賣り込みにより支那軍の兵器は愈々統制なきものになる恐れて反對する眞面目な支那軍の將校もあるが、新兵器不足の支那の現狀では結局外國より供給を受くるの外なしとあつてこゝに列國の武器賣込み爭奪戰が演ぜられんとしつゝある【新京電話】

匪賊掃滅に 自衛團
間島で組織

【間島一日發】匪賊を掃滅すべき手段として間島の住民が一致して先般自衛團を組織したが既に各村落のもの合はせて三千餘團體人員一千數百に達し團員は滿洲人及び朝鮮人合體となつて各團體に連絡をとり掃匪成績に非常に良好でこの結果で進めば近く間島方面の匪賊は根絕せられるであらうと期待されてゐる

東邊道兵匪 討伐の成績

先般日滿聯合軍によつて大々的に實行された東邊道一帶の討伐は大掃匪の後殘留部隊で敗匪の掃蕩を行ひつゝあるが既に大體完成を見た、この大討伐によつてわが軍が武裝解除又は歸順せしめた匪賊數並びに鹵獲品の今まで調査完成を見たものゝ數は左の如し

◆武裝解除及び歸順匪賊二三六二七名◆鹵獲品小銃五四一〇挺◆馬四三九頭◆槍一〇七六二本◆彈丸二二二七二發【新京電話】

荒神丸救助 行惱む

十一月十八日旅順から營口に航行中の荒神丸が遼河一帶の頭目李入と渤海沿岸の海賊の頭目雌山のために抑留され遼河を溯航すること七八里の地點に連れ行かれそれより現在は某縣村落に匪賊のため監禁されてゐるが當地部隊でも彼等を救出するに努めてゐるが討伐に向ふと遠く轉々とするので匪賊の要求を容れゝば釋放するといふので隊から關東州水產組合に對し交涉せるも一回の返答なき無誠意に軍も憤慨してゐる、監禁されてゐるは荒木船長と船員內地人一名鮮人一名で最初七名中滿洲國人一名は滿洲軍に內船客一名は正義團が救出したのであるが殘りの三名は永い間の監禁に憔悴し見るかげもないといはれ荒神丸は目下葫蘆島に運ばれたまゝである【奉天電話】

入營兵の出發

關東軍倉庫で來滿第一夜を明した獨立守備隊入營兵中の最後の班たる第三班四百餘名は盛んな歡迎裡に午後十時大連驛發鷄冠山、連山關、安東、本溪湖、四平街、開原、鐵嶺各衛戍地に向つた

大連驛に着いた勇士の遺骨

冬がれの故國へ 白骨となりて還る
二百二十三勇士の遺骨着連
けふを名殘の慰靈祭

戰死を遂げた林歸人、齋藤誠隆少佐以下二百二十三勇士の遺骨は悼ましくも一日午後四時四十五分大連驛着列車にて輸送指揮官小野寺實步兵大尉以下戰友三十餘名に護られて靜かに到着した

この日事變以來始めての多數の遺骨を迎へる大連驛では陸軍兵站支部を始め各方面と打ち合せ準備を整へ、英靈を迎へんとするものまた日頃にも增して市長代理岡野助役、永井民政署長、森本法院長、石井大連署長以下各署長、草間灘候所長、滿鐵山西、竹中兩理事、岩井少將、大內市會議長以下各市議その他在連名士多數を始め全市中等學校、各種團體、一般官民無慮數千は驛頭を埋めて

手向の

香煙は縷々として立ち昇り數十の弔旗は師走の風に淋しく搖れ、漸く降る氣溫の冷寒も忘れて靈柩車の到着を待つことしばし、定刻午後四時四十五分北滿の曠野に永眠する吾等が勇士二百二十三體の遺骨はその英靈と共に濕やかに到着し指揮官小野寺大尉の悲痛なる挨拶あり暮れ方の陽も早沈み在鄉軍人百五十餘名の援助を得て遺骨を捧持し約三十分を要して漸く七十餘臺の自動車に移されたがこの間絕えず日蓮宗を始め大連フレッシユマンバンドの奏する哀悼曲に一入追悼の念を想起せしめた、やがて河本兵站支部長の先導にて七十餘臺の自動車を列ねて天神町

常安寺

に向ひ同寺に安置されたが二日午前八時半より埠頭待合所において慰靈祭を執行の上うらる丸にて故國へ悲壯なる凱旋の豫定である

樽の秘密を發く 探り針の觸覺
苹果と見せたは多量の生阿片
稅關檢査所の大手柄

一日午前十一時頃市內入船町埠頭稅關檢査所において最近珍しく大量な生阿片が巧妙な手段でリンゴの樽の中に隱匿され密輸されんとしたが未然に稅關吏の發見するところとなつた

リンゴ樽は合計十八樽いづれも二重底としてその中に布包みにして分割の上匿されてゐたもので同稅關檢査所の幸田義氏の探り針によつて發見されたもので幸田氏は檢査中樽の內部に深淺があるのでテツキリ怪しいとにらみ取敢へず開蓋したところ鮮かなリンゴの中からドス黑い阿片が轉がり出たものだ

その數量は二百六十六キロ、價格にして十萬圓餘、同所としては最近の大手柄といはれ矢田外務部長はじめこの獲物に雀躍してゐる、偖該リンゴ樽の荷出人等の詳細は不明だがこれが市內小崗子協盛德の出荷らしくこれが中間に當つた運送店は市內監部通り三十番地丸盛公司で荷受先は新京經由ハルビン行であると、同檢査所ではこの多量の阿片發見と共に直に本部に通知し丸盛公司が一應引取つたリンゴ樽を嚴重保管し警察當局の搜査に備へるべく同公司に命じ一應所轄警察に屆出るところあつた【寫眞は阿片の轉げ出たリンゴ樽】

稅關請願巡査

大連稅關では漸く關稅事務の繁雜を來し多忙を極めてゐるが時節柄警戒の意味で埠頭ビル二階稅關事務所に隣接して一日より請願巡査を置く事となり水上署松田巡査が任務についた

ラグビー展覽會
本社講堂にて

滿洲ラグビー協會主催のラグビー十周年記念祭展覽會は愈々三、四兩日午前九時より午後五時まで本社三階講堂に於て開催するが同展覽會は滿洲に於て最初の催し物だけに運動關係者より非常な期待を以て迎へられて居る、即ち協會加盟の各チーム、ユニフオーム及び滿洲ラグビー史料寫眞並に全國中等學校ラグビー大會の優勝校京城師範學校より出品の優勝旗その他、州內外對抗優勝杯、全國中等學校ラグビー大會滿洲代表旗等あり、スポーツファンの見逃し難い展覽會である、尚協會では四日午前十一時より大連運動場に全滿運動關係者を招じ十周年記念祭を施行す

關東軍天津駐屯軍に 畏し眞綿を御下賜
皇后、皇太后兩陛下

【東京一日發】皇后、皇太后兩陛下には關東軍、天津駐屯軍、外務、拓務兩省關係警察官の勞苦を思召され御慰問のため一日保溫用の眞綿御下賜の御沙汰あり岡田海相、林陸軍整備局長、有田外務次官、河田拓務次官は午前十一時宮內省に出頭一木宮相を經て拜受した

第一回日滿交驩 籠球試合に期待
滿洲國軍はけふ着連

第一回日滿交驩籠球試合に出場する滿洲國代表籠球チーム一行は二日午前七時着列車で來連、來る三四日兩日大連第二中學校體育館に於て全大連及び黑猫俱樂部と對戰するこの第一回日滿交驩籠球戰技大會は各種の意味に於て多大の期待を以て迎へられてゐる。

◇……◇

滿洲國が本年三月建國以後直に運動競技界の統制機關として滿洲國體育協會を組織し、建國劈頭さにも不拘建國記念全國運動會を各地に催して花々しいスタートを切り、九月には新京に全國球技大會を催して之又種々たる成績を擧げた。

◇……◇

今回わが滿洲國體育協會が大連に派遣する滿洲國代表チームは右全國球技大會に於て各種競技に優勝した新京代表として優勝した新京第二國民學校のチームであり名實共に新滿洲國第一年度に於ける籠球選手權保持者である。

◇……◇

殊に元大連基督教青年會體育主事黑田晉八氏が滿洲國體育協會新京特別市部主事として今秋以來親しくこのチームの指導をなし、その意氣に於ても技術に於ても新興滿洲國代表としての貫祿を充分に備へてゐるので今回の競技は正に本年度シーズンを飾る最も興味あるビッグ・イヴントである。

◇……◇

先年當地に迎へた天津南開大學や、北平師範大學チームには及ばないが、往年の奉天東北大學、馮庸大學を凌ぐ力量を有してゐると云ふことである。そして又大兵濃Rの選手を揃へてゐるといふから身長に於て多分のハンデイキヤツプがつけられてゐる、日本側チームは此點に於て相當の苦戰は免れ得まいと見られてゐる。

◇……◇

これに對する日本側代表チームは大連籠球聯盟の推薦による大連各チーム（學生を除く）よりの選拔軍であり、その大部分は一昨年及昨年、東北大學、馮庸大學との日滿對抗戰並に北平師範大學との對戰の際結成された全大連學生選拔軍のメンバーで學窓を出てから練習の時間には惠まれないが、その技術は更に圓熟の度を增してゐる。Fに後藤、森田以下富田、今村、朝佐美、奧田、山田の猛將を擁し、Cに河井、須古の超級選手を控へRには山中、水上、于洪、龍山河內、安藤、岩瀬と正に多士濟々である。

◇……◇

去る廿日以來大連二中の體育館に於て奧田主將以下十五名の選手が連夜猛練習を續けつゝあるが、そのコンジイシヨンも上々でありその選手相互の氣分もしつくり合つて此種選拔チームには珍しい程のチームワークも整つて來てゐるから定めし當日は血を湧かすに足る熱戰が展開されることであらう。

◇……◇

この機會をして此競技を通して日滿兩國の青年が心からなる交驩親善をなすと同時に、籠球競技と云ふものが如何に近代人の感覺に適合した競技であり青年の競技として如何に上々のものであるかを、大連の人士に紹介するの機會たらしめるであらう

滿鐵社員演說會
一日夜の協和會館

滿鐵青年社員演說會は一日午後六時より協和會館において開催、郡社員會幹事長の挨拶についで太田藤三郎（鐵道工場）秋満彰夫（總務部）西岡淳（埠頭）飯田誠一（技術局）松尾四郎（松山地方事務所）の五氏が交々起つて滿蒙維新に對する滿鐵青年社員の覺悟につき熱辯を揮ひ、終つて松山忠二郎、員薄護吾の兩審査員の批評演說あり八時四十分散會した、滿鐵社員會最初の試みであつたが聽衆は七分の入りで、熱心な拍手と彌次が飛び近頃珍しい演說會であつた【寫眞は演說會場】

于冲漢氏葬儀に 外相の弔辭朗讀
全權部代表林出書記官

十二月二日大連黑石礁に於て執行される前滿洲國監察院長于冲漢氏の葬儀に駐滿全權部を代表して列席する林出書記官は一日午後四時三十分當地發大連に赴いたが同氏は內田外務大臣の弔辭を携行同式場に於いて之を朗讀する筈である尚日本政府より于冲漢氏に贈る勳一等旭日大綬章は二十八日飛行便にて新京宛發送されたので右が林出書記官の出發までに當地に到着すれば同氏が之を携行靈前に備へる筈である

于氏邸を弔問

二日黑石礁于冲漢氏自宅に於いて執行せられる前滿洲國監察院長故于冲漢氏の告別式に列席するため同國監察院長代理品川主計氏並びに同監察官飯澤氏は一日午前八時大連着列車で來連直に黑石礁于氏邸を訪問した

丁鑑修氏來る

滿洲國交通總長丁鑑修氏は二日に行はれる故于冲漢氏の葬儀に滿洲國政府代表として列席すべく同じく執政代表王大中氏と共に秘書二名を帶同、一日夜「はと」にて來連、星ケ浦ヤマトホテルに投宿した

爆彈事件の 共犯逮捕

【上海一日發】上海日本總領事館警察は本年四月廿九日天長節當日の新公園爆彈事件の有力なる共犯者○○○及び同人の腹心○○○（二）が佛租界某所に立廻つたとの情報を得て三十日午後八時遂に十一名の警官を派し折柄居合せた○○、○○○の兩名を逮捕し次いで午後九時○○なる某所より引致したが佛警察との諒解がなかつたため警官が○○を護送し自動車に搭乘せしめんとした際佛租界巡捕に妨げられ山崎外一名の巡査は佛租界警察に連行されたが我警察は目下其引渡しを要求中で本日中には身柄を引取る筈、尚○○、○○は共に朝鮮○○派の幹部であり爆彈事件の有力幹部として暗躍し爆彈事件の有力共犯たる外或種の不逞策動にも携はつてゐたものである

人生に疲れて
青年泣き込む

一日午後水上署に人生に疲れ果てた風體の青年が長い嘆願書を懷にして內地まで送還してくれと哀願して來て同情されてゐた、同人は原籍長崎縣南高來郡西田靜夫（二〇）で高小學校まで卒業したが十年程前愛妻が不義を働いたのにカッとして前科を働き三年を長崎刑務所に淋しく暮らしその後渡鮮清津、安東各地を廻り去る十一月二十七日來連したもので懷中にはわづかな金子より無いらしく同署としても同情はするが何とも致し方がなく途方に暮れてゐる

安樂椅子

本社の第二回全滿健康週間は大成功を收めて終了したが、その總決算が本社事業部の手で行はれた、右によつて旅大兩市の成績を見ると……。

◇……◇

健康週間に參加した旅大の醫院並びに關東廳臨時醫院、大連醫院、赤十字病院、聖愛醫院等をも加へて百三十七醫院で、この健康週間一週間に扱つた診斷者數は一萬五千三百十八名、旅大兩市の人口を合計すると十一萬九千九百六十四人であるから、約一割三分が受診したことになる。

◇……◇

假に、これを金錢に換算して見ると、大連醫院その他官公設病院の診斷料は五十錢で、市中普通醫院では一圓となつてゐるがこれを平均して七十五錢として一萬五千三百十八人の診斷料金は一千百四十八圓八十五錢となる。

◇……◇

無料投藥の成績は、大連實業藥劑師會、關東州藥劑師會の加入店二十八藥局が參加したが、投藥數合計三千四百四十九日分でつまり九ケ年と百六十四日分の藥を投じてゐる、この價は一日分平均三十錢と見て一千三十四圓七十錢。

◇……◇

偶然にも醫師方面の犧牲金額と藥局とが殆ど同額となつてゐるが、この多額の犧牲に對し、健康週間主催者側はあらためて感謝の意を表するものである。

海と空と (41)

高杉晋一郎作
橋本清史畫

手紙（一三）

「先日は……」
と瑞枝はしとやかに腰を屈めて
「どちらへ?」
襄は返事をしなかつた。瑞枝は視線を暢へ向けたが、暢が影山と何か話してゐるのを見るとちよいと襄の袖を引つ張つて並樹の陰へ引寄せた。
「昨日はどうしまして?」
「何です」
「あら、手紙で御約束したでせう公園で……」
「あゝあの手紙なら見ないで燒きました」
「まあさう、丁度よかつたわ」
瑞枝はさりげなく顏で表情を揉んだが言葉には澱みがなかつた。
「あたしも昨日は都合が惡くつて行けませんでしたの。さうして手紙に馬鹿々々しいこと書いてあつたんで燒いて下さればいゝと思つてたんですわ、よかつた」
さう云つて瑞枝は眼を細めて白々しく笑つた。丁度谷の家の方へ行く電車がそこへ來るのが見えた。襄は瑞枝を置き放しについと自動車の間を拔けてフォームへ渡つた。暢がぐずぐず影山や瑞枝とまだ話を交してゐるのを見て、襄は獨りで先に電車へ乘り込んで了つた。電車は動いた。
襄は極度に顏をしかめて車體に搖られてゐた。不快が頭中をかけ廻つて車内の一人一人までが下劣な存在に見えた。瑞枝にしても影山にしても、兄にしても、何と云ふくだらぬ馬鹿げた存在だ、と思つた。特にあとへ殘つた兄に對しては焦々するやうな侮蔑の氣持が起つて來た。戀愛が一層あの兄をぐずにするのだらうと思つた。戀愛とは……と考へやうとしたのだが考へるのも馬鹿らしく、勿體ないやうな氣がした。輕蔑が先に走つて考へる氣持になれなかつた。そのくせふとボールの顏が何故か同時に浮上つてゐたのだが彼は自分では氣附かないでゐるのだつた。
電車を降りた襄は獨りで簡素な市營住宅の屋並の間を歩きながらかうした質素な家に住む人々は不徹底ながらでもまだ自分よりは虚僞のない生活をして行けるかと思つてみた。然しそれも直には肯けなかつた。谷と逢つて話したい問題がそれをきつかけに一時に湧くやうに出て來るだけだつた。谷の家の前に立つて、玄關の扉を開けると、二間しかない家内の障子が取はずしてあるので、四疊半を通して六疊にねころんでゐる谷の姿がすぐ見通せた。
「やあ」
ねころんだまま谷は云つた。
「ゐらつしやいまし」
次いで馳けて來た正子が暢の脇に手をついて挨拶をした。襄はまだ不機嫌な表情を顏から消し得ないでゐたが、谷の顏を見ると彼の思惑を乘り越えて浮んで了ふ或物があつた。
「やあ」
と彼も云つた。
一寸不審さうに彼の後を見てゐた正子は期待拔けのした聲で訊ねた。
「あの、お兄さまは」
「後から來るでせう。僕だけ先になつたんで」
「なんだ一緒に來ないのか。困つた奴だな」
と谷は起きあがつて、襄の前に莫蓙のやうな坐蒲團を出しながら云つた。
「だが來るのは來るんだな?」
「うむ、途中までは一緒だつたんだが」
襄は又不快な顏をしてそれ以上は云はなかつた。六疊の眞ん中に据えてある飯臺にはもう用意の整つた料理の皿やコップなどが、上から被せた新聞紙の隙間を通して見えてゐた。何かしらその、新聞紙が被せてあると云ふ事が、襄には微笑ましかつた。
「よく來たな」
「よくでもないさ」
不愛想に低音を吐いたが顏は微笑で珍しく嬉々してゐた。
正子は冷し珈琲のコップを持つて來たり團扇を差出したりした。

第十三回 滿日特選碁戰

四段 向井一男氏
三段 加藤三七一氏

—【3】—

●四一カの十二　○四二カの十一
●四三カの十三　○四四タの十五
●四五タの九　○四六ワの十一
●四七チの十三　○四八タの十六
●四九レの七　○五〇レの六
●五一タの七　○五二カの六
●五三ヨの七　○五四ヨの六
●五五ワの八　○五六ルの十一
●五七ヌの十三　○五八ルの八
●五九への十七　○六〇ロの四

對局者の感想

白曰く　五十は五十一より打つのでした黒に五十五と打たれて大分黒に立直られたと思ひます
黒曰く　五十九は(ぬの五)の邊に備へて置くのでしよう

新刊紹介

▲第十三回帝展集　本集の内容は日本畫、洋畫、彫塑、美術工藝の各部に亘り會員、審査員、無鑑査、特選は勿論代表的作品は總て網羅せられ且つ其の優秀なる印刷技術はよく各作品の色調感覺を遺憾なく表現してゐる、更に色刷の多數なる事收錄點數の豐富なる點は觀賞資料としても又記念畫帖としても最適のもので帝展畫帖中の白眉として敢て一本を御薦めする。（菊倍大册橫綴、四色大判二葉、原色版二十二點、寫眞版四百餘點、定價一圓、發行所東京芸艸堂巧藝社）

▲ベースボール（十二月號）本號は特輯號としてリーグ戰の寫眞を增大し、グラビヤ版を特別附錄とし、卷頭の藤田法政監督や、新田氏の「投手論」を初め河合氏の「早慶戰豫想」、「早慶座談會」は先づ「早稻田を語る」座談會を慶大腰本監督牧野主將、井川、川瀨、小川、岸本君等の早稻田をどう見るかについて語り、次いで「慶應を語る」座談會をこれまた大下早大監督初め佐伯主將、伊達、三原、福田夫馬君等の慶應觀がある、その他鈴木惣太郎氏、廣瀬謙三氏の好文章等、その他壯絶極りなきウインター・スポーツ「ラグビー」を取入れ「野球とラグビー號」を特輯としてゐる（定價四十錢、發行所東京市麴町區丸ノ内時事新報ビルベースボール社）

▲奉天商工月報（第三二六號）滿洲事變後に於ける奉天經濟界、奉天に於ける紙製品、火災保險手數料、舊軍閥奸商取締、支那品密輸增加、奉天の今後は何うなるか、滿洲市場紹介展覽會の成功、滿洲人側電燈敷採掘請願者增加、農產物運輸保護、奉天重要商品市況、奉天に於けるアルミニウム製品（定價五十錢、發行所奉天商工會議所）

▲陸上競技（十一月號）大島吉岡兩オリムピック選手、中西石津兩孃の貴重なる手記、南部望月、藤田諸選手に關する眞面目な記事はジャーナリズムの興味中心的報導に慊らぬ純粹のアスリート諸氏にとつて讀みごたへのあるものばかりである（定價二十五錢、發行者東京市神田區南神保町一六番地一成社）

▲朝鮮（十一月號）朝鮮に於ける棉花栽培の現在及び將來、永外交を朝鮮から觀る、朝鮮儒學の郷土的省察、高麗初期の圖讖及び神秘思想（完）民心作興運動に關する施設、金融組合と農村指導、家畜傳染病豫防令施行に就て穀物檢査の國營實施に就て、農山漁村の振興に就て（定價三十錢、發行所朝鮮總督府）

▲滿鮮（十一月號）定價五十錢、發行所大連市須磨町六番地滿鮮社

滿日俳壇 募集規定

次回課題「枯野」「炭」「水鳥」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切十二月十二日▲大字にて楷書の事▲雅號氏名及び封筒には「滿日俳句」と明記のこと▲送り先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

けふの放送

大連 JQAK　十二月二日

▲午後六時三十分　ニュース（皇軍慰問神明高女の夕）
▲挨拶　神明高等女學校村井榮藏
▲理科對話「輝く滿蒙」神明高等女學校三年生
▲談話「日滿關係の重要點」同五年生
▲國語對話「大和錦」同一、三、四、五年生
▲童話「桃太郎」同三年生
▲狂言「附子」同三年生
▲歌劇「孟姜女」同三、四年生
▲職業紹介事項
▲ニュース
▲氣象通報

東京 JOAK

二日午後六時三十分
▲講演「最近の滿洲國を視察して」陸軍參與官石井三郎
▲運動競技（七時）日本拳闘倶樂部主催拳闘試合狀況（日比谷公會堂より）
▲忠臣藏花曆（八時）（第二）淸元道行旅路花聟（落人）淨るり淸元正太夫、同壽美太夫、同初榮太夫、三味線菊輔、上調子榮治

札蘭屯　甘南　碾子山　齊々哈爾　昂昂溪　虎爾虎拉

愈よ叛軍膺懲

興安嶺東方の敵を一齊に總攻撃

我軍遂に武力行動

東支西部沿線に於ける呼倫貝爾事件の發生以來日滿兩國では反滿軍蘇炳文及び張殿九に對し理を盡して極力和平解決に專念しつゝあつたが頑迷なる彼等は張學良の差金と日滿兩國軍は全滿的に匪賊討伐のため東奔西走し到底その主力を興安嶺以西に向けることは不可能でありとし遂に和平交渉に應ぜざるのみか之を一蹴するの態度に出で曩に伊藤豐少尉、犬養軍曹搭乘の我が○○機を七家樹附近で猛烈に攻撃し又西部沿線各地に於ては在滿邦人を慘殺或は日滿官憲を非戰鬪員にあらずとして監禁するなど無禮極まる行爲は枚擧に遑なき程で我軍は止むを得ず武力を以て徹底的に之が膺懲を爲すべく先づ興安嶺東方地區の賊軍に對し三十日早朝より一齊に總攻撃を開始した【新京電話】

わが軍札蘭屯を占據

甘南城を經て自動車隊前進

三十日午前四時興安嶺東北地區に向へる我が部隊は高波部隊にしてこれより先き關東軍○○自動車隊は全力を擧げて甘南城に前進し二十九日甘南に到着直に札蘭屯に向つた【新京電話】

服部部隊、高波部隊の先發自動車隊は三十日午後三時札蘭屯を占據敵は不意を衝かれ全く狼狽した、この爲敵の前線碾子山方面の敵軍は退路を遮斷された【新京電話】（地圖は總攻撃を開始した興安嶺東方）

敵第一線背後を斷つ

氷原の山岳地帶に進撃開始

我が自動車隊と茂木部隊は富拉爾基より行動開始し七棵樹を經て成義十驛に進出し敵の第一線碾子山の背後を斷ち作戰することゝなり富拉爾基の平賀部隊は三十日未明より行動を開始したが敵は既に退却してゐる李家子陣地を占領して直に朱家岡に攻撃を開始した、一方鐵道線南方地區の敵陣地を掃蕩の歩兵騎兵の一部及び一千の蒙古兵騎合軍が氷原の山岳地帶を利用して壯快なる戰鬪を開始して猛烈に邀撃中である【新京電話】

蘇軍將兵戰意なし

給料不渡で食料粗惡

【チチハル一日發】蘇炳文軍から一逃亡してチチハルに到着した某幹部の談によれば「蘇炳文軍隊の給與は極度に惡く全員とも八月に一回俸給を受けたのみで其後今日まで一厘の支給もなく先般將士連名を以て俸給を要求したところ將校に十元、兵卒に三元を支給した、食料に至つては毎日一人宛粗惡なるパン二斤となつてゐるが實際は一斤位でそれに加へてこの寒さに防寒服の支給なく兵卒は百姓の毛皮を強奪してやつと生きてゐる有樣で全員全く意氣そゝう」日本軍と一戰などは到底思ひもよらないと

白系露人赴奉

漂泊の白系漁夫ウイノグラード・イワンイワノウイツチ(四八)以下五名は一夜を鮮海丸に明したが同船は直に出帆するので又も哀れな彼等は困却のドン底に陷つてしまつたが、水上署高等係員や白人救濟に當つてゐる市内駿河町ルツゲレフマシマ氏等の手によつて旅費を得て一日夜十時の列車で奉天に向ふ事となつた

五十三キロ噸電氣モーター

獨逸から着荷

去る昭和五年の八月昭和製鋼所に使用する電氣モーター一個重量五十三キロ噸を北ロイドドイツ汽船のマイン號で大連迄はこび、揚荷せんとした際同船デレッキが折れモーターが墜落し當時三十萬圓の損害と云はれた椿事があつたが、その後直に同樣のモーターを注文中のところ同じく北ロイドドイツ汽船トラーベイ號で二日大連に運搬される事となつた、トラーベイ號は六番バースに繫留の豫定で今回も同船デレッキで揚荷をなすと

我等の滿洲號新京へ歸還

けさ周水子を離陸

感謝飛行のため三十日周水子に飛來せる我等の滿洲號愛國第六十二第六十三號兩機は旅大兩市の訪問飛行を終へ周水子陸軍格納庫にその機翼を休めたが一日午前八時早くも飛行場に引出され地上勤務司令光成航空大尉指揮の下にエンジンの整備を行ひやがて午前九時皆元中尉、荒蒔少尉の兩勇士は前日同樣飛行服に身をかため頗る元氣にて飛行場に現はれ愛機を自ら點檢の上光成司令及び加藤航空官等に挨拶をなし同午前九時十五分皆元中尉は第六十二號機、荒蒔少尉は第六十三號機にそれ〴〵搭乘擧手の禮を最後に兩機は相前後して爆音一際高くスタートを切り午前九時二十分鮮かに離陸し折柄快晴の大空に向つて飛翔、悠々飛行場上空を旋回して光成司令加藤航空官、中山航空會支所長、河本飛行場長始め航空關係者等に見送られつゝ機首を東北の空に向け大和尙山の峰をかすめて一路新京への歸還飛行の途についた、なほ兩機は途中熊岳城營口兩市上空にて旋回飛行の上正午すぎ新京着の豫定である

海底電線調査

遞信省所有海底電線敷設船沖繩丸は一日午前入港第三埠頭二十九番バースに繫留したが近海の敷設電信調査のための來連だと

驛頭に勇士を送る

獨立守備隊の入營兵北上

三十日宇品丸にて着連せる獨立守備隊入營兵一千餘名は關東倉庫に一泊したが、一日午前七時第一班を先發とし午前十時半第二班は何れも陸軍關係者は勿論官民代表を始め一般市民多數の見送り裡に勇ましくも華々しく入營の喜びを抱きつゝ大連驛を出發したが第三班も午後十時大連驛發衞戍地に向ふ筈である【寫眞は大連驛頭の盛んな見送り】

銃器の販賣勝手次第法の疑義を暴露

購入者のみを罰する

ギャング横行時代にあつて銃砲火藥類の取締は内務省を初め關東廳管下に於ても嚴重を極め一挺のピストルといへどおろそかにせぬ愼重な態度を以て臨まれてゐる矢先、關東廳管下の銃砲火藥販賣業が許可證なき者例へばギャング團に何百、何千の銃器を販賣するも之を罰すべき法律が存在せずその行爲は罪を構成しないといふ重大視すべき新判例が大連地方法院小田判官によつて下され法律の一大疑義を暴露した

販賣營業者の密賣所罰する條文なし

山田銃砲店無罪判決

卽ちさきに白晝銀行廻りの店員を襲ひ大金を奪つた伊藤一味のギャング團にピストルを密賣したことから驚くべき多數の銃器類が支那人の手に密賣されてゐることが發覺、時局柄非國民的行爲として峻烈な檢擧の手を伸ばされた市内紀伊町六四番地山田銃砲店こと石動朝秀(三九)にかゝる銃器大密賣事件は當時報道せる如く大連檢察局高井檢察官は銃器密賣の行爲と銃砲火藥取締規則第三十五條の違反、銃器受拂を帳簿に記入しなかつた點を同規則第二十一條の違反として起訴公判に附したが、去る二十九日公判に於て大連地方法院小田裁判長は「檢察官の起訴事實中同規則第三十五條の條文

銃砲火藥類は許可證を所持せざる者に讓受又は讓渡を爲すことを得ず、但し銃砲火藥類**販賣營業者は其の營業に關し讓受又は讓渡を爲す場合はこの限りにあらず**

を以て被告石動の所謂密賣行爲を罰せよと要求してゐるも、同條文では之を罰することが出來ない、との理由を以て石動の銃器百餘挺の密賣事件は無罪の判決か言渡され、販賣銃砲の受拂ひを帳簿に記入しなかつた點で同規則第廿一條に觸れ罰金三十圓の判決が下されたものである、卽ち此新判例によれば銃砲火藥店は許可書を所持しない者にもドシ〳〵ピストル、長銃の銃器を販賣しても罪を構成せず只許可書なく購入した者のみ罰せられるといふ結果となり右判決はギャング横行時代に際し大センセイションを捲き起してゐる

法院の解釋は字句に拘泥

山田銃砲店の密賣は高井檢察官から控訴

銃砲火藥取締規則第三十五條の條文が果して大連地方法院小田裁判長の解釋の如く銃砲火藥店が何人に銃器を販賣してもこれを罰する力がないかどうかといふ問題は法曹界に投げられた新宿題として議論の中心となつてゐるが、石動事件を起訴した大連地方法院檢察局高井檢察官は、法院の解釋の如くではます〳〵社會惡を增長さすものであるとなし下田檢察官長とも協議の結果石動事件に關し檢事控訴をなすに決定した、右に就き高井檢察官は語る

法院の解釋は立法の趣旨を沒却したものである、規則第三十五條の「但し銃砲火藥類販賣業者は其の營業に關し」とあるが「營業に關し」とは正當な業務行商を意味するもので許可書も所持せず身許不明な者に銃器を賣つても宜しいと命令してゐるものではない、法律の條文解釋は餘り字句にとらはれ過ぎると實に恐ろしい結果を招來する、殊に今度の問題の如きは分理解釋によつて立法の精神を汲み廣義に解釋すべきで、自分は第三十五條の條文を以つて立派に密賣行爲を取締ることが出來ると固く信じてゐるので石動事件は斷然控訴する考へである

ベンゾイリンの場合と同樣無罪

裁判長の判決理由

一方山田銃砲店の所謂銃器密賣事件に關し無罪の判決を言渡した地方法院小田裁判長は語る

規則第三十五條は明かに當業者販賣する場合はこの限りにあらずと責任を問ふてゐないではないか、ベンゾイリン事件と同樣いかに社會惡と思へる行爲でも之を罰すべき法律がないのに例へ社會惡と思へる行爲でも之を罰することが出來ぬのは法治國の建前である、檢察官は「營業に關し」の字句を生かすべく強調してゐる石動事件の起訴狀には、被告の犯罪事實を二十四個條擧げた末尾に「右は山田銃砲店の業務となしてゐたものである」と書いてある檢察官が營業に關しの字句を正當な業務行爲が含まれてゐるといふなれば何故に起訴狀の末尾に石動の不正行爲を業務と見做したかこの點頗る矛盾である、自分は現在のところ所謂當業者の密賣行爲を罰すべき法律が關東州内にはないと信じ石動事件に無罪の判決を言渡した、勿論規則第三十五條はこれを罰する力がないと信ずる

失業者救濟の對策を協議

州内の社會事業團體が集り關東廳會議室で開催

關東廳内務局では事變後母國からの渡來者激增現在の失業者のみにても二千二百餘名を算し尚增加の模樣あり此際之が對策樹立の必要を痛感せる結果、先づこれ等社會事業關係機關の連絡統制を圖るべく一日午前十時より關東廳會議室に於て第一次の州内社會事業十三團體の協議會を開催した、出席者は

（關東廳側）日下内務局長、安永地方、水谷文書、田鍋學務の各課長、加藤技師、鹽谷理事官（旅順民政署）篠田屬（大連民政署）金井地方課長（旅順市）陸山助役（大連市）長濱社會課長（滿鐵）粟屋地方課長（關東廳方面委員）福田、千葉兩委員（滿洲社會事業協會）松澤主事（日本赤十字社滿洲委員部）田代主事（鎌倉保育園旅順支部）佐竹理事（大連聖愛醫院）木下事務員（智光院無料宿泊所）粟木書記（宏濟善堂）張總理（大連勞働保護會）柳田理事（大連力行會）永井會長（救世軍育兒婦人ホーム）酒井監理（大慈園）新田園長（滿洲託兒所）小林主事（聖德會）萬井理事等五十餘名で開會と同時に日下内務局長より挨拶を爲し佐竹鎌倉保育園理事より始め各代表の事業報告と希望事項聽取、中食後午後一時再開、經營と連絡事項に關し監督官廳としての注意あり午後四時散會した、なほ本協議會は今回を第一回として每年開催の筈だと

二百廿四體の悲壯な凱旋

いよ〳〵明日に迫り各關係者が集り協議

愈々二日出帆うらる丸で北滿各地で戰死した勇士の遺骨故齋藤誠少佐以下二百二十四體（六體未着）が懷しい故山に變つた姿で凱旋するが、何分今回の遺骨は二百體以上と云ふ曾てない悲壯な内地凱旋であるだけに祭禮の設備その他についても各方面打合せの必要があるので一日午前うらる丸浦橋事務長、大阪商船支店並びに陸軍運輸部員の間に細い協議をとげる處があつた、卽ち當日は出帆に先だち午前八時半より待合所で市主催のもとに慰靈祭を行ひ從來午前九時半よりの乘船を午前九時とし混雜を防ぐことゝなつた、なほ市民一般は擧つてこれら英靈を見送つて頂きたいと

民政署長の官舍に坐り込む

卅日午前十一時半ごろ市内松山町九番地永井民政署長官舍に一名の怪漢が訪れて「俺は今ルンペンで困つてゐるから飯を喰はせて呉れ若し飯が無ければパンでも買つて來て呉れ」と家人が拒絶するのもかまはず坐り込んでしまつたので急報によつて驅つけた小崗子署員が本署に連行したがこの男は大阪市生れ住所不定夏目滿康(三七)といひ餘罪ある見込で留置取調べ中

滿博ポスター

大連市催滿洲博覽會では宣傳用ポスターの懸賞募集中であつたがいよ〳〵三十日を以て締切り同日附の郵便局受付けスタンプあるものは全部受け付ける事となつた

一日午前中までの應募點數は百七十點であるが遠く内地の京都大阪および中國筋、四國、九州方面からの應募もあり、全部で二百點位に達すべく近く審査會を開き愼重審査する

樂屋荒し御用

卅日午後二時ごろ市内平和街七三番地先を新聞紙包を持つて徘徊してゐる擧動不審の二人連れの日本人を小崗子署員が取調べるとこの男は元西廣場高等演藝館樂士であつた池田武夫(三九)同河合一雄(三〇)と言ひ帝國館の音樂室より三味線を竊取した外保健浴場脫衣場にて財布及びクローム腕時計を盜むなど餘罪十數件ある竊盜犯人と判明引續き取調べ中

天氣予報　二日

北西の風（晴）

各地氣温　一日午前十一時

大連	九	奉天	零下一
旅順	九	新京	零下一〇
營口	六		

けふの小洋相場（正午）　金百圓は一二三圓五五錢

朗らかな酉年よ

★…多事多端、物情騷然としてゐた昭和七年も漸く暮れかゝり、街行く人々の足どりも俄に早くなつて來ました、昭和七年の申年はどうも事變突變相ついで起りましたが、來年の酉年は何うでせう鬼が笑へば勝手に笑はせておいて、暦を覗いてみませう

★…さて昭和八年はサラリーマンの當り年です、先づ日曜日は五十三回あります、一年の日曜日は大抵五十二回ですが、七年目毎に一度五十三回が廻つて來ます、これに祭日（元旦が三日までは休めるとして）が十四日あるから合計六十七回であります、殘念なのは元日と日曜日とが重なつてゐることですが、日曜と祭日が續くのが五度もあります

★…第一回は二月の十一日の紀元節と十二日の日曜、四月になると二日の日曜と三日の神武天皇祭とつゞいて、二十九日の天長節と三十日の日曜、九月に入つて二十三日の秋季皇靈祭と二十四日が日曜、年の瀬に迫つては十二月廿四日の日曜と廿五日が大正天皇祭、何と朗かな、サラリーマンには惠まれた年ではありませんか

眉墨と口紅

ひき方一つ

お役目式にせずに

各自の特長を上品に出す事

唇の荒れなほし法

Ⅰ　Ⅱ　Ⅲ

先づ口紅をつける前に唇に滋養を與へるために唇の内側に薄く油性クリームを塗ります、次に寫眞（1）のやうに下唇に半圓形にオレンヂ色の薄い口紅をつけます、それから寫眞（2）のやうに小指の先でこれを内側にぼかすやうに伸ばします、次に前の紅よりも少し濃い目の紅を前の方法でつけます、下唇がすみましたら小指に殘つてゐる紅を上唇に花瓣形に（内側にぼかすやうにして）塗ります そして最後にガーゼで拭きとりますと目立たず自然の色となります 紅は各人の好みにもよりますが日本人にはオレンヂ色のタンジーといふのがしつくりとよくうつります

眉墨の引き方

眉墨はひき方によつてその人を上品にも又下品にも見せます、眉墨は質が惡いと煤墨が入つてゐて眉を擦切つてしまふ恐れがありますので求める時は上質の物を選ぶ必要がありますが、繪畫用の柔かい鉛筆を使用されるのが最も安全でせう、これですと自然で上品に出來上ります、殊に眉の濃い方が、眉の形を作るために引かれるのに好適です、眉墨は寫眞（3）のやうに眉毛の眞中から自然にひいて行きます、それから眉頭から自然にかいて行きます、眉墨は瓶の栓に使つてあるコルクをマッチで燒きますと黑くなりますから、これを眉筆でつけて行きましても自然の眉毛がひけます（東京美容院主任）

かさ〳〵に唇を荒らし、唇に血を滲ました御婦人を多く冬は見かけます、唇の荒れる原因は色々ありますが、中でも睡眠不足によるのが最も主なものでせう、そのほか室內乾燥やストーヴ近くに接近しすぎたりするために荒される事も珍しくありません

▼……▲

唇の荒れを治すには皮をむりやりに剝がないこと、入浴後忘れぬ樣に油性クリームかメンソラか、グリスリンをつけます、特にひどく荒れた方は上等のピンツケをつけて寢みますと、翌朝はどんなに荒れた唇も綺麗に治ります、入浴しない場合は唇をタオルで蒸して前述のクリームを塗ります、唇の荒れてゐる場合は口紅は遠慮しないと却て見苦るしくなりますから、唇の荒れが調ひましてから唇の化粧にかゝります

▼……▲

如何に魅力をもつ眼も唇も眉墨のひき方や、口紅の色が餘りに超自然的であれば却て下品に見え、その人を實際以下に落してしまひますから、たゞお役目式に化粧せず、もつと各自の特長を上品に出したいものです

家庭顧問

十二指腸潰瘍の養生法をお敎へください

【問】二年來十二指腸潰瘍にかゝり可成り衰弱してゐる者ですが理研ヴイタミンA、ポリタミン、又は肉汁ヒポサルシンロイの如き榮養劑を飲用して潰瘍部に障るやうな事はないでせうか目下時折痛みはありますが出血は全くありません、外一般の養生法御敎示願へれば感謝に堪へません（旅順一愛讀者）

特に食養法に充分注意することが肝要です

土井三郎

【答】おたづねの藥や榮養劑は永續して用ひられても潰瘍には障りません、痛みのある時は絕對安靜を守り特に食養法に充分注意することが肝要です。ひどい時には流動食、次にはうす粥、並粥、細く切た消化のよい野菜類、蒸した魚肉、卵、きぬ漉しの豆腐、裏漉しの野菜類等を用ひ、全く痛みが去つて二ケ月位經つたら徐々に常食に移つて差支ありませんが總て咀嚼を充分にしなければなりません、それでも尙痛みが止まなければX光線の檢査を受けて手術の時機を失せざるやう御注意下さい 出血は無いやうに見えても潛在血液の有る場合がありますから時々專門醫の檢便を受ける必要があります

滿洲婦人歌壇

甲斐水棹

○池畔の秋

秋すでに半ば過ぎたる陽のいろに池の面寒きタさざれ波

○

土堤の樹の枯葉落ちつく池水に映る灯赤し夕寒ざむと

○

柳生の下草さやに照る月の光寂みて秋もふかみし

○或る人の死

燈明幽かに今はしづもる御佛も生あるうちは競ひたりけり

○

稚兒の二人殘れるうつしよを思ひ幽かに死にゆきにけむ

お醫者さんを

呼ぶ時の心得

▼…成るべく主治醫をきめておくことと慣れたお醫者さんは病人の體質、既往の病氣そして家庭の事情等もよく熟知してゐます上に信賴と共に親密さがあり病人は申すまでもなく家族の者にも何となく顏を見ただけでも慰安を感ぜられる度が深い。

▼…きまつた醫者のない場合は少くとも今度呼ぶ醫者を主治醫にする積りで、人格者で一識見あり、學識經驗ともに深く技術優れし仁を選ぶこと、信賴と尊敬とは絕對條件であります。

▼…專門醫たること　いくら主治醫であつても、內科の學者に耳鼻科疾患を診察してもらつてもなか〳〵治りません、主治醫はすぐに專門醫を紹介するでせうが、患家の方でいち早くその特徵を發見して專門醫を招くやうな心得があれば決して手後れの憂ひがない。

▼…往診を求むる時は病人の住所姓名、年齡、職業、病狀並に病人の自覺症の主なるものを、簡單明瞭に通じておく。

▼…始めて來てもらふ醫師の場合には、よく分りやすく家の目印した敎へておくこと、これは念を入れて丁寧に話しておくに越した事はない、醫者をまごつかせることは一刻を爭ふ病人にとつても、又多忙な醫師にとつても共に迷惑の事であります。

▼…醫師に話すこと、發病よりの經過、原因と認むること、今までの手あて、病人の苦痛、平素の體質既往の疾病、飲食物の具合、便通等眞實の申立をすること。

▼…診察に先だつて手洗湯を出すこと　どこの家でも診察後には手洗湯や石鹸を出すが、その前に出すのは餘り見受けぬ、醫師の手必ずしも淸潔ならず、それで病人の各部に觸れられるのであるから、先づ手を淸めて頂くことは忘れてはならぬ大切の事であると思ひます、診察後にはクレゾール數滴落した手洗ひ水を出せばこれに越したことはない。

▼…もし醫師に茶菓子を出さうとする時は、病室では大變に失禮であります、包菓子はもたせぬ方がよいと思ひます。

▼…容體は病人の側で聞いてはなりません、別室、又は病室外で聞き、手あても得心のゆくまで問ふとよい。

▼…さりとてぐづぐづ醫師を引とめておくのはよくない、用事がすんだら世間話などしむけずにさつさと歸らせなくてはなりません。

キヨシ（58）ポンヂ・ダンシト

ケムリダ　ケムリダ　ヤマカジダゾ

ポンコイケ　イソゲ

オーヤ　オヤ

『健康』といふ事　下

關東廳旅順醫院長　渡邊信吉

先日も私は或る胸の惡い患者さんから紫外線（太陽燈）をかけていゝかと訊ねられた時に「强ひてとめもしませんが、それよりか着物をきたまゝで戶外に出て、散步でもしながら靑空の下でサンサンと降りそゝぐ自然の太陽の光を思ふまゝに浴びた方がいゝです。それも貴方の場合では二十分から三十分間位がいゝですね」と答へて何式とかいふ紫外線を用ふる事に不贊成を申しましたところ「何分にも機械まで持つて來て親切にいつて下さるのだから、斷りも出來かねます。それに副作用が絕對にないさうですから」といはれましたので私はいつもの調子で「貴方の身體はまづ貴方自身が一番大切にしなければ駄目ですよ他人は貴方程には貴方の身體の事を氣にかけませんからね。たゞの義理や附き合ひくらゐのために自分の健康を臺なしにして仕舞ふのはいよいよ馬鹿氣てゐますから、よくお考へなさい」と無遠慮にも憎まれ口をきいたものでした。所が氣の毒にも患者は翌日から血痰が出て止まないと訴へて來たのでした。

◆

普通の健康な人にならさうした反應を起しさうもない程度の日光浴であつても、病體にとつては其刺戟が强すぎたり、病氣のある場所に豫想外な反應が起つたりして喀血とか血尿とかいつた不愉快な出來事を結果しやすい者なのです弱い所、惡い所には得てして種々の刺戟が意外に强く働きたがるものです、副作用といふのは、施した刺戟に對して現れて來る、害になつても益にならないやうな、私達の決して求めてゐない反應をいふのです。何事につけても副作用を起させないやうにとは私達の常に勉强し、隨分苦心してゐる點なのですが、なか〳〵都合よく行きかねるものです。

◆

總ての治療は刺戟であり、適當な良い反應がその效果なのですから、自分の願ひ求めてゐるやうな反應だけを起させるやうに、適當な刺戟を適當に選び用ひて常に誤りなきに到り得れば、それはやがて天下無雙の名醫といふべきでせう。

◆

私達の求めるものは力持ちでも無ければ韋駄天でもありません、私達の身體の諸々の器官が、有害な刺戟を避け、正常なものに對して適當に反應する、全體的によく調和のとれた、彈力のある健康體が卽ち私達の目標なのです。

◆

以上私は身體の健康とは如何なるものかと吟味してみました。然るに世間では常に不健全な思想や情操について喧しく論議されてゐるのをきゝます。私は日頃思つてゐるのですが、醫學者は肉體の健康と病氣とを測定識別する方法を種々研究してゐますが、若しも頭腦や心に就いてもそのやうな方法があつたならば人は何んなに幸福になれることだらうかと思ふのです。人物採用、學生敎育、自己修養等にどれ程役立つか解りません。私はその道の方がこの問題に就いて解說を與へて下さらむことを切望して筆を擱きます。

百九十一勇士の英靈を送る日
三十日夜奉天東本願寺にて　淚とともに慰靈祭

【奉天】克山、泰安、呼海方面で名譽の戰死をとげた第○○師團の遺骨百九十一體慰靈祭は三十日午後七時半から奉天東本願寺伽藍廣間において執行された、この日各官民代表者を始め佛教婦人會、興善寺婦人團、將校婦人會、其他各婦人團體の參列者で本堂立錐の餘地なく、特に滿鐵看護婦多數參會し奉天佛教聯合會僧侶の

讀經 に、各官民代表の燒香あり式を終了したが、小野寺大尉は遺骨となつて悲しく凱戰する勇士の前で語る處ば百九十一體の戰友が泰安鎭包圍の際にいかに奮戰し泰安驛を守備してゐた十名の兵が五、六百餘の敵匪に包圍され十月十九日の夜から廿一日の拂曉まで一晩一日孤軍奮戰し最後まで交戰を續け、遂に四名の戰死者を出したが、四名は二十一日の午前六時敵匪の散壞線約三百名餘の前線に突進し巧に彼等が機先を制し退路を開いた隙に乘じて泰安城の兵營に脫出し驛の狀況を報告し殘つた三名はまた北方に向け部落に

密集 してゐた五、六百餘の敵中を切拔けて兵舍に合し、漸く十月三十日に至り○○師團からの救援隊で生還した顚末、齋藤少佐、林少佐の戰死、川崎中隊長以下五十九名の全滅と漸く其のうちから岩上軍曹一名が生還した實狀二日二晩北滿の廣原な本隊に報告するため徒步で本隊に報告した苦心談を手にとるが如く說明約一時間半に亘り講演あり、參會の婦人連は其の苦戰を聞かされ感激の淚を浮べぬものはなかつた

遺骨は大連へ

【奉天】チチハル東邊道方面で名譽の戰死を遂げた我勇士の遺骨は三十日午後五時奉天着の遺骨二十一體と共に百九十一體宇治町の東本願寺に安置され二十九日夜はしめやかなお通夜が行はれ三十日は午後七時から同寺に於て盛大な慰靈祭が營まれ淚復新なるものがあつたが右遺骨全部共一日午前七時十五分發列車で多數市民の見送りを受け離奉大連經由送還された

百九十一勇士慰靈祭　奉天にて

南滿工業者の懇話會復活
二十九日奉天に於て　事變後の第一回開催

【奉天】奉天を中心に沿線各會社工場等の連絡並に親睦を圖るため組織された南滿工業者懇話會は時局の關係で一時中止されてゐたが今回滿洲國の成立と共に滿洲における各種工業企業熱の旺盛となりゝある今日同會の續會は愈々必要に迫られ毛織會社遠藤、瓦斯會社深川、電氣會社鎌山、東亞煙草矢部、滿洲窯業京谷、奉天窯業佐伯の七氏は廿九日午後五時公記飯店に參集時局後の第一回懇話會を開催し今後は會員相互の連絡を圖り勞働問題、賃銀問題につき研究を重ねるため毎月八日の一回懇話會を開催する一方滿洲國側の會員を勸誘し目的に向つて邁進することゝなつた尙懇話會の事務所は從來都甲文雄氏宅に置いてあつたが今後は各會社又は工場の代表者から二名の幹事を舉げ事務所もこの幹事で持ち廻ることゝなつた今回の幹事は毛織會社の遠藤、奉天窯業の佐伯の兩氏に決定した

初年兵入隊式

【鞍山】鞍山獨立守備隊に入營した初年兵に對しては四日午前十時から營庭に於て入隊式を舉行する

賴しきその雄姿　吾等の飛機
愛國滿洲號謝恩飛行

【鞍山】愛國機滿洲號の六二、六三號兩機は既報の通り三十日午前九時三十分奉天より飛來し鞍山上空に雄姿を現した、之に先き立ち上田大隊長を始め守備隊幹部、泉警察署長、小野寺地方事務所長その他各方面有志並に一般市民、小學生、中學生、普通學校生、公學校生等數千人の歡迎者はモーターサイレン下に出迎へた、定刻となるや北方の上空に小さい機體を小學生が最初に發見し日の丸の小旗を振りかざし萬歲聲裡に二機は雁行見る見る中に頭上に其勇姿を現し各種の高等飛行をなし謝恩の意を表したが素晴らしい見事なものであつた、一同は只聲をからし萬歲々々を唱へ輝もしき其勇姿と飛行振りに全く滿足なし遠く東鞍山に消え去るまで見送つた

上海は頗る不快
奉天着任の高田氏談

【奉天】上海から奉天總領事館に轉勤となつた高田書記生は三十日午後三時着はと號で着任した驛頭に出迎へた記者に語る

北方の氣候は馬鹿に暖かですね上海さ大して變りません、上海には十五年勤務してゐました、上海事變以來排日熱は一層ひどくなつたので不愉快な思ひばかりしてゐます、それに近頃は銀貨が下落したので日本人の生活は非常にみじめなものです、昔の上海にかへる日は何時のことやら全く見當がつきません、上海の日本領事館でも司法係を擔任してゐましたが北方と違ふのは不動產の登記がないだけで事務上のことは大して違つたところはありません、何分上海は國際都市だけに面倒な事件がしばしば起つて日本の法律通りでは解決出來ないことがあります、奉天の樣子はまださつぱり判りませんが上海に比べて日滿兩國人の親密な態度には心から喜んでゐます

柳河縣長の獻身的努力

【奉天】仁義の士で、滿洲國の讃美者である柳河縣長陳玉銘氏は數日間柳河縣が匪賊のため包圍され恰も海中の孤島の如き狀態に陷つたにも拘らず節を曲げず只管治安維持に努め民心の收拾に努力し縣內から只一名の不良分子も出さないやうにと獻身的努力をなして來たものである、又日本軍滿洲國軍の匪賊討伐隊に對しては夫々便宜を與へると共に慰問の法を講じる等最善をつくし非常な好感で迎へられてゐるが一方協和會に對しても好意を持ち最近自ら陣頭に立つて縣公署內役員を政治工作隊として地方農村を行脚し民族協和と王道主義の宣化に努め更に進んで匪賊の歸順に自ら乘り出し旣に歸順せしめた數だけでも數千名の多きに達してゐると

奇特な醫師
自らの血液をもつて　患者に輸血

【鞍山】鞍山滿鐵醫院婦人科醫長小野忠則氏は某所勤務妻女ウメ子さんが入院加療中突然重態に陷り命旦夕に迫ると急報に接したが手の付け樣なく呆然たる有樣であつたが責任感の強い小野醫長はフト我と吾腕に吸血器を突き刺し三百瓦の血液を取り輸血なした處十人の中九人迄助からぬものが漸次回復し全く一命を取り止め快癒することが出來た、一般婦人科の患者を始め醫院內に於て職務美談として傳へられて居る

掃匪戰押收品奉天驛に陳列

【奉天】奉天省警備司令部では奉天驛と交涉の結果、司令部が掃匪工作の際押收した大刀會の青龍刀紅槍會の槍、其他多數の舊武器、腕章、旗等があるので、これを奉天驛構內に陳列し一般に觀覽せしめることに話が纏まつたが馬匪賊移動圖をも表示する考へであると

關稅改正で果樹園業者浮ぶ
州外への輸出活況

【金州】銀塊暴落、生產の激增、販路未開それに加ふるに關稅の高率に禍ひされて事實上絕無の快味と品質とを有しながら餘儀なき廉價に甘んじなければならなかつた金州香州內の果樹園經營業者に待つこと久しく

春の やうな快報は訪れた……州內產果實就中苹果の販路は從來南洋方面に小粒ものが極めて僅かに輸出されてゐたが州內の全產額から見る時は九牛の一毛にも過ぎない狀態にあつた而も陸續きの滿洲には高率な關稅に閉されて輸出出來ず內地朝鮮方面は地元の產果で十分に充たされる爲てんで問題にならず勢ひ價格を廉くして州內に於て取引しなければならない破目に陷り從つて經營者も極度に疲弊して無產經營者は維持困難となつて倒產するものさへ續出し勢ひ有產階級の手に

委ね なければならなかつた、然るに去る八日改正實施を見た滿洲行の輸出稅金は從來の三分の一の低額となつたため果樹園業者は俄に活況を見るに至り今日迄に相當の輸出數量となつてゐるが今後愈々大量の輸出が試みられるべく、これが爲め悲觀の極致にあつた州內果樹園業者も漸く活動舞臺に入ることが出來るのである

怪しい行李
果して開けて見たら　價格一萬圓の阿片

【奉天】二十九日午後六時二十五分着奉山線第百十二列車に柳行李四個を託して送り驛ホームに下したがその行李に怪しい點があるので所有者の來るのを待つて取調べをなさんとした處所持者側もそれと知つたものか遂に來らず之がため警官立會の上之を開いて見ると麻袋に包んであつた阿片煙土三十五包目方三十五貫二百匁價格一萬圓が飛出した、右は錦州方面から奉天に密輸を圖つたものらしく現品を沒收すると共に犯人の搜査に着手した

新賓縣の產米
追々出廻らん

【撫順】當地東方約廿里新賓(興京)縣下の產米は事變前迄は例年一萬石乃至二萬石に上つてゐたが事變後は匪賊橫行のため全く出廻り杜絕し今秋も僅かに五百石の出廻りを見たに過ぎずかくては當地

部員撞球大會

【鳳凰城】鷄冠山撞球大會は二十三日より二十七日迄滿鐵社員俱樂部に於いて行はれ、部員一同妙技を發揮し、盲者、鬼殺、五連勝、本賞と順を追ふて非常な人氣と盛會裡に終了、猶本賞受賞者左の如し

一等西村君、二等鈴木君、三等中村君、四等谷口君、五等永園君、六等佐藤君

傷病兵を慰問

【奉天】滿洲各地における討匪で名譽の負傷をなし奉天衞戍病院に入院中の一等兵布施富氏外十一名の戰傷者に對し帝國軍人後援會滿洲支部長が慰問することゝなり奉天署の澤田警部は支部長代理として二十九日衞戍病院を訪問し親く傷病兵を見舞ひ夫々金一封を送つた處傷病兵一同も淚を以て感謝してゐたと

奉天學齡兒童

【奉天】奉天管內における明年度の學齡兒童は大正十五年四月一日以降昭和二年三月三十一日までの間に出生したもので奉天署に於てその人員調査中のところ五百五十九名と判明した尙明春までその人員に異動あるかも知れぬがこの數より增加する方で昨年より六十名の增加である

旅順放送

▲武德會旅順支部弓道部主催にて來る四日(日曜日)午後六時から下田檢察官長、青木警察署長の歡迎宴を開催する事となつた、場所は追つて決定する會費三圓で出席希望者は旅順署又は振武館內安齋教師宛申込んで貰ひ度い由

▲新市街西本願寺佛教會館では一日から三日間光岡慈昭師の連續講演「佛教根本思想たる業と我がゆく道」を左の如く行ふ

第一講(業思想と運命論)第二講(業思想と因緣果)以上いづれも一日晝後、第三講(業思想と現代倫理)第四講(業思想と淨土教)以上いづれも二日晝後三日は零時半から第五講(釋尊教育の片影と親鸞聖人)尙二日午後零時半からは新市街佛教婦人會發會式を兼ね大連關東別院輪番津村雅量師の講演がある

▲赤羽町五野田清一郞氏方では同日三男三彥君同上

▲朝日町二ノ一四小澤三男氏方では二十二日長男浩君出生

▲乃木町、某製造業大阪三重次=假名=內緣の妻東島ヒロ子(二四)=假名=は滯旅中の電熱治療師八木純平と諜し合せ斯落ちと洒落た

伊藤延義(機關區勤務)姬路野砲隊、泉喜十郞(同)久留米山砲隊、鶴崎一雄(同)久留米山砲隊

で今後は米價の昂騰と相俟つて相當の出廻りを見るであらうと

穀類高の打擊も一方ならぬものがあるが目下治安も略回復されたので

師走、商ひ戰線
一日から愈華々しく　賣出を開始した奉天

【奉天】本年も愈々師走に入つた忙しい年の瀨を物語る商店街では歲末賣出しの策戰に秘策を凝らし本年も恒例により奉天輸入組合、商工會議所、商店協會主催の下に一日から華々しい大賣出しを開始した、本年は昨年の加盟店百四十軒に對し百五十軒を突破し又昨年の總賣上高十五萬圓に對し卅萬圓の豫想で殊に本年は建國記念として特別景品一等が二千圓といふ張りこみで素晴しい景氣を示し物品も綿布、綿布を網羅し値段も先見越しの仕入を行つてゐた關係上內地では上げても奉天では上げず出來るだけお客さんに便宜を與へ安くてよい品を提供しやうといふ意氣込みで各加盟とも大馬力である、尙本年は特別景品一等二千圓一本二等三百圓一本、三等百圓一本普通景品一等百圓六本、二等三十圓十二本、三等十圓三十本以下七等まで全部洩れなく當選し景品券は五圓每に補助券一枚が進呈されることゝなつてゐる

滿洲紡績定時總會

【遼陽】遼陽の滿洲紡績會社では二十九日午後三時から同社樓上に於て第十九回定期株主總會開催七年度上半期の營業、決算報告の上利益金處分案を審議決定したが株主配當金は四分五厘であるが本期の純益金は十萬二千八百十九圓八十四錢で前期繰越金二萬八千三百六十四圓四十七錢を加へ法定積立

敦化縣城の滿洲國人職業別
一番多いのは雜貨屋

【吉林】治安恢復と人心の安定を保ちつゝある敦化縣城に於ける滿洲國人の現在職業別を調查して見ると大體次の如きものである

▲一般雜貨商六十八軒▲食料雜貨商四七軒▲藥種商十軒▲製菓販賣商八軒▲綿餠及煎餠商十六軒▲飲食店二十三軒▲理髮業十一軒▲印刷業戶數二軒▲印鑑屋二軒▲書籍屋戶數二軒▲陶磁器屋三軒▲帽子商戶數二軒▲靴屋店戶數三軒▲時計修繕商戶數三軒▲支那酒販賣店戶數一▲旅館戶數九名▲牛豚販賣店戶數十四軒▲料理屋戶數三軒▲馬車屋十五軒▲風呂屋二軒▲運送業戶數三軒▲醫院戶數五軒▲漢換業戶數二軒▲野菜商戶數十二軒▲鹽油屋戶數四軒▲豆腐商戶數十三軒▲染物屋二軒▲損稱六軒▲仕立屋四軒▲古着商九軒▲煙草卸商一軒▲皮革商十二軒▲石炭販賣商一軒▲飾商二軒▲支那得利商二軒▲鍛冶屋十二軒▲鐵力九軒▲製粉業四軒▲豆油製造業六軒▲燒酎製造二軒▲大工業四軒▲石鹼及び蠟燭製造一軒▲煉瓦製造販賣五軒▲荷車製造業二軒▲銀細工商戶數二軒

合計戶數三百六十九軒、人口男千六百九十二人、女三百三十人計二千二十三名であるが中でも一番多いのは一般雜貨商である

于氏の葬儀へ
遼陽邦人參列

【奉天】遼陽城內に住居を有する滿洲國監察院長于沖漢氏の葬儀が二日大連に於て執行されるので遼陽邦人側から山崎領事、關屋地方事務所長、岡本署長代理、飯田醫院長、渡邊遼鞍社長、中村實業支配人、西事務主任、安達區長、成瀨縣參事等が三十日及び一日それぞれ赴連した

鷄冠山入營者

本年度鷄冠山の入營者は三名でいづれも剛健なる氣性と善良なる操行の持主にて非常時局の今日これ等三名の優秀なる士の入營に對し市民一同は絕大なる歡意を表すると共に大なる期待を抱いてゐる、所屬部隊並氏名左記の如し

各地片々

◇撫順　撫順稅捐局では從來水田一畝につき鮮人は六十錢滿人は五十錢と區別されてゐた水利稅を本年はその區別を廢し一率に五十錢として徵收する由であるが、右は每年に片手落ちの虐遇を受けてゐた鮮農に對する一の解放で鮮滿人融和上喜ばしきことゝされてゐる

◇奉天　奉天城內にある故宮博物館の內容を一般に廣く紹介するため奉天省教育廳社會教育課では本館の沿革、各種の章程、各陳列室の陳列品種別並にその由來等を詳細に調查說明した印刷物を發行する事になつたがその時期は來月中旬にならうと

◇奉天　滯奉中であつた廣島柑橘同業組合聯合會の同縣產柑橘類販賣擴張員一行五名は曾我一近氏引率市內各所を視察し廿九日夜市內同業者等と懇談會を開催し種々今後の方針につき打合せをなす處あつたが、一日朝北行北滿方面の視察の途に着いた

會と催し

▲軍民懇談遼陽準備會【遼陽】第二回軍民懇談會に提出すべき移民及銀貨問題の意見書の作成には三十日午後三時から地方事務所會議室に於て關係者會合の上協議する處があつた

▲遼陽警察協議會【遼陽】遼陽警察署では三十日午後一時から附屬地農業經營者を樓上に招集の上警備上農作物の播種其の他に付協議する處があつた

▲撫順朝鮮人民會評議員會【撫順】撫順朝鮮人民會は評議員會の結果今回經費三千圓を以つて會事務所を新築する外在住鮮人の授産的事業として繩叺製造工業を與すことゝした

▲鞍山實業協會役員會【鞍山】鞍山實業協會では二日午後四時から事務室に於て定例役員會を開催し左記事項を審議し閉會後銀鐵に於て忘年會を開催する

一、第十六回商議聯合會經過報告
一、滿洲在住民定期懇談會議題審議に關する件
移民問題、銀貨問題、一般問題

▲遼陽小學校父兄會【遼陽】遼陽小學校では三十日、午前九時半から尋一、二年の父兄一日は三、四年二日は五年以上の父兄と懇談會を催したが三十日午後二時半から鞍山中學から各學級擔任教諭來遼の上同校に於て在學生徒の父兄と懇談會が催された

滿洲日報

興味は總會討議後の十九國委員會の成行
結局來年に持越さん

【ジュネーヴ卅日發】六日開會の聯盟特別總會は六、七兩日又は遲くも八日迄に日支外各國代表の演說を終り直に問題を十九國委員會に附託する豫定である、右一般討議が終つた後委員會附託前に滿洲國不承認決議等は持出さず旣に總會參加各國間に旣に諒解が成立したので一日の十九國委員會は單に形式的なものとなり興味の中心は總會に於ける一般討議後の十九國委員會の成行きに注視されるに至つた、併しクリスマスを控へ同委員會も十二月十七日以後迄審議を續行することは困難で第三者側は結局來年に持ち越すの已むなきに至るものと見てゐる、尙總會の會場は軍縮議事堂を使用することゝなつた、右總會に出席の帝國代表は松岡首席代表、長岡駐佛大使、佐藤駐白大使の三氏に決定し松岡代表が主として討議に參加する筈である

【ジュネーヴ三十日發】臨時總會は六日から約三日間公開會議を開催それより日支問題を十九ケ國委員會に廻附するものと觀らるが三日間に亘る總會は實質的には雄辯大會と異ならざるものとなるべく別に實質的展開を期待し得られぬ、結局は五、六ケ國代表による起草委員會なるものが設けられ和協の途を見出さうといふ案に落着く模樣である、しかしこれが今年中に出來るか未だ見當がつかないが和協委員會案については聯盟筋では更に左の如き見解を持つてゐる

一、和協委員會は第三者の立場から當事國間の紛爭を裁斷する機構を有するものでなく日支兩當事國の參加を得て規約十五條第三項に基くもの

二、委員會の會議地は例へばロンドンの如き場所を選べば日本の爲めにも惡くはなからう

積極的には反對せぬ
注目さる、佛國の態度

【ジュネーヴ三十日發】エリオ佛首相は來る二日頃マック英首相と相前後して來壽するものと豫想され、この兩巨頭の來壽が日支問題の總會審議に實質的決定的の重大影響を及ぼすことは疑ひを入れずアメリカのデヴイス氏も一兩日中にはジュネーヴに歸るはずでかくて總會を前にして日、英、佛間の私的會議が期待され問題の實際的處理の方法はこの非公式會議に於てその骨組がきまる見込みである就中松岡全權とエリオ首相との間には今週末に會見の約束が出來てゐるからで右會見で松岡全權はパリの會見以來の經過を述べ我主張を更に强調し若し日本の主張を理解するなら解決は困難ならぬことを說明するものと見られる、而してフランスは聯盟に於て積極的に我れに反對せざるべきは松岡全權に確信あるもの、如くで問題は今後どの程度まで我方針に積極的支持をなすかに在るやうである

ル大統領就任まで最後決定の遷延策
聯盟の壓力增大期待

【東京三十日發】問題を總會に移牒せる聯盟側は聯盟事務局、小國側、支那側三者間の反日運動によつて總會におけるプログラムに關し左の如き畫策行はれつゝあること三十日外務省に情報あつた

一、總會はスチムソン原則に基き**滿洲國不承認決議案を提出し日本代表の反對を一蹴これを成立せしむること**

一、米露を加へた調停委員會を設置し日支問題の解決を委託す

一、**調停委員會は來年一月十日第一回會合を開き二ケ月以內に委員會報告書を作り日支兩國に提示す**

一、若し日本が右委員會を受諾せざる時は委員會はその旨を附して總會に右案を提出す

一、**總會は調停委員會の行動を確認し**第二段の措置として第十五條第四項を發動し總會としての**勸告案を作成し日本政府に突き附ける**

而して二ケ月の期限を附するは支那の[illegible]に依るものでルーズヴエルト大統領就任後聯盟の對日壓力增大すべしと期待したゝめである

滿鐵・豫想外の大搖れ
慌しいうちにも漂ふ和やかさ
その日の滿鐵風景

滿鐵の新職制および異動の發表される日——十二月一日の滿鐵本社の灰色や赤煉瓦の建物の隅々までそはそは落着かぬ空氣がたゞよつてゐた、九時十分、この日の立役者、八田副總裁が出社、副總裁室に入つた、と、重役室から呼出電話がかゝつたらしく、伊藤驛運課長、西田考査課長、伊藤調査課長、由利技術局庶務課長、谷川次長その他課長級以上で異動に入つたと思はれた人が次ぎ次ぎ副總裁室の前に集まつた、最初鐵道關係の約十人が室に入り、ついで田所、谷川、西田の三氏が一人々々入り、夫々終つて終りの數人が入つて、夫々歸つて行く

終つて十時から、副總裁は、山崎理事と土肥人事課長をともなつて應接室に現はれ、待ち構へた記者團に職制の改正點とその理由を說明し、つゞいて土肥人事課長から人事異動が發表された、豫想を裏切つて異動は相當廣範圍に亘つて居り、その報道は忽ち社內に擴がつてどの室でも仕事はそつち除けで異動評に花が咲く

今度の異動で誰も意外とし、それだけ社內の同情を集めたのは谷川前商事部長の審査役室入りである、過去一年餘、事變、排日、內地の移入制限、支部の輸入稅課稅など撫順炭始まつて以來の受難期に懸戰苦鬪し、やうやくこれから芽が吹きかゝつた時に去られねばならぬのは殘念だらうさ、部員も挨拶に行つて一寸言葉が出なかつたさいふ

前次長の許に挨拶に行く、その武部部長の室には、もう林撫順炭販賣會社常務が詰めかけて來て、石炭販賣の話を始めるといふ氣の早さ

しかし本人は早手廻しに社內を片づけて午後は甘井子から市中の販賣各現場に挨拶廻りに出かけた

淘汰といふ血腥いことがなかつただけに全體に春風駘蕩たるものであつたが、たゞ審査役室だけは從來とも待機プールといはれてゐただけに多少左遷といへる、このうち谷川、田所、西田の三氏は一人々々呼ばれたのでこの三氏は專任の特殊使命を有した審査役であり

殘り五氏は近き異動の際に浮び出るのではないかとの觀測が行はれてゐる、ハルビン事務所長や東京支社經理課長など今次の異動で後任者が本定りしなかつた所があるから、いづれは小餘震がなくてはならぬと觀測されるからである

今度の異動は「本所歸へり」だといふ批評が專らである、卽ち動いたものは自己の最も長く居つたところや、その人の最も長所とする箇所に配屬する方針が見えてゐるからで、この意味からも適切な人事だとの評が多い、新進拔擢の評判も頗るよく、こんな和やかな職制改正は曾つてなかつたとは古い滿鐵人の總評である

『大搖れだツた』が新課長好評
鐵道部と技術局

「豫想外の大搖れだつた」これが鐵道を通じての部屋のさゝやきである、新課長は何れも評判がよい「羽田內閣萬歲だれ」の聲がする午後二時から各主任の任命がある

それがすむと羽田部長、淸水次長は仲良く連れ立つて

◇各課を挨拶廻りだ、車務課、驛運は流石に騷がしい、然し大體に榮轉だから何といつても賑やかな騷がしさだ、その中で誰かゞ「木村さんも課長にしたかつたれ」と言ふ、そうだそうだと合槌を打つ「慾を言へばきりがない」と誰かがたしなめる、江崎新鐵道事務所長

猪子さんのやうな名所長の後に行く者は心配だよと謙遜する、廢止になつた驛運課はそのまゝ係として殘るので解散式をやるかやらぬかで大評定、結局壽永主任の採決で三日午後六時から解散式をやることに決めた、僅かの

◇閑を得てホッとした羽田部長は

抱負と言つても別にない、重い責任を帶はされた自分だ唯全力を盡すだけだと强い決心を語る、白井庶務課長まだこれからが忙しいとこぼしてゐる、足を轉じて技術局に行くと局長、斯波顧問、審査役が集まつて業務課の組織で會議中由利庶務課長の「お世話になりました」の聲に、審査役になつたのは榮轉だのにと自分に言ひ聞かせながらも何となく淋しさを感じる

鐵道部の係主任

滿鐵々道部新設課の係および新任係主任は左の如く決定した

▲輸送課(配車、運轉、設備)
鐵道部附參事 遠藤貞治 配車係主任兼設備係主任を命す
車務課技師 芳賀千代太 運轉係主任を命す

▲工作課(計畫、機關車、客貨車、機械)
車務課技師 久保田正次 計畫係主任を命す
同上 木村知彥 機關車係主任を命す
同 技術員 市原善積 客貨車係主任を命す
同 技師 石尾茂 機械係主任を命す

▲營業課(貨物、旅客、驛運、宣傳)
驛運課事務員 森永不二夫 驛運係主任を命す

なほ鮎谷現配車係主任は鐵道部附となり目下外國出張中の關參事は歸任後營業課附として配屬される筈であり、經理課營業所に配屬される筈であり、經理係主任は未定であるが鐵道工場庶務長は左の如く決定した

鐵道工場庶務係主任 篠原豐三郎 工場庶務長を命す

無理のない異動
滿鐵鐵道部異動評

◇鐵道部の職制改正は最初の豫想を裏切るものが相當に多かつたがこれは宇佐美氏が鐵道部の人事に參劃した結果によるものと見られて居り、卽ち新たに鐵道部附として任命された參事には宇佐美氏の信任厚い藪氏を見ることが出來る、猪子氏の輸送課長、野中氏の工作課長は誰しも異論のないところと見るべく、野中氏は今後鐵道工場はもとより內地各車輛製造會社をリードする工作課長として最適任であり、猪子氏は長大直通列車を始め最近滿鐵々道部の運轉計畫を殆ど一手に引き受けた人で輸送課長はこれまた最適任、殊に氏は技術家に似合はず事務的才能もあり未來の鐵道部長を約束されてゐるだけに今回漸く課長となつたことは氏自身としては餘り嬉しくもないことだらう

◇都氏の工務課長は全然豫想外れであつたがこれまた異論のある筈がなく現業員としての經驗も深くかつ現業員に人氣の好い氏を工務課長としたところに羽田部長の苦心がある、山口營業課長留任は豫定の如く、伊藤驛運課長が經調委員となつたことは氏が鐵道部第一の頭腦の人で、また學究的でもあり、相當豐富な內容を持つため經調委員となつたものと見られてゐるが近く更に要職に就くと一部では言はれてゐる

◇佐藤氏の審査役への榮轉の跡を襲ひ伊藤成章氏が據つたことはこれまた順調な昇進であり、さきに市川氏退社當時佐藤、伊藤兩氏何れかに決定するものと言はれてゐたことを考へれば異論のないところ、臆の人、直情徑行の氏の今後は見物だ、早大といふ私學出として萬丈の氣焰を吐いてゐる

◇江崎氏の大連鐵道事務所長は溫厚しかも明朗、頭腦明晰な氏の前途に更に光明を投げたものであり、氏が現場の長として鍛へられた今後數年後こそ氏の最大の眞價を出す時であらう、杉浦氏の工場長榮轉はこれまた氏としては餘り嬉しくもないであらう程順當すぎる榮轉である、すでに遼陽工場長、工場作業長の經驗もあり野中氏との好連絡こそ大いに期待されるものである最後に次長淸水賢雄氏は一寸意外に思はせてもゐるが佐藤次長轉出後の鐵道部技術家でその人を求むれば田邊淸水兩技師の他にはなく田邊技師は他に要職を豫想されてゐる今日、また淸水氏がかつて羽田部長が大連鐵道事務所長時代同所の次長を勤めた緣故があり、その溫厚な人格から見てもこれまた最適任さすべきである

◇要するに今回の鐵道部異動には全然無理のない事が如何にも羽田部長の性格そのまゝであり、かくして羽田氏を中心にしての確固たる鐵道部が生れて來た

海軍大異動
十二月一日發令

【東京三十日發】海軍定期大異動は一日附左の如く發令さる

異動

補軍事參議官 呉鎭守府司令長官 大將 山梨勝之進
補呉鎭守府司令長官 佐世保鎭守府司令長官 中將 中村良三
補佐世保鎭守府司令長官 第三艦隊司令長官 中將 左近司政三
補第三艦隊司令長官 鎭海要港司令官 中將 米內光政

(以上親補職は式を行はず海相より辭記を傳達す)

進級

任中將(各通) 少將 枝原百合一、寺島健、加藤隆義、長谷川淸、松下元、植村茂夫、河野董吾、小野寺恕、村田豐太郎
任軍醫中將 軍醫少將 國府田中
任造船中將 造船少將 玉澤煥
任少將(各通) 大佐 北川淸、寺本武治、洪泰夫、羽仁六郎、有地十五郎、杉坂悌二郎、藏田直、園田實
任造兵少將(各通) 造兵大佐 吉川時十、武石太郎
任造船少將 造機大佐 松田竹太郎
任造船少將 造船大佐 德横律之助、池田耐一
任主計少將(各通) 佐々木重藏
任少將(各通) 菊野茂、高橋[illegible]一
任軍醫少將(各通) 軍醫大佐 菊地寬、上田脊治郎
任藥劑少將 藥劑大佐 鍋島豐太
主計大佐 長田正義、高松長三

◇皇族異動◇

補追風艦長 少佐 博義王
補天霧艦長 大尉 朝融王
任少佐補榛名副砲長 大尉 宣仁親王
補高雄分隊長

轉補

補軍令部出仕 中將 大湊直太郎
補鎭海要港部司令官 中將 今村信次郎
補軍令部出仕 中將 植村茂夫
補舞鶴要港部司令官 少將 鹽澤幸一
補第五戰隊司令官 少將 今村久雄
同 本多敬太郎
補軍令部出仕(各通) 同 柴山司馬
少將 有馬寬
補佐世保鎭守府艦船部長 少將 小野彌一
補水路部長 少將 倉賀野明
同 毛內効
同 寺本武治
補軍令部出仕(各通) 少將 園田實
補海軍大學校教頭兼技術會議員 少將 古賀峯一
補軍令部兼技術會議員 少將 日比野正春
補軍令部出仕兼海軍省出仕 少將 立花一
同 田尻敏郎
補軍令部出仕(各通) 少將 川原宏
補横須賀鎭守府艦船部長 軍醫少將 矢野[illegible]
補呉鎭守府附 藥劑少將 鍋島豐太郎
主計中將 入谷淸長
主計少將 永宮三男造
補軍令部出仕 同 三輪寬
主計少將 淡輪敏雄
補呉鎭守府經理部長兼呉鎭守府主計長 主計少將 村上春一
補海軍經理學校長 主計少將 池邊安雄
補横須賀鎭守府經理部長兼横須賀鎭守府主計長 主計少將 高松長三
補横須賀鎭守府軍需部長 主計少將 佐々木重藏
補佐世保鎭守府經理部長兼佐世保鎭守府主計長

八田副總裁
六日發上京

八田副總裁は社務多忙のため上京が遲延してゐたが職制發表も濟み一段落となつたので六日の香港丸で上京する筈、なほ在京期間は極めて短く年內には歸任の豫定

松岡代表の演說骨子
我方針こそ唯一の平和策

【ジュネーヴ三十日發】我松岡代表の六日の總會における演說大綱は今朝九時から零時過ぎまでの代表部會議で決定し文案起草に入る事となつた、理事會での演說とは全く趣き變り我方針こそ東洋平和確保の唯一の途で聯盟の眞精神に全く一致し、日本に關する誤解が解ければ完全な支持を得べきものなる旨を强調し辛抱强く徹底說明に努める態度を闡明するものである

總會議事順序
大體日本の希望に一致

【ジュネーヴ三十日發】聯盟事務局がイーマンス議長に參考案として手交するため用意した總會議事順序要點左の如し

十二月六日午前十一時開會、劈頭日支紛爭事件の經過に關し議長演說後、日支双方の代表をして各その主張を陳述せしめ、小國筋へも十分發言を許し、各國の演說に對し夫々意見を披瀝させ最後に議長から問題全部を委員附託となすべき旨を宣し、それより十九ケ國委員會の眞劍の審議に入り日支代表を交々出席させ、時には紛爭當事國を參加させず、解決案に關する總ての意見を取纏め之を總會に報告し總會は之に基き決議を作成するといふ段取だが、右筋書は大體日本の希望と一致し總會劈頭日本を憤激せしむる如き小國筋の策動は顧みぬかたちである

支那代表が劈頭發言

【ジュネーヴ三十日發】支那代表部は總會に提出すべき意見書の準備を進めてゐるが、總會では支那側が意見書を出す點から先づ支那代表が先に發言する事になる模樣であるが、一日午前十一時より開會の十九ケ國委員會は臨時總會の段取を決定した上一日限りで一先づ閉會し總會まで開かない樣子である

十九國委員會
我代表部重要視

【ジュネーヴ三十日發】我が代表部は總會本會議における松岡代表の演說草案を用意してゐるが問題が十九國委員會に附託された後日支代表は隨時同委員會に出席を求められ其處で實質的最後的解決案が決せられる機會があるので我が代表部では同委員會を最重要視し我が既定方針を如何に具體化し表現すべきかにつき今後每朝九時半から會合を開き愼重對策を練ることゝなつた

一日の十九國委員會

【ジュネーヴ三十日發】十九ケ國委員會は愈々一日午前十一時(滿洲時間一日午後六時)開かれるが最初非公開會議を開き次いで公開會議に移る豫定である、この會議では單にリツトン報告書が理事會より總會に附託された事を諒承し總會における討議結果を俟つといふ事を議決するだけで簡單にすむものと觀らる

山階宮殿下
豫備役被仰付

【東京三十日發】海軍少佐 勳一等 武彥王 豫備役被仰付

右は山階宮武彥王殿下にはかねて御不例に亘らせられ九年前より御靜養中で三十日休職年限に達せられたためである

對日抵抗を使嗾
南京政府令の內容

【上海三十日發】國民政府は三十日長文の國民政府令を以て洛陽より南京に再び還都する事を發令した、該命令の內容は頗る煽動的なもので對日長期抵抗の策を持續する事を明かに國民に告ぐと使嗾し

イーマンス議長辭職か

【ジュネーヴ三十日發】總會議長イーマンス氏は三十日正午ジュネーヴに到着した氏は一日の十九ケ國委員會に出席後すぐベルギーに引返すが松岡代表はイーマンス議長を訪問する豫定、イーマンス議長は今回の自由黨選擧の結果が彼の屬する自由黨が議席數を減じたので或は外相の位置を辭職することになるかも知れず從つて總會議長の椅子にも變化あるやも知れぬと云はれてゐる

イ議長壽府着

【ジュネーヴ三十日發】イーマンスベルギー外相は三十日午前十一時五十分ジュネーヴに來着した

英首相外相
一日發壽府へ

【ジュネーヴ三十日發】英首相マクドナルド氏及びサイモン外相は一日午後二時ロンドン發ジュネーヴに向ふがマクドナルド氏のジュネーヴ行目的はドイツの軍縮會議復歸に就き私的會談を行ふ爲めでドイツを復歸せしむる成算ありと傳へられるが同氏が裏面に在つて滿洲問題の私的會談に重要役割を演ずべきこと想像に難くない

奉天都市計畫
工業部門協議

奉天都市計畫の工業部門委員會は三十日行はれ有野地方事務所長、遠藤、內山、西牧の委員に野添氏列席、後藤氏の說明あり、工業地區割當の土地問題決定、關稅率については輸入業者の立場のみならず工業家として各部につき調査研究することとなつて討議したが栗野所長が事務所長就任と共に決定されるものと期待さる【奉天電話】

佛蘇不可侵條約調印

【パリ二十九日發】去る二十五日フランス及びソウエート兩國代表間に最後的協定を遂げた、フランス、ソウエート不可侵條約は二十九日外務省で正式調印を了した

司法官問題
樞府にて質問

【東京三十日發】我司法部內の重大問題とされてゐる司法官問題は本日の樞府本會議で相當突込んだ意見あり樞府側は事件が惡性的なものなれば實に由々しきものとなし成行重視されてゐる

支那對米借款

【上海三十日發】國民政府は目下駐支米公使を通じてアメリカより一千萬金弗の借款を交涉中であるが、右は日本の爲替安に乘じ山東鐵道の債務を支拂ひ同鐵道を完全に回收する計畫であると

非公式軍事參議官會議開催

【東京三十日發】陸軍では午後一時より定例非公式軍事參議官會議を開き荒木陸相より明年度豫算、小磯關東軍參謀長より滿洲治安問題に就き報告し種々意見交換の後四時散會した

森田茂氏死去

【東京三十日發】元衆議院議長前民政黨代議士京都市長森田茂氏は三十日午後八時二十五分狹心症にて急逝した、享年六十一歲

英國より米國へ ポンド現送準備

【ロンドン三十日發】(ヘラルド紙)は英蘭銀行は大藏省の緊急命令によりニユーヨークに向け三千萬磅の金貨現送の準備中であるさ

叛軍の挑戰的態度に最後手段に出づ

火蓋を切つたわが軍

【チチハル三十日發】松木部隊の先鋒枝隊は三十日拂曉から俄然行動を開始し傲慢無禮の蘇炳文に膺懲の一撃を加へて居るが一方滿洲里、ハイラルに監禁されて居る山崎領事外殘留民、滿洲國要人等の運命は非常に憂慮されて居る、而して我が軍がこの最後手段に出でたのは蘇炳文が依然誠意を示さずその先鋒部隊張殿九軍が飽く迄挑戰的態度に出たので勢ひの赴く所遂に火蓋を切つたのである

陣地は强固でも退却路がない

明白なその最後運命

【ハルビン特電三十日發】滿洲里、海拉爾其他における居留民及び婦女子はソウエートの好意ある斡旋で救出し得たが領事館員、軍部關係者及百數十名の警備隊員の引渡しに關しては斷じて應ぜず之等を人質として飽くまで皇軍に抗爭せんと蘇炳文は殆ど全軍を興安嶺以東に集結し張殿九、吳德林等の首腦株を札蘭屯に集め强固な陣を築いてゐる學良との間には無電により盛んに通信し邦人救出交渉に關して何等誠意の認むべきものがない、興安嶺以東に集結した蘇軍は一萬二千とみられてゐるが東支西部線不通のため退却は全く不可能である

江省軍活躍

敵匪首を捕虜

【ハルビン特電三十日發】望奎の江省軍王克鎭、旅長福劉、旅長麗團長を指揮して二十四日以來鄧文その他の敗殘匪賊討伐に當つてゐるが麗團は敵の一首領吳天石を捕虜にした吳は元第八旅長にて十月以來綏安附近を荒しまはつて居た有力部隊である

支那に武器の賣込爭奪戰

列國が盛んに活躍

先日武器賣り込みのため入滿した米國軍人の談によれば上海事件以後列國の支那軍隊に對する武器賣り込みによる勢力の扶植運動は目覺しいものがある、現に米國は飛行機と飛行將校を供給し支那の空軍を占領せんとし佛國側は最近主として步兵用の新兵器賣り込みに成功せんとし、ドイツはまた各國ドイツ教官を利用して各種の兵器殊に大砲の賣り込みをなしつゝあり、この各國の武器賣り込みにより支那軍の兵器は愈々統制なきものになるを恐れて反對する眞面目な支那軍の將校もあるが、新兵器不足の支那の現狀では結局外國より供給を受くるの外なしとあつてこゝに列國の武器賣込み爭奪戰が演ぜられんとしつゝある【新京電話】

匪賊掃滅に自衛團

間島で組織

【間島一日發】匪賊を掃滅すべき手段として間島の住民が一致して先般自衛團を組織したが既に各村落のもの合はせて三十餘團體人員一千數百に達し團員は滿洲人及び朝鮮人合體となつて各團體に連絡をとり掃匪成績に非常に良好でこの結果で進めば近く間島方面の匪賊は根絶せられるであらうと期待されてゐる

大連驛に着いた勇士の遺骨

續く怪放送

今度は男性の聲　無稽のヨタを飛ばす

近來旅順市始め大連市內のラヂオに頻々として怪電波が日本語の排日、侮日放送を傳へて來るが又々三十日夜六時四十五分より五分間に亙り南京中央廣汎無電局と稱し流暢な男性の日本語で左の如き噴飯に堪へぬ荒唐無稽な怪放送が市內加入者のラウドスピーカーから聞かれた

一、ワシントン來電によれば馬占山は左の如き情報を當地米國當局に寄せて來た

(イ)滿洲國は日本のかいらいであるからその僞の組織の止まぬ間は我々の策動は止めない

(ロ)華聯通信によれば目下富拉爾基附近の日本軍は蘇軍が中東路を中斷せるため全然活動が阻止された

(ハ)日本の聯合通信によれば日本軍の飛行機五臺は興安嶺附近に於て馬占山軍のために三臺射落されたが殘り二臺中の一臺も故障を起して墜落した

(ニ)日本軍四百は鄭家屯方面に於て我義勇軍を攻擊せんとして却つてその裏をかゝれ全滅した

以上の如く日本軍の北滿に於ける活動は何等得るところはない我等は日本軍の反省を求むる所以である

二、ジュネーヴの顧維鈞博士が發表なした日本拓務省の秘密會議錄は北平で僞造されたものだといはれてゐるが實際は中國辯護士協會員がハルビンで某日本人の手から買取つたもので僞造ではない

三、最後に最も注意すべきは日本

……の外交方針で以前は以夷制夷の方針であつたが華府會議以後は以華制華の方針に變つた、これは從來の日本の對支政策の證明するところである

荒神丸救助行惱む

十一月十八日旅順から營口に航行中の荒神丸が遼河一帶の頭目李人と渤海沿岸の海賊の頭目華山のため抑留され遼河を溯航すること七八里の地點に連れ行かれそれより現在は某縣村落に匪賊のため監禁されてゐるが當地部隊でも彼等を救出するに努めてゐるが討伐に向ふと遠く轉々とするので匪賊の要求を容れゝば釋放するといふので隊から關東州水產組合に對し交渉せるも一回の返答なき無誠意に軍も憤慨してゐる、監禁されてゐるは荒木船長と船員內地人一名鮮人一名で最初七名中滿洲國人一名は滿洲軍に內船客一名は正義團が救出したのであるが殘りの三名は永い監禁に憔悴し見るかげもないといはれ荒神丸は目下葫蘆島に運ばれたまゝである【奉天電話】

東邊道兵匪討伐の成績

先般日滿聯合軍によつて大々的に實行された東邊道一帶の討伐は大掃匪の後殘存部隊で敗匪の掃蕩を行ひつゝあるが既に大概完成を見た、この大討伐によつてわが軍が武裝解除又歸順せしめた匪賊數並びに鹵獲品の今まで調査完成を見たがその數は左の如し

▲武裝解除及び歸順匪賊二三六二七名▲鹵獲品小銃五四一〇挺▲馬四三九頭▲槍一〇七六二本▲彈丸二一二七二發【新京電話】

北平の邦人を車夫が監視

神經過敏な學良一派

【北平一日發】日本軍の平津出動説が一時騷いだ張學良一派もその氣配ないと見て安心の態であつたが最近に至つて聯盟における日本の强腰とこれに對する支那代表の名譽心から出た强辯が衝突した場合は直に日本軍の北支那出動を見るを恐れ非常に恐怖の色が漸次濃厚となつて來た、この現はれが北平の人力車夫中頭の良い一千五百人に對し在留日本人殊に軍人の行動を監視する樣手配したと云ふ、以て張學良一味が如何に神經過敏になつてゐるかゞ窺はれる

『赤』の國に居堪らず漂浪する白系漁夫

上陸して方途に迷ふ

ゲ・ペ・ウの嚴重な監視の目を逃れ散りぐ\に樺太、北海道に流れついた白系漁夫中二十一名はさきに來滿、直に奉天において就職したが卅日午後入港した鮮海丸で殘餘のウイノグラード・イワン・イワノウッチ(四八)以下五名が小樽の水上署より送られて來た、一行はわづかに合せて十五圓を持つてゐるのみで何等上陸しても目的なく水上署においてもホトぐ\その處置に困り拔いてゐるが聽くところによると、彼等漁夫は嵐の日を選んでわざと出漁し生死をも顧みず荒浪を乘切つて逃亡を計つたもので運惡く出港地に再び戾ればいづれも射殺されるので北海道に漂着し得たのは天國に辿りついたも同じだと云つてゐる、尙往年大輝丸事件で名を賣つた江連力一郎氏等はこれ等無智な白系露人の爲に北海道において大々的に寄附金を募集してゐる

拳銃を亂射し巡警を殺傷

新京の三人組强盜

一日午前八時半頃新京城內正大門十四番地錢莊德興號主人陳成業の宅に三名の强盜が侵入し居合せた店員を嚇しつけ金銀取交ぜ合計六千圓を强奪し附近のもの、大騷ぎに周章てゝ市政公所內に逃込んだが同所警戒中の巡警に拳銃を亂射しつゝ走り込み一人を射殺し一人に貫通銃創を負はし再び方向を變へて新京驛方面に逃走した急報により新京警察署では直に非常召集を行ひ警戒網を張り八方に手分けし滿洲國側官憲と協同目下嚴探中である【新京電話】

關東軍天津駐屯軍に畏し眞綿を御下賜

皇后、皇太后兩陛下

【東京一日發】皇后、皇太后兩陛下には關東軍、天津駐屯軍、外務、拓務兩省關係警察官の勞苦を思召され御慰問のため一日保溫用の眞綿御下賜の御沙汰あり岡田海相、林陸軍整備局長、有田外務次官、河田拓務次官は午前十一時宮內省に出頭一木宮相を經て拜受した

第一回日滿交驩籠球試合に期待

滿洲國軍はけふ着連

第一回日滿交驩籠球試合に出場する滿洲國代表籠球チーム一行は二日午前七時着列車で着連、來る三四日兩日大連第二中學校體育館に於て全大連及び黑猫俱樂部と對戰するこの第一回日滿交驩籠球競技大會は各種の意味に於て多大の期待を以て迎へられてゐる。

◇

滿洲國が本年三月建國以後直に運動競技界の統制機關として滿洲國體育協會を組織し、建國匆々にも不拘建國記念全國運動會を各地に催して花々しいスタートを切り、九月には新京に全國球技大會を催して之又赫々たる成績を擧げた。

◇

今回わが滿洲體育協會が大連に招聘する滿洲國代表チームは右全國球技大會に於て各省對抗競技に新京代表として優勝した新京第二師範學堂のチームであり名實共に新滿洲國第一年度に於ける籠球選手權保持者である。

◇

殊に元大連基督教青年會體育主事黑田善八氏が滿洲國體育協會新京特別市部主事として今秋以來親しくこのチームの指導をなし、その意氣に於ても技倆に於ても新興滿洲國代表としての貫錄を充分に備へてゐるので今回の競技は正に本年度シーズンを飾る最も興味あるビッグ・イヴントである。

◇

先年當地に迎へた天津南開大學や、北平師範大學チームには及ばないが、往年の奉天東北大學、馮庸大學を凌ぐ力倆を有してゐるといふことである。そして又大兵漢の選手を揃へてゐるといふから身長に於て多分のハンディキャップをつけられてゐる、日本側チームは此點に於て相當の苦戰は免れ得まいと見られてゐる。

◇

これに對する日本側代表チームは大連籠球聯盟の推薦による大連各チーム(學生を除き)よりの選拔軍であり、その大部分は一昨年及昨年、東北大學、馮庸大學との日華對抗戰並に北平師範大學との對戰の際結成された全大連學生選拔軍のメンバーで學窓を出てから練習の時間には惠まれないが、その技倆は更に圓熟の度を增してゐる。Fに後藤、森田以下富田、今村、須佐美、奧田、山田の諸剛を擁し、Cに留月、須古の練習緻を控へRには山中、水上、千葉、龍山、河內、安藤、岩瀨と正に多士濟々である。

◇

去る廿日以來大連二中の體育館に於て奧田主將以下十五名の選手が連夜猛練習を續けつゝあるが、そのコンジイションも上々でありこの選拔チームには珍しい程のチームワークも整つて來てゐるから選手相互の氣分もしつくり合つて此程定めし當日は血を湧かすに足る熱戰が展開されることであらう。

◇

この機會をなして此競技を通じて日滿兩國の青年が心からなる交驩親善をなすと同時に、籠球競技と云ふものが如何に近代人の感覺に適合した競技であり青年の競技として如何に上々のものであるかを、大連の人士に紹介するの機會たらしめるであらう

于冲漢氏葬儀に外相の弔辭朗讀

全權部代表林出書記官

十二月二日大連黑石礁に於いて執行される前滿洲國監察院長于冲漢氏の葬儀に駐滿全權部を代表して列席する林出書記官は一日午後四時三十分當地發大連に赴いたが同氏は內田外務大臣の弔辭を携行同式場に於いて之を朗讀する筈である尙日本政府より于冲漢氏に贈る勳一等旭日大綬章は二十八日飛行便にて新京宛發送されたので右が林出書記官の出發までに當地に到着すれば同氏が之を携行靈前に備へる筈である

于氏邸を弔問

二日星ケ浦黑石礁自宅に於いて執行せられる前滿洲國監察院長故于冲漢氏の告別式に列席するため同國監察院長代理品川主計氏並びに同監察官眞壽氏は一日午前八時大連驛着列車で來連直に黑石礁于冲漢氏邸を訪問した

丁鑑修氏來る

交通部總長丁鑑修氏は二日大連に於て執行される監察院長于冲漢氏の葬儀に滿洲國政府代表者として列席すべく仲本秘書官帶同一日午前九時發「はと」號にて赴連した【新京電話】

『討匪行』を唄ひ藤原義江の全國行脚

益金は全部恤兵費に

【東京三十日發】テナー藤原義江氏は嘗に滿洲吼行脚の際關東軍から同軍參謀部作詩の次の「討匪行」及び「アジヤ行進曲」を委囑され爾來精進を續け此の程漸く完成した三十日陸軍省を訪ひ之を手交した尙氏は關東軍後援の下にこの唄で全國各地に在滿部隊慰問演奏會を開き其の純益を恤兵金として獻納方申し出でた

金密輸

首魁捕はる

仁川警察署では最近金の暴騰を當て込み國內の金を搔き集めて仁川港から海外に密輸出する一味ありとかれて內偵中のところ遂に首魁と目される元大連市吉野町で雜貨商を營んでゐた大阪市東上車町居住、八ツ浦一雄(四〇)を檢擧取調中であるが大連方面にも相當連累者あるらしく二十九日仁川署から八ツ浦の在連當時の行動及び共犯關係の搜査を大連署に手配して來たので同署司法係で活動を開始した

千輪大佐來連

財團法人義濟會及び報告會の在滿職業補導部長として奉天、新京等で活躍しつゝある陸軍砲兵大佐千輪甫氏は最近着々その實績あがりその前途頗る期待すべきものがあるので更に一層その實績をあぐべく努力中でその挨拶、打合せ等を兼ねて三十日來連し直に旅順に向ひ目下內務局長その他に會見し事業に就ての意見を交換する處あり更に一日は滿鐵その他市內各方面を歷訪挨拶した

稅關請願巡查

大連稅關では漸く關稅事務の繁雜を來し多忙を極めてゐるが時節柄警戒の意味で埠頭ビル二階稅關事務所に隣接して一日より請願巡查を置く事となり水上署松田巡查が任務についた

支那語通譯

大連憲兵分隊では事變以來隊員一同事務輻湊多忙を極めてゐるが今度支那語通譯を增員することゝなつた、希望者は至急履歷書を添へ同分隊まで申し込まれたいと

滿洲童兒團一行

【大阪三十日發】東京訪問を終り二十八日夜退京歸國の途京都に一泊の滿洲國童子團一行二十名は三十日午前九時四十分大阪着多數歡迎裡に、直に自動車で第四師團を訪問午後は船場小學校を參觀した一日神戶出帆の香港丸で歸滿する筈

大洋箱事件

依然行方不明

旣報、大洋三千圓紛失事件につき大連署司法係では三十日大連驛及び列車區より關係者數名を召喚取調べたが十七列車に積込んだ際の數量が揃つてゐたかどうか判然とせぬこと、途中旅順驛にて大洋の箱二個を降ろした際、乘務員が

安樂椅子

「私達の星ケ浦を護つて下さい」と同地住民達が警備用として沙河口署にサイドカー一臺を贈るやうになつたことは當時本紙に報道したがそのサイドカーは山縣通りのハーレー社で組立を終り一日正式にこれを引渡すことになつた

◇

この不景氣に大枚千八百六十圓と言ふ大金を投げ出すのはなかぐ\のことではないが何分同地方面の人達は何れも懷中の溫い連中ばかりとて相談が纏まるとたちまちの中に集まつたといふ豪勢さ。

◇

所でこの獻金者は同地住民たる林滿鐵總裁を始め各國人が網羅されて居り殊に外人連中は星ケ浦ヤマトホテルの三好支配人が世話役となつて一々勸誘したところゼネラル、エレクトリック社のタナー氏の如きは過般同地を襲はんとした匪賊團捕縛の殊勳者たる星ケ浦派出所櫻井巡查の勇敢な行動に感謝しこのサイドカー購入の企てを聞くや率先して贊意を表し早速現金五十圓に手紙を添へて「サイドカー購入費でもなんでもよいから櫻井巡查が自由に使つて呉れ」と交番に屆ける等このサイドカー寄附にからんで種々な美談を生んでゐる。

海と空と (41)

高杉晋一郎 作
橋本清史 畫

手紙 (一三)

「先日は……」
と瑞枝はしとやかに腰を屈めて
「どちらへ?」
裏は返事をしなかつた。瑞枝は視線を暢へ向けたが、暢が影山と何か話してゐるのを見るとちよいと裏の袖を引つ張つて並樹の蔭へ引寄せた。
「昨日はどうしまして?」
「何です」
「あら、手紙で御約束したでせう公園で……」
「あゝあの手紙なら見ないで燒きました」
「まあさう、丁度よかつたわ」
瑞枝はきり〳〵と頸で表情を採んだが言葉には澱みがなかつた。
「あたしも昨日は都合が惡くつて行けませんでしたの。さうして手紙に馬鹿々々しいこと書いてあつたんで燒いて下さればいゝと思つてたんですわ、よかつた」
さう云つて瑞枝は眼を細めて白々しく笑つた。
丁度谷の家の方へ行く電車がそると、二間しかない家内の障子が取はずしてあるので、四疊半を通して六疊にねころんでゐる谷の姿がすぐ見通せた。
「やあ」
ねころんだまま谷は云つた。
「ゐらつしやいまし」
次いで馳けて來た正子が椽の膸に手をついて挨拶をした。裏はまだ不機嫌な表情を顏から消し得ないでゐたが、谷の顏を見ると彼の思惑を乘り越えて浮んで了ふ或物があつた。
「やあ」
と彼も云つた。
一寸不審さうに彼の後を見てゐた正子は期待抜けのした聲で訊ねた。
「あの、お兄さまは」
「後から來るでせう。僕だけ先になつたんで」
「なんだ一緒に來ないのか。困つた奴だな」
と谷は起きあがつて、裏の前に眞座のやうな坐蒲團を出しながら云つた。
紙が被せてあると云ふ事が、裏には微笑ましかつた。
「よく來たな」
「よくでもないさ」
不愛想に低音を與たが顏は微笑で珍しく嘻々してゐた。
正子は冷し珈琲のコップを持つて來たり團扇を差出したりした。

こへ來るのが見えた。裏は瑞枝を置きつ放しについと自動車の間を抜けてフォームへ渡つた。暢がぐず〳〵影山や瑞枝とまだ話を交してゐるのを見て、裏は獨りで先に電車へ乘り込んで了つた。電車は動いた。
裏は極度に顏をしかめて車體に搖られてゐた。不快が頭中をかけ廻つて車内の一人一人までが下劣な存在に見えた。瑞枝にしても影山にしても兄にしても、何と云ふくだらぬ馬鹿げた存在だ、と思つた。特にあとへ殘つた兄に對しては焦々するやうな侮蔑の氣持が起つて來た。戀愛が一層あの兄をぐずにするのだらうと思つた。戀愛とは……と考へやうとしたのだが考へるのも馬鹿らしく、勿體ないやうな氣がした。輕蔑が先に走つて考へる氣持になれなかつた。その癖ふとボールの顏が何故か同時に浮上つてゐたのだが彼は自分では氣附かないでゐるのだつた。
電車を降りた裏は獨りで簡素な僞のない生活をして行けるかと思つてみた。然しそれも直には肯けなかつた。谷と逢つて話したい問題がそれをきつかけに一時に湧くやうに出て來るだけだつた。谷の家の前に立つて、玄關の扉を開けかうした質素な家に住む人々は徹底ながらでもまだ自分よりは市營住宅の屋並の間を歩きながら
「だが來るのは來るんだな?」
「うむ、途中までは一緒だつたんだが」
裏は又不快な顏をしてそれ以上は云はなかつた。六疊の眞ん中に据えてある飯臺にはもう用意の整つた料理の皿やコップなどが、上から被せた新聞紙の隙間を通して見えてゐた。何かしらその、新聞

第十三回 滿日特選碁戰

四段 向井一男氏
三段 加藤三七一氏

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九

イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ ル ヲ ワ カ ヨ タ レ ソ ツ

—【3】—

●四一カの十二 ○四二カの十一
●四三カの十三 ○四四タの十五
●四五タの九 ○四六ワの十一
●四七チの十三 ○四八タの十六
●四九レの七 ○五〇レの六
●五一タの七 ○五二カの六
●五三ヨの七 ○五四ヨの六
●五五ワの八 ○五六ルの十一
●五七ヌの十三 ○五八ルの八
●五九への十七 ○六〇ロの四

對局者の感想

白曰く 五十は五十一より打つのでした黑に五十五と打たれて大分黑に立直られたと思ひます
黑曰く 五十九は(ぬの五)の邊に備へて置くのでしよう

新刊紹介

▲第十三回帝展集 本集の内容は日本畫、洋畫、彫塑、美術工藝の各部に亘り會員、審査員、無鑑査、特選は勿論代表的作品は總て網羅せられ且つ其の優秀なる印刷技術はよく各作品の色調感覺を遺憾なく表現してゐる、更に色刷の多數なる事收錄點數の豐富なる點は觀賞資料としても又記念畫帖としても最適のもので帝展畫帖中の白眉として敢て一本を御薦めする。(菊倍大册横綴、四色大判二葉原色版二十二點、寫眞版四百餘點、定價一圓、發行所東京芸艸堂巧藝社)

▲ベースボール(十二月號)本號は特輯號としてリーグ戰の寫眞を増大し、グラビヤ版を特別附錄とし、卷頭の腰田法政監督や、新田氏の「投手論」を初め河合氏の「早慶戰豫想」を「早稲田を語る」座談會を慶大腰本監督牧野主將、井川、川瀬、小川、岸本君等の早稲田をどう見るかについて語り、次いで「慶應を語る」座談會をこれまた大下早大監督初め佐伯主將、伊達、三原、福田夫馬君等の慶應觀がある、その他鈴木惣太郎氏、廣瀬謙三氏の好文章等、その他壯絶極りなきウインター・スポーツ「ラグビー」を取入れ「野球とラグビー號」を特輯としてゐる定價四十錢、發行所東京市麹町區丸ノ内時事新報ビルベースボール社)

滿日俳壇募集規定

次回課題「枯野」「炭」「水鳥」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切十二月十二日▲大字にて楷書の事▲雅號氏名及び封筒には「滿日俳句」と明記のこと▲送り先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

▲奉天商工月報(第三二六號)滿洲事變後に於ける奉天經濟界、奉天に於ける紙製品、火災保險手數料、舊軍閥財産取締、支那品密輸增加、奉天の今後は何うなるか、滿洲市場紹介展覽會の成功、滿洲人側需要品増加、農産物運輸保護、奉天重要商品市況、奉天に於けるアルミニウム製品(定價五十錢、發行所奉天商工會議所)

▲陸上競技(十一月號)大島吉岡兩オリムピック選手、中西石津兩嬢の貴重なる手記、南部望月、藤田諸選手に關する眞面目な記事はジャーナリズムの興味中心的報導に慊らぬ純粹のアスリート諸氏にとつて讀みごたへのあるものばかりである(定價二十五錢、發行者東京市神田區南神保町一六番地一成社)

▲朝鮮(十一月號)朝鮮に於ける棉花栽培の現在及び將來、應永外交を朝鮮から觀る、朝鮮儒學の郷土的省察、高麗初期の圖讖及び神秘思想(完)民心作興運動に關する施設、金融組合と農村指導、家畜傳染病豫防令施行に就て穀物檢査の國營實施に就て、農山漁村の振興に就て(定價三十錢、發行所朝鮮總督府)

▲滿鮮(十一月號)定價五十錢發行所大連市須磨町六番地滿鮮社

けふの放送

大連 JQAK

十二月二日
▲午後六時三十分 ニュース
(皇軍慰問神明高女の夕)
▲挨拶 神明高等女學校村井榮藏
▲理科對話「輝く滿蒙」神明高等女學校三年生
▲談話「日滿關係の重要點」同五年生
▲國語對話「大和錦」同一、三、四、五年生
▲童話「桃太郎」同三年生
▲狂言「附子」同三年生
▲歌劇「孟姜女」同三、四年生
▲職業紹介事項
▲ニュース
▲氣象通報

東京 JOAK

二日午後六時三十分
▲講演「最近の滿洲國を視察して」陸軍參與官 石井三郎
▲運動競技(七時)日本拳鬪倶樂部主催拳鬪試合狀況(日比谷公會堂より)
▲忠臣藏花曆(八時)(第二)情元道行旅路花聟(落人)淨るり清元正太夫、同壽美太夫、同初榮太夫、三味線菊輔、上調子榮治

北滿薄氷の濕地に重圍を突破し
五十八騎中たゞ一騎生還した
岩上軍曹の血涙物語

【チヽハル】泰安鎭守備隊救援の重任を負ひ去る十月二十九日腰新屯の花と散りし川崎騎兵大尉の引率せる皇軍騎馬の精鋭五十八騎中只獨りの生存者岩上軍曹は目下チチハルに在つて依然軍務に精勵しつゝあるが、記者の往訪に對して片桐中尉、白石曹長の戰死狀況、並びに敵の重圍を破つて川崎部隊五十八騎の急を泰安鎭兵營に傳へた當時の苦心を語つた

二十八日宍戸枝隊が泰安兵營に入城したが我が川崎部隊は腰新屯に露營した、敵は十重二十重に我が部隊を包圍してゐる

その急 を泰安鎭兵營に傳ふる事を片桐中尉が中隊長に申言した、中隊長は同意して「志願者は?」と云はれた時は全員歡願したが選ばれたのは片桐中尉白石曹長と私であつた、中隊長は「頼むぞ行け」と云はれたのみであつた、而してそれは中隊長の最後の言葉であつた、我々は馬を捨て薄い夏シャツ一枚となり

軍衣袴 をつけた、便衣に着換へたらとの意見も出たが、日本軍人は軍服を着して死すのは名譽なりとの三人の考から軍衣袴をつけたのであつた、二十九日の午前八時腰新屯を勇躍南下

薄氷の はつた大濕地を前進泰安に千五百米の東新屯まで來た時約百名許の敵から射撃を受けた、二人は別々となり一生懸命濕地に逃げた、敵の射撃は實に猛烈で私の處へ許り彈丸が來る、併し其時には白石曹長は名譽の戰死を遂げた、時正に午後三時頃であつた、寒氣と濕地を走るため足は既にきかなくなり幾度となく倒れた、併し倒れては又起上つて歩く、而して

又倒れ る、そんな事を繰返しつゝも二十九日夜はさうく一晩中歩きつゞけながら一夜を濕地の中で過した、老王家部落を迂廻し泰安の南郊に倒れてゐたのを副官米花大尉殿が發見、泰安兵舍に連れて行かれ、聯隊長殿に急を傳へたのは三十日の午前十時四十分であつた

烏雨爾河の北岸に沿ふて東へ東へと密行した、斯く密行はしたもの、雲霞の如き敵中だ、途中半ばに來た頃五十騎の敵に不幸にも發見された、此所で

猛烈に 防戰した片桐中尉は不幸敵彈の命中を受けた「三人一緒に死なう」と中尉に抱きついたが、中尉は我々二人をはねつけ傷の痛たさを怺へつゝ「任務は重い前進せよ」あゝ悲壯我々は未だ生きて居られる中尉殿の戰傷を介抱せず後髮を引かれる思ひで更に東行した

第二回日滿婦人懇談會

【安東】曩に日本側婦人會主催の下に開催された第一回日滿婦人懇親會は非常な盛況で且つ滿洲側婦人に對して深き好印象を與へたるが今度は滿洲側婦人團が主催して來る十一日午後二時より滿鐵クラブに於て第二回日滿婦人懇談會を開催する由會費は多數の出席を勸める爲め金三十錢とし服裝は成るべく質素に婦人團員外の婦人出席も歡迎すると

……の順序により次の如き演題の下に有益な幾多の例をあげて平易に説明し熱心なる聽衆に多大の感動を與へた、午後八時半閉會

一、兵制と兵器の進歩　服部少佐
一、兵制發布六十周年に臨みて　板津中佐

輕油動車一臺增發

【鐵嶺】從來南行第三三八輕油動車は午前十時半鐵嶺驛着午後一時發であつたが最近奉天鐵嶺間の旅客激增に鑑みて發着時刻を變更し午前十時半着同三十五分發とし其代り午後零時着午後一時奉天行輕油動車一臺を增發するに決し十二月一日から實施された

木谷、石原兩選手招聘
朝鮮體協から

【安東】朝鮮體育協會では冬季スポーツの王座を占めるスケーチングの全朝鮮スケート講習會を一月廿日より一週間に亘り京城漢江の鐵盤上で開催する事に決定、安東の生んだ世界的選手木谷、石原兩君を講師とし招聘すべく二十九日朝鮮體協スケート部理事の來安となり滿鐵側と交渉するところあつたが實現されるものと見られてゐる

商務會懇親宴

【鳳凰城】鳳城縣商務會では二十八日午後一時から城內鄕雲樓に當地在住日滿文武官民四十餘名を招待して懇親の宴を張つた

遼陽縣下治安確立
各匪賊を全部掃蕩
政治工作の成績揚る

【鞍山】遼陽縣長の指揮する縣警察隊、長濱、山岸兩隊長の指揮になる歩隊二百名、騎馬隊百名合計三百名の縣警察隊は去る十七日縣下に蟠居する匪賊掃蕩並に治安維持政治工作に出動したので鞍山守備隊小林山砲隊は之を援護なしつゝ同時に出動したことは

屢報 の通りであるが一隊は先月大安平にてわが騎兵隊大行李を襲撃した匪首馮顯義、蔣若徳譚鳳山等一味三百名を殆ど全滅せしめ第四區第五區の隆昌明及吉洞峪に王座を占むる靠天一味を掃蕩し政治工作を行ひ全く遼陽縣下の治安が平静に復し二十九日は鞍山南方二里の鶏王屯に宿營し三十日午前七時同地を出發して二週間目に午前九時三十分無事鞍山に凱旋した、遼陽縣長の率ゆる縣警察隊も來鞍し守備隊練兵場に於て上田大隊長の閲兵分列式が行はれ縣警察隊も大いに面目を施した、今回の討伐に於て匪首蔣若徳並に其子と四海の三頭目が射殺され頭目馮顯義、譚鳳山、李文玉の三名は

民家 に隱れて居る所を捜し出され遂に捕虜とされ鞍山に護送された、上田大隊長は今回の討伐に就て將兵一同に對し表彰の辭を與へ山野寺事務所長は市民を代表して勞苦の挨拶を述べた、楊遼陽縣長は小林山砲隊の援護に就いてから心からの謝辭を述べ八卦溝立山を經て遼陽に向つた

滿洲國新編成の騎兵警備隊
地方治安維持のため

【新京】滿洲國政府に於ては地方治安維持の爲め現在の兵力にては尚不足を感じつゝあつたが暫編騎兵警備隊に於て二千五百名の募兵をなし之を以て第三枝隊を編成し地方の治安維持に當らしめる事になつた右の暫編騎兵警備隊は軍政部直轄にして第一枝隊は東邊、第二枝隊は錦州で新編成の第三枝隊は懷德縣梨樹縣に配置の豫定であると、なほ募集は十二月五日より懷德縣梨樹縣遼源縣通遼縣方面に於て約二週間に一千名前後二回に亘つて一千五百名で本年中に終了の見込で方法は大體左の如く行はる

一、二十歳より四十歳未滿の男子にして身體強健且つ身許確實なる者にして保證人を有する事、但し歸順馬賊は絶對に之を採用せず

二、給與左の如し
上等兵　二十三圓
一等兵　二十一圓
二等兵　二十圓

なほ之が募集終了後直に適當の訓練を行ひ豫定地に配置する方針であるが司令官は多分染漢臣氏が就任すると見られてゐる

安東守備隊入營兵來安

【安東】松本聯隊區より安東守備隊への入營兵四十六名は二日午後四時三十五分着列車で來安することゝなつた

兵制六十年記念講演會

【安東】兵制六十周年記念講演會は廿八日午後六時半から安東公會堂に於て催されたが、定刻前より聽衆は續々と詰めかけ立錐の餘地なき盛況を極め服部少佐(安中配屬將校)板津中佐(第四大隊長)……

蟷螂の斧を研ぐ匪魁鄧鐵梅
尖山窰に大規模の兵器廠設置

【安東】安奉沿線に於ける匪首鄧鐵梅は當般部下の高雅峰を東北民衆自衛軍改編委員長に任命し鳳城縣第七區に派遣同地一帶に蟠居する大小匪賊團に對し「國を愛せよ」との標語を振りかざし自己の勢力下に改編したが其數千餘名に上りそれぐ衣服、銃器を送つて內容充實に努めつゝある一方、尖山窰には大規模の兵器廠を設け十三年式長銃並に彈丸を多數製造し又た匪團使用の故障銃の改造にも着手中であるが手榴彈等も製造中で侮りがたく、その他被服類は黃土坎に被服廠を設置して大々的に作製中であると

十二勇士の遺骨通過

【四平街】北滿に於ける叛軍討伐の際名譽の戰死を遂げた騎兵第〇〇隊の勇士十二名の遺骨は二十九日午後五時二十分、輸送指揮官秋……

サラリーマン大いに喜べ!
來年は休日天國

【安東】明けては暮れる歳月の早さ、愈々悲喜交々のボーナス月に入り一九三三年の新春も眼前に迫つて來たが何んと來年の暦のサラリーマンに惠まれてゐることか!元日の日曜を除けば一年十二祭日が全部日曜日とダブつてゐないのだからサラリーマンよ、大いに喜べである、春先から花見その他の行樂に先づく不足はない、休日天國ともいふべき二日つゞきの休みとなる祭日のみを拾つてみると

▲紀元節(二月十一日)土曜日、神武天皇祭(四月三日)月曜日、天長節(四月廿九日)土曜日、秋季皇靈祭(九月廿三日)土曜日、大正天皇祭(十二月廿五日)土曜日

と云ふ具合である

幽囚四十餘日死線を脱して(中)
チチハル　下枝少佐談

市中の 空氣やら風評やらが色々に變る、と又其日は縣長から招待狀が來た、昨日は縣旅長今日は縣長、宴會が多過ぎるなとは思つたが、定刻の午後三時に行く事にして其日の午前中に省政府に對し「金を渡さぬと由々しき問題が起る」といふ意味の事を打電したが其電報が途中で切られてしまつた、此處に至つて我輩は「遂に來るべき時は來た」と何事も諦め

覺悟を 決めた、縣長から我々に對して平和の日滿招待會が開かれた他の半面には、樸は緊める爲めの最高軍事會議を開いて居たのであつた、無論此事は其時は解らなかつた、後になつて解つた事ではあつたが、兎に角其日の宴會はそんな事であつたから、表面には何事も起らずに無事に濟んだけれども、空氣の裏面には色々な事が伏在して居るから、我輩の

第六感 には大概の事が諒解された、それで我輩は「事に依つたら今晩あたり兵變が起きるかも知れぬ」と思つて午前の二時頃迄起きて居たが、其夜は何事もなく無事に明けた、が翌十二日の朝八時頃になつて便衣を着た支那人が十四五人突然我輩の部屋の中に飛込んで來た、そして飛び込むと同時にイキナリ拳銃を

亂射し た、相手が打放したので我輩も「どうせ死ぬなら一人でも二人でも打殺してやれ」と思つて拳銃をさぐつてゐる內に左右から飛込んで來た二人の支那人が、兩方から我輩の腕を握つて放さない「ナニクソ」と渾身の力を兩腕に入れて振ひ放さうと思ふ內に、何か紙切れに書いたものを目の前に突付けた、讀んで見ると「時局急變の爲め已むを得ず一時貴下を

捕縛し て司令部に連行する、けれども貴下を害する爲めではない、凡ては樸旅長の命令である」と云ふ意味の事が書かれてあり、且つ彼奴等が最初飛込んで來るなり拳銃を打放したのも我輩を殺す目的ではなく、只最初の威嚇をする爲めであつた事が解つたので「此際何も慌てる事はない、死ぬのは何時でも死れるのだ」と思つて別に抵抗もしなかつた、其間に彼奴等は我輩の軍服から金や目星い品物を爭つて

掠奪し た、併し幸か不幸か機密書類は十一日の午前中に全部燒却してしまつたので、大切なものは何一つと彼奴等の手には渡らなかつた、それから司令部迄行く途中、衛隊で我輩を兩手も兩足も全部動く事の出來ぬ樣に縛つて置いて毆る、蹴る、罵る等々の暴徐を受けた、而して其上なほ亂暴を働かんとしたが、連長が之を制止したので止めた、司令部に護送され

訓練班 に監禁される身となつて仕舞つた、丁度其日から司令部には靑天白日旗が樹てられ、樸がとうく鄒文に降參した……

國輸が吉海線に營業所を新設
特產出廻りに刺戟され

【吉林】國際運輸吉林支店では從來營業所を蛟河、敦化の二ヶ所に設けて活動を續けてゐたが、最近各地の治安も恢復し吉海線方面の特產物が動き初めたので同附近にも營業所設置の必要を感じ種々考究中の處、愈々準備も出來たので十二月一日より盤石に營業所を設置事務を開始する事となつた、此れに依り從來振はなかつた同方面特產物の動きは相當の活氣を見せるものと前途期待されてゐる

夫婦斬らる
撫順の刄傷

【撫順】撫順炭礦第二發電所事務方當時官內接壤地大官屯部落居住徐秀瀛(三)並に同人妻石氏(二〇)の兩名は二十九日午後八時頃同家に侵入した賊のため全身數ヶ所に刄傷を負ひ前者はその場に卽死し妻石氏も顏部其他に重傷を受け瀕死の狀態である急報に依り撫順署及滿洲國側警察署より係官急行檢死を遂げたが、石氏は元酌婦で痴情關係の兇行らしいと

保安主任更迭

【撫順】撫順警察署保安主任警部……

警察官舍竣工

【鳳凰城】鶏冠山は警官の增加以來極度に官舍の不足を告げて居たが、八月中旬より守備隊長官舍の……

市民中滿鐵社員、官公吏を除く約二百戶の定住者に公平分配を希望すとの聲が擡頭し早くも一萬圓を繞つて賛否兩論に分れてゐるが目下のところ定期預金を可とする說多きも時節柄その成行は注目されるであらう

滿鐵からの寄附一萬圓を繞つて
早くも悶着起る

【鐵嶺】鐵嶺機關區の縮小に因り鐵嶺の打擊甚からざるに同情し滿鐵から鐵嶺振興會に金一萬圓の寄附がありこれが處分案に就て振興會で協議の結果全鐵嶺として有利な使途を見出すまで年利六分で銀行に定期預金とするに意見の一致を見たるは既報の如くなるが最近に至り市中の一部に右全額は在鐵……

本中尉以下十數名の戰友に護られ、當地山岸地方事務所長を始め山添市民協會長、飯島警察署長、佐藤在鄕軍人分會長、保村憲兵隊代表、田中驛長、四洮局代表梨樹縣公所代表、四平街驛合、佛教、明照各婦人會代表等々各團體代表並に市內一般有志者を網羅する數百名の出迎へ裡に當驛着、憲兵隊員の手に抱かれて驛長室に奉安され、佛教團有志の讀經並に參列者の燒香を受け、同夜此等有志の人々に依り嚴かなる通夜が催され三十日午後零時四十五分發列車にて新京より南下した十四體と共に多數見送り裡に奉天に向つた

偽造紙幣に御用心

【吉林】滿洲國中央銀行では古來有する幾種かの紙幣を統一して種々の弊害を一掃するため滿洲國紙幣として新國幣を發行し此の程吉林方面にも多數入つて來たが、新紙幣に對する一般市民が未だ判別知識に薄き處より是を幸ひに最近偽造紙幣の出現が多く、大膽にも白晝堂々と行使して居る模樣であり目下關係當局ではこれが犯人嚴査中であるが、此の偽造紙幣は一元五元、十元の三種で「天津」の二字を旨く變造し中央銀行の字を入れたもので、今日までに至る使用量は多額に上りその偽造は相當大仕掛けのものらしい

北側空地へ起工し十一月愈々竣工を見モダンな二棟の官舍は當地に一段の色彩を加へた

湯崗子溫泉會社の改革

【鞍山】湯崗子溫泉會社は重役會議の決議により經營方針を今後は民衆娛樂場化せしめ開放主義を執るとに決定し豫算約八千圓を投じ今年中に滿林館を改造し室代、入浴代はもとより食事の値段をグット引き下げ他の館同樣小室を澤山造り萬事に改造を加へると云ふから鞍山、大石橋方面はもとより全滿の入湯客に喜ばれるとであらう

鐵嶺片々

▲八面城公安隊孫景福は昨年九月二十四日匪賊襲來交戰の際負傷して最近全快したるも不具癈疾となり勞働も出來ず家庭は貧困の極にあるので商務會發起の下に慰藉金を募集したので在住邦人一同もこれに同情して應分の義捐をした

▲縣下大青堆子居住の郭某は去る十九日我が歩兵〇〇〇聯隊の荷馬車夫として從軍し遼河渡船場に於て過つて河中に墜落溺死したが軍部では其遺族を憐れみ金二百圓の慰藉金を與へた

▲亂石山郊外沙沱子の鮮農は刈入れも終つたので脫穀に着手したが今年の收穫が豫想外に多く豫定の五日までに全部の脫穀出來ず而も未だ搬出せざる組もあり脫穀完了までには尚十數日を要する見込で何れも豫想外の增收に喜んで居る

▲奉天靖安遊擊第一大隊は建國の宣傳と示威行軍の爲め去る二十日奉天を出發滿鐵線に沿ひて北進し二十六日亂石山附近の楊千堡子沙沱子孫家湖を經て新臺子に引返して一泊二十七日頃貨物列車で新臺子驛から歸奉した

神中島崇平氏は廿八日附を以て新京警察署附を命ぜられ不日赴任の筈なるが後任は新京署より豐増彦吉氏が來任すると

國難日本刀（171）

高桑義生 作　京極佳夕 畫

嵐の花（七）

哄笑をしたのは、怪僧大東義觀だつた。

「何だ、あのざまは――あれでも兵隊さんか」

鐵砲彌太左衞門である。

「こりやあ見かけ倒しだなあ」

黒船濟次である。

「異人なんて、あんなものです。何より自分の命が可愛い」

細緻のあるだてんの瓏吉。

強いくといはれたイギリス兵、すばらしい武器をもつてゐる外國の兵士、が一戰もせずに逸はやく逃げたのは、誰にとつても意外だつた。それも敵の上からいふと、こちらはわづかに七人、向ふはそれに數倍の三十名あまり。

「幕府の弱腰が、強いものにしてしまつたが、恐るゝに足りぬ。やまと魂に刃向ふ者はない」

と佐古周平はいつた。

この一團は、横濱に潜行する考へで、江戸からやつて來たのだが、折から英國兵の上陸を見かけると騎虎の勢ひといふか、不敵にも襲撃したものである。

「や、こんな物がある」

と、鐵砲彌太がひろひ上げたのは、琥珀色の液體を滿たした瓶である。

「酒だな」

「そりやあ何とかいふ強い酒だ」

「おや、こゝにも。あわてゝみんな置いて行きやがつた」

喰ひかけの辨當、ウイスキー、葡萄酒などの瓶が草むらに散亂してゐた。

「奴等あまるで物見遊山か何かのつもりだな」

「一杯やろかな」

「よせ、よせ、そんなえたいの知れぬもの」

「なあに……お飲みになられえなら、あつしがお先に頂きますよ」

と上戸の濟次は、ラツパ飲みをはじめた。

彼等は歩き出した。

「すばらしい。こりやあ豪勢利くぜ」

「朝廷におかせられては、あくまで攘夷御決行と承はる。叡慮のほど畏しとも畏し、まことに國を擧げて一致團結、外敵にあたれば、恐るゝことはない。勝敗ちや。大和魂ぢや。滿州日本の威をしめすは今、えびすども鷹あくたの如くけし飛んでしまふのぢや」

義觀は口角泡を飛ばした。

「和尚のいふ通り、尻込みしてはゐられない。おとなしくして居れば、尻の毛までもむしられてしまふ。この不景氣に、百萬兩といふ大金を外國にもつて行かれてたまるものか。たかが三五人の命、無禮者を成敗しただけの事だ。何處までつけ上るか知れたものではない。何でもいゝ、ヤツつけてしまふ事だ。敗るものなら、結局敗ける。なあに日本男兒が毛唐に負けるか」

「さうだ。この難局を救ふものは戰の一字あるのみだ。思ひきつて戰ふのだ。勝敗は問ふところではない」

「幕府は、結局敵の要求をきくつもりらしい。一戰の覺悟はない」

「そこで、われくの仕事がある――彼奴等を怒らせるのだ。手あたりしだい、あばれ廻るのだ。きつと何とかなる。國運を賭し、下萬民の命をかけて――われくはその口火を切るのだ。いくさがう、蕃兵が何だ。いくぢのない蕃兵が何だ。回天の事業は、目の前にある」

意氣軒昂な問答である。

「ほう、向ふから、女がやつて來た」

「なるほど、のんきさうに歩いて來る。大膽な奴だな」

佳夕 画

カットバックを連續しダブラして戀愛プロットを刻明に描いてゐる

その結果、斷然光つてゐるのが山田五十鈴のお市でその演技は推賞さるべきである、觀點をかへて見れば山田五十鈴を銀幕に深く印象づけるために正博のメガホンが全力をあげた結果となつたとも言へよう【寫眞は千惠藏と五十鈴】

白夜の饗宴

片岡千惠藏主演　日活館上映

マキノ時代の山上伊太郎とマキノ正博のコムビに片岡千惠藏を加へた新なトリオを賣つた千惠藏映畫であるが、今までの千惠藏映畫でもなく、また山上、正博の描き出した所謂マキノ趣味で押し切つた作品でもなく、この新しいトリオが新しい世界を求めやうとした意圖があつたことが看取される作品である

全篇十三卷が殆んどラグ・ストオリで終始し千惠藏と山田五十鈴のクローズ・アップが東海道五十三次に展開され、思ひ出の

パテー聯盟の懸賞入選作品

滿洲パテー聯盟で創立記念第一回作品募集の結果、入賞者は次の如く決定し、賞品は浪速町陸村洋行のウインドウに陳列されてゐる

等級	作品	地	氏名
一等	道路修繕作業	大連	下山
二等一席	ラヂオ體操	奉天	小林
二等二席	滿洲グラフ	大連	近藤
三等一席	榮えあれや滿洲國	金州	高見
三等二席	小舟	大連	細谷
三等三席	苦力の生活	大連	中川
別席一席	夜の酒場に	大連	下山
別席二席	我家の記錄	大連	下山

本社特選 新棋戰（其一）

平手番　七段▲宮松敏三郎　先六段△飯塚勘一郎

【圖は六二銀迄の局面】　飯塚氏 持駒ナシ

△七六歩　▲三四歩
△二六歩　▲八四歩
△二五歩　▲八五歩
△七八金　▲三二金
△四八銀　▲六二銀
△六九玉　▲五四歩
△五六歩　▲四一玉

【土居八段講評】飯塚君は二筋の歩を切つては飛車の位置を決めなくてはならぬから譜の如く四八銀と上つて敵の動靜を窺ふたのは實戰に適應した策である。

【萩原六段解説】宮松氏の八四歩は所謂る相懸り戰にする意味で此處で四四歩又は五四歩等の策もあるが一般に守勢に傾き從つて敵にその得た發揮され易いので變化に富む激烈な相懸戰に出たのである。飯塚氏の四八銀は此處で二四歩、同歩、同飛と指すのが普通の型であるがその時二三歩と打たれ二六飛、二八飛又は三四飛の横歩取り等何れかに飛車の位置が定り策戰が判明するので四八銀と穩健な策を取つた。宮松氏の六二銀も八六歩と突くと飛車の位置が決定するので含みに殘し先手の四八銀に對抗して六二銀と指したのである。